特定非営利活動法人

愛知ネット 活動記録 ２０１４

特定非営利活動法人
愛知ネット
Non-Profit Organization Aichi Net

すべての活動は、

災害時の
情報のために。

愛知ネットは、ホームページでボランティアへ呼びかけるとともに、
被災状況など必要な情報を逐次流してきました。
そこで痛感したのは、日ごろからの人と人の「つながり」と、
いざとなったときの「情報システム」の構築の必要性。
「防災・災害救援」、「社会教育」、「まちづくり」、「市民活動支援」の４つからなる活動は、
被災地で愛知ネットが活動した時の「教訓」が生きています。

■ 防災・災害救援

Active in disaster & Preparedness

災害時には、被災地内外を問わずボランティアに関する支援活動を行います。支援に必要なひとの確保や手配を行い、地元のボランティアと連携してコーディネートを行います。また安否確認システムの普及を行います。

「知立市自主防災会活動サポート」
会場：知立市役所・福井県鯖江市・河田小学校他

■社会教育

Social education

愛知ネットは、愛知県青年の家が公の施設であることを認識し、公平・公正な運営を厳守し、全ての県民が、あらゆる機会、あらゆる場所を利用して、自ら実生活に即した教養を高められるように、愛知県青年の家として環境を整えた社会教育の場を提供します。同時に、当該施設を社会教育拠点と位置づけ、地域の教育機関・関連機関等と連携しながら、「青少年の『創造力』『生きる力』『和（役立ち合い）の精神』の教養・向上に寄与し、より良い社会人への成長を促す」社会教育施設を目指します。

「みんなで学防災」どう動く・どう守る・自分の命
会場：豊橋市二川南小学校体育館

■まちづくり

Town　planning

災害時には日ごろからのつきあいやネットワークの力が役立ちます。それを充実させ活性化させていくことはまさに「防災の活動」といえます。愛知ネットでは、各種イベントの企画実行を通して日ごろからの「地域力向上」に貢献しています。

・刈谷市（通年）共存協働まちづくり推進委員会
・安城市（通年）安城市市民協働推進会議
・大府市（通年）協働促進委員会
・豊橋市（通年）市民協働推進審議会
・豊橋市（通年）男女共同参画フェスタ実行委員会

■市民活動支援

NPO support

ボランティア活動団体、市民団体、ＮＰＯで活動しているみなさんが活動しやすい環境づくりを目指して、インターネット環境はもとより、「刈谷市民ボランティア活動センター」「大府市民活動センター」「豊橋市民センター市民活動プラザ」「碧南市ボランティアサポートプラザ」を運営し、情報と市民活動支援の新しいあり方を提案しています。

スキルアップ講座「市民活動のための動画作成」実技編
会場：大府市民活動センター

■防災・災害救援

Active in disaster & Preparedness

東日本大震災の発生、南海トラフ巨大地震の被害想定報告をうけて、愛知ネットに対する地域からの防災活動に関するニーズが、一層増えてきました。

この状況に際して愛知ネットは、これまで行ってきた各種の啓発・訓練、情報伝送に関する各種実証実験を統合し、地域に有用であり実効性のある事業を実施しました。

具体的には防災会議や啓発イベント、事業の実施、情報伝送に関する実証実験、安否確認システムの普及のための活動、愛知ネットスタッフの防災意識向上とスキル強化のための会議がそれにあたります。

● 防災活動

Ⅰ 啓蒙・啓発活動

1. 実施概要

愛知県内外の市町村並びに、各団体・組織が主催する訓練・会議・委員会などに参画する。そして情報交換、意見交換を行いながら、地域防災力の向上に寄与する。

2. 目標・計画と実績

防災訓練・会議・委員会に参画し、他団体や地域とのネットワークを広げ、災害時の支援体制を強化することを目標とする

●従業員の人数:6 名(天野、寺田、南里、佐藤、内藤、松永)

●受益対象者の範囲および人数:愛知県民 743 万人、茨城県民 291 万人、岩手県民 129 万人

3. 実施したイベント

①岡崎市におけるシナリオワークショップ

日　時:2014 年 4 月 22 日(火)12:30 ～14:30

場　所:岡崎市福祉会館

担当者:南里、内藤

内　容:岡崎市通所支援事業所連絡会を対象に、『災害時障がい者支援ガイドライン』をもとにしたシナリオワークショップを実施した。今回は、安全確保と安否確認のシーンについて、「理想的な行動と現実的な行動」および「日頃からの災害対策」を検討するワークショップを実施した。

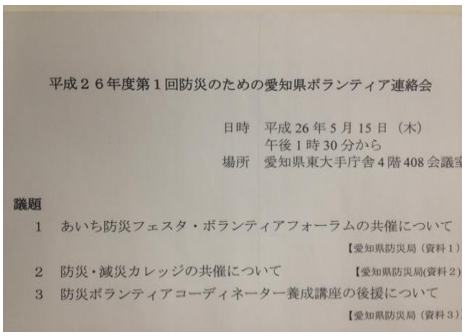
②防災のための愛知県ボランティア連絡会

日　時:2014 年　5 月 15 日(木)13:30 ～15:00[第 1 回]
2014 年　8 月 31 日(日) 9:00 ～12:00[訓　練]
2014 年 10 月 22 日(木)15:00 ～16:30[第 2 回]
2015 年　2 月 27 日(金) 15:00 ～16:30[第 3 回]

場　所:愛知県東大手庁舎

担当者:南里、大野

内　容:あいち防災フェスタ・ボランティアフォーラム、防災・減災カレッジの共催、防災ボランティアコーディネーター養成講座、広域ボランティア支援本部訓練等の承認および実施した。



平成２６年度第１回防災のための愛知県ボランティア連絡会

日時　平成 26 年 5 月 15 日（木）
午後 1 時 30 分から
場所　愛知県東大手庁舎 4 階 408 会議

議題

1　あいち防災フェスタ・ボランティアフォーラムの共催について
【愛知県防災局（資料 1）

2　防災・減災カレッジの共催について　【愛知県防災局(資料 2)

3　防災ボランティアコーディネーター養成講座の後援について
【愛知県防災局（資料 3）

③豊田市における平成 26 年度防災研修会

日　時:2014 年 5 月 22 日(木)　9:00～16:00
場　所:豊田市役所
担当者:南里
内　容:豊田市役所職員において、災害時に避難場所運営班要員となる方を対象にした避難所についての講演をした。過去の災害時の避難所および豊田市の避難所運営配備要領をもとに説明をした。また HUG(避難所運営ゲーム)研修のアドバイスを行った。

④愛知ネット設立 15 周年　フレンドシップ防災デー

日　時:2014 年 6 月 15 日(日)　9:00～17:00
場　所:愛知県青年の家　愛知ネットが指定管理する市民活動センター、青少年センター
担当者:1 億総レスキュー会議
協力者(敬称略):

株式会社　ファンドレックス
医療法人鉄蕉会亀田総合病院
NPO法人オールラウンドヘリコプター
NPO法人遠野まごころネット
NPO 法人ピースウィンズ・ジャパン
株式会社BRAVO
公益社団法人CvicForce
公益財団法人ボースカウト日本連盟
生活協同組合コープあいち
日本ボーイスカウト愛知連盟・岡崎第 3 団・岡崎第 5 団・岡崎第 8 団・岡崎第 10 団・幸田第 1 団
トヨタボランティアセンター

内　容:東日本大震災発生直後から迅速な活動を実施した組織、また継続的な活動を実施する組織にご登壇頂き、その報告および今後の活動についてお話頂く、パネルディスカッションを実施した。その後、愛知県青年の家をメイン会場に、東南海地震が発生したと想定して、大府・刈谷・豊橋・碧南の市民活動センター、豊橋市青少年センターとを中継した訓練を実施した。また県内外の様々な特徴的な組織にご協力頂き、災害時の動きをシミュレーションする訓練を実施した。訓練後は、NPO法人遠野まごころネットと生活協同組合コープあいちとに代表で登壇頂き、今後の継続した訓練実施のための調印を行った。また、愛知県における減災を考える時間を設けた。

⑤ESD あいち・なごや子ども会議

日　時:2014 年 7 月　5 日(木)　9:30～12:00
2014 年 7 月 31 日(木)　9:00～16:00
2014 年 8 月　7 日(木)　9:00～15:00
2014 年 9 月 21 日(水) 13:00～15:30
2014 年 10 月 25 日(土) 13:00～15:30
2014 年 10 月 26 日(日)　9:30～12:00
2014 年 11 月　1 日(土)　9:30～15:30
2014 年 11 月 10 日(月) 13:00～15:30
場　所:名古屋国際会議場、JICA 中部、
名古屋市港防災センター、輪中の里
担当者:南里

内　容:2014 年 11 月に愛知県名古屋市で開催される「ESD に関するユネスコ世界会議」にあわせて、愛知県内の小学生・中学生らが持続可能な社会づくりについて話し合った。話し合いは 5 つのグループおよびテーマで構成され、その一つが防災である。愛知ネットは「防災」のコーディネーターを担った。発足式では、ESD についての説明および ESD 子ども会議についての講演の後、参加者全員および各テーマでの交流を図った。以降は、エクスカーション(現地学習)やグループワークを行った。これらの学習をふりかえり、リーダー会議にて学習の成果をまとめ、宣言文をつくり、全体会議および ESD 世界会議で発表した。子どもたち一人一人の ESD 宣言も作成した。「わたしたちは ESD の主人公」の決意表明を世界へ発信した。

⑥豊田市自主防災会リーダー養成講座

日　時:2014 年 7 月　6 日(土) 9:30～16:00
2014 年 7 月 13 日(日) 9:30～16:00
2014 年 7 月 19 日(土) 10:00～16:00
場　所:豊田市上郷交流館(6 日・19 日)
豊田市保見交流館(13 日)
担当者:南里・寺田・内藤・高山
協力者:(独)防災科学技術研究所　李研究員、
名古屋市星崎学区連絡協議会　早川氏、
高桑理事、可知会員

内　容:防災科学技術研究所の李研究員より、自主防災活動を行う上での視点、豊田市での地震発生の被害想定、自主防災活動手法の紹介、全国の事例紹介を頂いた。名古屋市星崎学区連絡協議会の早川氏から、防災マップおよび防災ラジオドラマをつかった自主防災活動の事例紹介を頂いた。愛知ネットは、避難所の課題の説明、および DIG(災害図上訓練)や HUG(避難所運営ゲーム)の紹介およびファシリテーションを行った。

⑦第 1 回幸田町防災リーダー養成講座

日　時:2014 年 7 月 12 日(土) 9:00～12:00
場　所:幸田町公民館
担当者:南里
内　容:幸田町内の自主防災組織役員の方らを対象に、地震時およびその避難所について講演した。過去の災害時における被災地の様子および避難所について、また幸田町の避難所運営マニュアルをもとづいて説明した。その後、防災ボランティア幸田の協力を得て、HUG(避難所運営ゲーム)を実施した。

⑧知立市自主防災会活動サポート委託

日　時:2014 年　7 月 13 日(土) 9:00～12:00(鯖江)
2014 年 10 月　7 日(火) 10:30～16:00
2014 年 11 月 30 日(日) 8:00～12:00(総合防災訓練)
場　所:知立市役所
福井県鯖江市 河和田小学校他
担当者:南里・横山・小野・内藤
内　容:知立市の自主防災活動の現状や防災意識をたずねるアンケートの作成、知立市自主防災会連絡協議会会議への参加、八ツ田小学校における総合防災訓練および各町内会で実施された防災訓練へ参加し、取材した内容等を「知立防災かわら版」にまとめた。自主防災組織活性化の一環として、同自主防災組織役員らを対象に、知立市が災害時応援協定を結ぶ鯖江市における水防訓練視察をコーディネートした。水防工法訓練他、子ども防災学習、協定締結都市による給水訓練他、受援力と支援力を考えるパネルディスカッションが実施された。視察先へむかう道中での課題提起や情報共有をファシリテートした。

⑨とよた防災フェスタ実行委員会　とよた防災サミット

日　時:2014 年　7 月 30 日(水) 10:00～12:00
2014 年　8 月 25 日(月) 10:00～12:00
2014 年 10 月 30 日(木) 10:00～12:00
2014 年 11 月 21 日(金) 10:00～12:00
2014 年 12 月 16 日(火) 10:00～12:00
2015 年　1 月 16 日(金) 17:45～21:00(サミット)
2015 年　1 月 17 日(土) 10:00～13:00(サミット)
2015 年　1 月 27 日(火) 10:00～12:00
2015 年　2 月 20 日(金) 10:00～12:00
2015 年　3 月 18 日(水) 10:00～11:00
2015 年　4 月 14 日(火) 10:00～11:30
場　所:豊田市災害対策本部室
豊田市コンサートホール・能楽堂
担当者:天野・南里・内藤
内　容:2015 年 5 月 16 日～17 日に開催予定の「とよた防災フェスタ」の内容を検討している。豊田市では、合併から 10 年目をむかえる平成 26 年から 27 年にかけて「新★豊田市誕生 10 周年プロジェクト」を行い、様々なイベントが催される。プロジェクトと連動して、2015 年 1 月 12 日～17 日の「とよた防災とボランティア週間」の期間中に、とよた防災サミットとして、とよた音楽防災コ

ンサート(16 日)と、防災世界子ども会議 2015in とよた(17 日)とが実施され、運営協力をした。とよた音楽防災コンサートは、東日本大震災で被災した「奇跡の一本松」の一部をヴァイオリンとして甦らせた TSUNAMI ヴァイオリンの演奏等、防災意識を音楽で啓発するプログラムが展開された。また防災世界子ども会議は、世界各国から 50 名の子どもたちが来日し、防災マップづくりや各国の防災教育について情報交換がなされた。意見交換内容は「とよた宣言文」として採択された。

⑩刈谷市桜区における安心・快適なまち・さくら創造事業の防災活動への支援

日　時:2014 年 8 月 4 日(月) 14:00～16:00
2014 年 8 月 17 日(日) 9:00～15:00
2014 年 8 月 23 日(土) 9:00～15:00
2014 年 8 月 27 日(水) 16:00～18:00
2014 年 9 月 19 日(金) 14:00～16:00
2014 年 9 月 27 日(土) 8:00～14:00
2014 年 9 月 30 日(火) 17:00～19:00
2014 年 10 月 18 日(火) 18:30～20:00

場　所:刈谷市桜区 他

担当者:南里・内藤

内　容:本事業は刈谷市の「元気な地域応援交付金」を桜区が活用し、防災・防犯の二つの活動を実施されるものである。愛知ネットは、定期的な会議実施のもと、防災マップづくり指導、アンケートの実施、防災訓練や運営委員会への参加等を通して事業実施を支援している。

⑪知立市における防災研修

(平成 26 年度 新入者研修 防災研修
平成 25 年度・26 年度保育士職 防災研修中堅保育士研修)

日　時:2014 年 8 月 8 日(金) 9:00～16:00(新入者・保育士職)
2014 年 10 月 2 日(木)15:00～16:00(中堅保育士)
2015 年 2 月 17 日(火)15:00～16:00(中堅保育士)

場　所:知立市役所

担当者:南里・内藤・小林(事務局)
米山・高山・松原・梅本・河合 (1 億総レスキュー)

内　容:知立市の新規採用小中教職員(22 名)、保育士(20 名)を対象に、防災学習ツール (「なまずの教室」) の体験および指導を通し、研修を行った。また、知立市の中堅保育士を対象に、防災学習ツール (「防災ダック」) の体験および指導を通し研修を行った。

⑫知立市西小学校における避難所体験

日　時:2014 年 9 月 6 日(金) 19:00～21:00

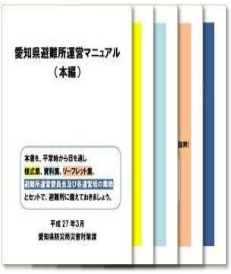
場　所:知立市西小学校 体育館

担当者:南里・小野・内藤(事務局)米山・加藤

内　容:過去の災害における被災地および避難所の説明をした後、HUG(避難所運営ゲーム)プログラムを知立市防災ボランティア連絡会の協力を得て、実施した。

⑬障害者の災害対策ワークショップ
日　時:2014 年 9 月 23 日(火) 13:00～16:30
場　所:東京ビックサイト
担当者:南里
内　容:国立障害者リハビリテーションセンター研究所と障害当事者が参画するワークショップにおいて、「災害時障がい者支援ガイドライン」を活用したシナリオワークショップを実施した。ワークショップでの検討内容は、障害者の災害対策チェックキットづくりにいかされる。

⑭愛知県避難所運営マニュアルの改正に係る検討会議
日　時：2014 年 10 月　8 日(水) 10:00～12:00[第 1 回]
2015 年　3 月 10 日(火) 10:00～12:00[第 3 回]
場　所：愛知県庁
担当者：南里
内　容：愛知県では、東日本大震災における経験や教訓を活かし、災害時に円滑な避難所運営を行えるよう「愛知県避難所運営マニュアル」の改正を行う。改正にあたり開催される検討会議へ参画し、有効なマニュアル策定へ寄与した。



愛知県避難所運営マニュアル

マニュアル活用の手引き
「みんなで考えよう！避難所のこと」

⑮あいち防災協働社会推進協議会協議会および幹事会
日　時：2014 年 10 月　9 日(木) 10:30～12:00[幹事会]
2014 年 10 月 17 日(金) 10:30～12:00[協議会]
2015 年　4 月 10 日(金) 10:00～11:00[幹事会]
場　所：愛知県庁・名古屋大学減災館・自治センター
担当者：天野・南里
内　容：愛知県では、県民、事業者、行政等が一体となって防災に取り組み、災害に強い社会を実現するため、協議会および幹事会を設置する。愛知ネットは会に参画し、防災協働社会形成を推進する。

⑯平成 26 年度 知立市防災会議
日　時：2014 年 10 月 16 日(木) 10:30～12:00
2015 年　3 月 18 日(水)13:30～15:00
場　所：知立市役所
担当者：南里
内　容：知立市の防災に関する重要事項、地域防災計画作成推進のために、会議へ参画した。

⑰知立市八ツ田小学校における防災講演
日　時:2014 年 10 月 24 日(金)13:50～14:40
場　所:知立市八ツ田小学校
協力者:戸上理事
内　容:阪神淡路大震災時に学生だった戸上理事より、現在小学生の子どもたちへ、震災当時の状況の説明、体験したからこそ伝えることのできる「必要な備え」について講演頂いた。

⑱1 億総レスキュー会議

日　時:2014 年 11 月　7 日(金) 10:00～12:00
2014 年 12 月 12 日(金) 10:00～12:00
2015 年 1 月 20 日(火) 10:00～12:00
2015 年 2 月 6 日(金) 10:00～12:00
2015 年 3 月 13 日(金) 10:00～12:00
場　所:愛知ネット事務所、刈谷市民ボランティア活動センター
担当者:南里・内藤・小林(事務局)
梅本・河合・高山・米山(1 億総レスキュー)
内　容:刈谷市総合防災訓練の実施内容についての協議、iPad を利用した各センター間の情報通信の検討、各センターで実施する防災イベント等の情報を共有した。また、2015 年 5 月 17 日に開催予定の「NPO 法人愛知ネットフレンドシップ防災デー2015」の企画検討も行っている。

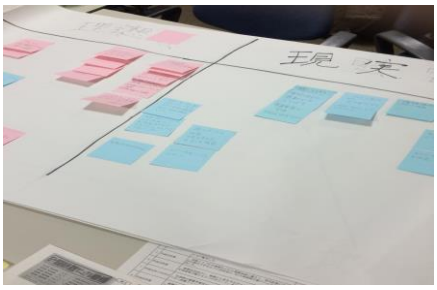
⑲あいち防災フェスタ・防災＆ボランティアフォーラム

日　時:2014 年 11 月　9 日(日) 9:00～16:00
場　所:愛・地球博記念公園
担当者:大野・内藤・小林(事務局)
高山(1 億総レスキュー)
内　容:ブースを展開し、防災協働社会実現に向けた機運の醸成と防災ボランティア活動への理解の促進を図った。4800 人(昨年参加実績:3600 人)の参加があった。

⑳刈谷市における「協働のまつり場」

日　時:2014 年 11 月 11 日(火) 13:30～16:30
2014 年 12 月 19 日(金) 13:30～16:30
2015 年 1 月 21 日(水) 13:30～16:30
2015 年 2 月 18 日(水) 13:30～16:30
場　所:刈谷市民ボランティア活動センター、刈谷市役所
担当者:南里
内　容:刈谷市において「災害に強いまち」をつくるため、特定の市民だけでなく、市民全体の防災意識を高揚させるために、何が必要なのかを検討する場である。刈谷市役所担当課の職員と、防災関係組織やボランティア組織とが参画し、さまざまな立場から意見交換した。参加者が所属する組織の特色や今後の展望をまとめ、まつり場に参加していない主体にも情報共有がなされるよう、整理した。

㉑愛知県・知立市自主防災組織リーダー研修



日　時:2014 年 11 月 15 日(土) 13:00～16:00
場　所:知立リリオ・コンサートホール
担当者:南里・内藤・小林
協力者:矢田氏(大府市石ヶ瀬自治区)
松原(1 億総レスキュー)
内　容:自主防災活動の活性化を図り、地域防災力向上のための講座を実施した。具体的には、東日本大震災等の災害事例とシナリオワークショップによる。また、大府市石ヶ瀬自治区長を講師にお招きし、防災活動の先進事例の発表を頂いた。

㉒刈谷市総合防災訓練第 2 会場運営
日　時:2014 年 11 月　16 日(日) 9:00～12:00
場　所:刈谷市住吉小学校
担当者:南里・小野・内藤・小林
協力者:米山・高山・松原・梅本・河合(1 億総レスキュー)
　　牧野・横山・伊藤・今井・太田・加藤・秦
内　容:災害時に避難所となる小学校にて、避難所の様子の説明や刈谷市で起こりうる災害の被害を説明した。その後、各区単位の安否確認訓練および避難者名簿への記入、本部運営や飲料水の確保、トイレの設置等、避難所運営に必要な項目に分かれた、防災意識啓発の域にとどまらない実践的な訓練を実施した。訓練進行にあたっては、参加者自身が課題を発見できるようなファシリテートにつとめた。

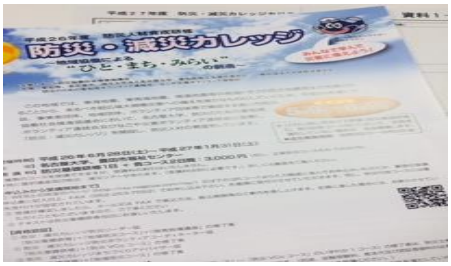
㉓東日本大震災犠牲者追悼式 実行委員会
　震災支援のこれまでとこれから 3.11 交流会
　東日本大震災犠牲者追悼式
日　時:2014 年 11 月 14 日(金) 19:00～20:00
　　2014 年 11 月　24 日(月) 13:30～16:30　他
　　2015 年　3 月　11 日(水)
場　所:東別院内会議室、ワークライフプラザれあろ
　　久野公園
担当者:寺田・南里
内　容:東日本大震災犠牲者追悼式の内容を検討し、3 月 11 日に実施した。実行委員のメンバーの活動や担当者と交流し、支援内容の情報共有と、これからの活動の在り方を検討した。

㉔豊田市高橋地区における DIG 訓練
日　時:2014 年 11 月 30 日(日) 9:00～12:00
場　所:高橋交流館　多目的ホール
担当者:内藤
協力者:松原(1 億総レスキュー)・加藤会員
内　容:7 月に実施した「豊田市自主防災会リーダー養成講座」受講者からの依頼で、DIG(災害図上訓練)を実施した。自治区長らの他に、30 名程の地域の中学生が参加していたため、地域知や経験知の学びがなされるようファシリテートにつとめた。

㉕第 2 回国際交流協会活動推進会議における防災講演
日　時:2014 年 12 月 18 日(木)14:45～15:30
場　所:あいち国際プラザ　アイリスルーム
担当者:南里
内　容:県内の市町国際交流協会職員に対し、多文化共生のための防災・減災について、東日本大震災時における外国人被災者や支援者の事例を紹介した。また、発生が危ぶまれる南海トラフ巨大地震等の被害想定を示し、各市町の災害時の様子を紹介した。

㉖防災人材育成のためのあり方検討会

日　時:2014 年 11 月 26 日(水)10:00～12:00
　　2015 年　1 月 29 日(木)　9:00～11:00
場　所:愛知県庁・生涯学習推進センター
担当者:南里
内　容:平成 26 年度防災・減災カレッジの報告がなされた。平成 27 年度防災・減災カレッジのカリキュラム案日程等、また防災・減災ツアーについて検討および協議した。

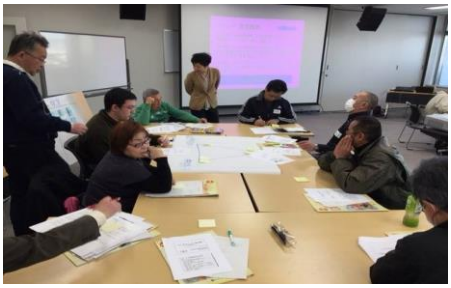


㉗豊田市における災害ボランティア支援センター開設・運営訓練

日　時:2015 年 2 月 15 日(日) 9:00～12:30
場　所:豊田市福祉センター、豊田市役所旭支所
担当者:南里
内　容:豊田市社会福祉協議会・災害ボランティアおよびコーディネーター・豊田市役所らが、西三河地域の社会福祉協議会や関係団体と協力して、災害ボランティア支援センターの設置及び運営訓練を行った。フレンドシップ防災デー企画の参考とするため参加。

㉘みよし市防災リーダー養成講座

日　時:2015 年 2 月 21 日(土) 10:00～16:00
　　2015 年 2 月 28 日(土) 10:00～16:00
場　所:みよし市役所
担当者:南里、内藤、小林、高山、松原
内　容:愛知県における被害想定、被災地の様子および避難所等における課題を講義した。その後、シナリオワークショップによって課題に対する対応を検討した。また、昨年度講座受講者には、フォローアップを行っている。



㉙豊橋市災害ボランティアコーディネーターレベルアップ講座

日　時:2015 年 2 月 22 日(日) 9:00～16:00
場　所:豊橋市総合福祉センター
担当者:南里、内藤、小林、松原
内　容:まちあるき、DIG(災害図上訓練)を通して、災害時のボランティアセンター等における被害情報の集約スキルを説明した。また、シナリオワークショップの手法を通して、災害時におけるボランティアコーディネーターが直面しうる課題および日頃の備えについて考える体験の講師をした。

㉚名古屋市瑞穂区におけるおやこ防災セミナー

日　時:2015 年 2 月 22 日(日) 9:00～16:00
場　所:豊橋市総合福祉センター
担当者:南里、横山、高山、加藤、伊藤
内　容:瑞穂区の特徴、東海地震発生時の被害想定、災害発生のメカニズム、災害への備えについて説明した。新聞紙でつくる防災グッズとして、新聞紙の座布団やスリッパをつくり、それを装着してペットボトルの蓋の上を歩く、災害時の足元の状況を体験を実施。また、非常持ち出し品ゲームとして、災害時にもちだすものの検討と、その重さを体験するプログラムも実施した。

㉛安心してくらせるまちづくりのつどい
日　時:2015 年 3 月 5 日(木) 10:00～14:30
場　所:刈谷市総合文化センター
担当者:南里、濱口、横山、久保田、松永、三吉
内　容:第 9 回安心してくらせるまちづくりのつどい実行委員会(事務局:生活協同組合コープあいち)によるつどいに参加し、愛知県被災者支援センターおよび被災地の状況の説明、愛フェス 2015 の企画や協力の呼びかけを行った。

㉜岡崎市災害ボランティア支援センター協定団体連絡会議
日　時:2015 年 3 月 20 日(金) 10:00～11:30
場　所:岡崎市福祉会館
担当者:南里
内　容:岡崎市による南海トラフ巨大地震発生時の被害想定説明をうけた。また、協定締結団体の活動についての情報共有をした。

II 調査・研究事業

1. 独立行政法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA) 実証実験

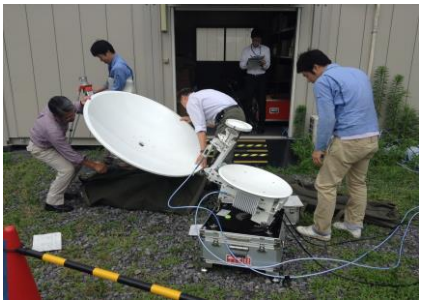
(1)実施概要

宇宙航空研究開発機構が実施する超高速インターネット衛星「きずな(WINDS)」および「きく 8 号(ETS-Ⅷ)」の基本実験と非常用通信等伝送実験における実験準備及び実施に関わる業務を行う。

(2)目標・計画と実績

①目　標:宇宙航空研究開発機構が実施する超高速インターネット衛星「きずな(WINDS)」の基本実験と非常用通信等伝送実験における、被災地での情報発信支援を目的に、訓練シナリオ作成とシステムの実証実験を支援する。また、実利用を見据えた訓練内容や、自立運用スキルの獲得と、運用形態の検討を行う。
②従業員の人数:3 名(天野、南里、内藤)
③受益対象者の範囲および人数:愛知県民 743 万人、つくば市民 21 万人

(3)実施したイベント



①第 1 回　災害通信実験訓練
日　時:2014 年 6 月 25 日(水) 9:45～17:00
場　所:宇宙航空研究開発機構 筑波宇宙センター
担当者:天野、西守理事、内藤
受益対象者:岩手県民 129 万人
内　容: 通信衛星局、地球局の組み立ておよび操作の訓練を実施した。組立てた地球局等を利用し、シナリオに基づいた訓練(仮想避難所と仮想災害対策本部、仮想県災害対策本部と仮想災害対策本部とを結ぶ訓練)を行った。

②第 2 回連絡調整訓練
日　時:2014 年 7 月 19 日(金) 13:30～16:30
場　所:宇宙航空研究開発機構 筑波宇宙センター　他
担当者:天野
内　容:JAXA、災害チャーター支援クラブと共に『災害発生連絡手順書にもとづき、災害発生時における連携した協力体制、状況確認、連絡体制について、通信訓練によって確認した。

③WINDSを用いた防災利用実証実験
日　時:2014 年 8 月 29 日(金)～30 日(土)
場　所:岩手県庁、岩手山サービスエリア
担当者:南里・内藤
内　容:岩手山が噴火した想定で、岩手県に設置した災害対策本部と岩手山SAに設置した火山観測拠点とを、きずな(WINDS)を用いた映像伝送による情報伝達訓練を行った。本訓練は、「岩手県における人工衛星を用いた防災利用実証実験に関する協定」に基づき実施した。

④第 2 回災害通信実験訓練
日　時:2014 年 9 月 17 日(水) 9:00～17:00
場　所:宇宙航空研究開発機構 筑波宇宙センター
担当者:南里
内　容:JAXA，災害チャーター支援クラブと共に、きずな(WINDS)地球局の組立と操作、きずな(WINDS)を用いた災害発生時における仮想県災害対策本部、仮想現地災害対策本部、仮想避難所との通信訓練を行った。

⑤第 3 回災害通信実験訓練
日　時:2014 年 11 月 14 日(金) 9:00～17:00
場　所:宇宙航空研究開発機構 筑波宇宙センター
担当者:南里
内　容:JAXA，災害チャーター支援クラブと共に、きずな(WINDS)地球局の組立と操作、きずな(WINDS)を用いた災害発生時における仮想県災害対策本部、仮想現地災害対策本部、仮想避難所との通信訓練を行った。災害時を想定したシミュレーションもした。

⑥第 2 回連絡調整訓練
日　時:2015 年 3 月 12 日(木) 15:30～17:15
場　所:宇宙航空研究開発機構 筑波宇宙センター
愛知ネット事務所 等
担当者：南里
内　容：JAXA、災害チャーター支援クラブと共に『災害発生連絡手順書にもとづき、災害発生時における連携した協力体制、状況確認、連絡体制について、通信訓練によって確認した

(4)今後の計画・残された課題

今後の計画:実利用を見据えた訓練内容や、自立運用スキルの獲得と、運用形態の検討を宇宙航空研究開発機構および災害チャータ支援クラブ(訓練参加団体)と協力して進める。

Ⅲ 情報支援事業

1．あんぴメール、安全・安心メール

（1）実施概要

災害時に携帯電話のメールシステムを使い安否の確認をするとともに、安否の確認を家族に知らせるシステム。また、そのシステムを流用し、平常時は不審者情報や火災情報などを配信する安全・安心システムの運用。

（2）目標・計画と実績

目標： 安否確認システム利用者 3 万人。安全・安心システム利用者 1 万人。
計画：安否確認システムで 5 千人、安全・安心システムも含め 1 万 3 千人を計画。
実績：利用者数は、安否確認システムは 2 千人。安全・安心システムは 1 万 3 千人となった。
従業員の人数 ： 2 名(天野・松永)
受益対象者の範囲および人数 ： 1 万 5 千人

（3）実施した事業内容

電子メールの高速配信システムを一新することで、コストを抑えながらも、情報の配信スピードと安全性の向上を図ることができた。また、不着メールへの問い合わせ対応も迅速化でき、利用者の満足度を高めることができた。

（4）今後の計画・課題

今後の計画：前年度に引き続き、本年度もあんぴメール運用としては黒字である。今後は、システムへの要望をふまえ、システム改修をどの程度行うのか、更なるサービス向上を進めていくかをしっかりと検討していく必要がある。近年、スマートフォン等の普及から地図情報の無料表示や市町村が運営する災害情報への切り替えなど、安否メールの商品価値を高めることも必要である。

今後の課題：

①上記計画をもとに、利用者拡大のためにシステムの整備と各方面への働きかけを実施する。
②土砂災害警戒情報など新たな情報についてのサービス提供を検討する。
③メールの多様化により不着メールが増加している為、原因究明の為のサービスを強化する。

● 災害救援

Ⅰ 被災者支援センター

1. 実施概要

2011 年 6 月から愛知県からの事業委託にて発足した。県内の 4 つの NPO と共に運営し、東日本大震災を被災し、愛知県へ避難されている方への支援を継続して実施している。課題が複雑化するなかで、一人ひとりのいのちや暮らしに焦点をあてた支援活動を実施する。

2. 目標・計画と実績

東日本大震災発生から 3 年を経過した現状において、避難されている方市町村や地域コミュニティの理解と協力を得て、支援活動を実施する。

●従業員の人数 ： 2 名(南里・寺田)

●受益対象者の範囲および人数 ： 愛知県へ避難されている 1124 名(2015 年 4 月現在)

3. 実施した事業内容

(1) 市町村及び地域における受入被災者支援体制の構築支援の一つとして、市町村訪問を行い、実績報告や避難されている方の個別情報の提供を行った。

(2) 受入被災者への情報提供を始めとする、受入被災者の避難生活の安定に資する事業の一つとして、市町村や保健師と連携し、愛知県へ避難されている方の戸別訪問を実施した。

(3) 全体交流会(2015 年 1 月 31 日～2 月 1 日)を実施した。

(4) 避難者自身が企画し実施する「やりたいサポート事業」を支援した。

●NPO 法人愛知ネット気仙事務局

■トヨタグループ関係

①トヨタグループ 16 社気仙地区ボランティア活動コーディネート

日　　程:
　第 1 クール　 7 月 25 日(金)～ 7 月 28 日(月)
　第 2 クール　 7 月 31 日(木)～ 8 月　3 日(日)
　東京クール　 7 月 31 日(木)～ 8 月　4 日(月)
　第 3 クール　10 月 24 日(金)～10 月 27 日(月)
　第 4 クール　10 月 31日(金)～11 月　3 日(月)
場　所:気仙地区(大船渡市・陸前高田市・住田町)
外部協力者:住田町・邑サポート・大船渡市・陸前高田市　他
内　容:2011 年からの継続的活動

＊写真は上から
・陸前高田市長　表敬
・住田町中上住宅　そばまき
・住田町夏まつり　道中おどり参加

②トヨタグループ各社ヒアリングコーディネート・アテンド

日　程:4 月 8 日(火)～9 日(水)
　　トヨタ自動車 2014 年度ボランティア活動のためのヒアリング
　　4 月 21 日(月)～23 日(水)
　　トヨタグループ 2014 年度ボランティア活動のためのヒアリング
場　所:大船渡市、陸前高田市、住田町、東海新報社、
　　モビリア仮設住宅　他

日　程:5 月 30 日(金)
　　アイシン精機　陸前高田市における支援活動のためのヒアリング
場　所:岩手県庁、陸前高田市、アイシン東北、高田松原を守る会

写真は、上から
・4 月　トヨタグループ
　　大船渡市長、陸前高田市長、住田町長表敬

・アイシン精機　岩手県庁訪問

③豊田自動織機他「ドランカーズ」 ハンドベル演奏会アテンド

日　程:6 月 26 日(木)～6 月 29 日(日)
場　所:大船渡保育園、大船渡市デイサービスセンター、
　　大船渡復興屋台村、住田町中上応急仮設住宅
内　容:2013 年に続く演奏会。あらたに、大船渡市デイサービスセンター、住田町中上応急仮設住宅で演奏会を設けた。

④豊田自動織機　小学校訪問ミニコンサートアテンド

日　程:6 月 6 日(木)
場　所:大船渡市立立根小学校
　　大船渡市立赤崎・蛸の浦小学校
内　容:
　豊田自動織機さんが愛知で展開していた小学生を対象とした訪問ミニコンサートを気仙地区内でも 2012 年から実施。気仙地区内の教育委員会、各学校との打合せを重ね、当日のアテンドまでを行った。また、秋にも4校実施予定

写真は、
・豊田自動織機担当宮脇氏、高柳氏　大船渡市金野教育長表敬
・立根小学校
・赤崎　蛸の浦小学校

■愛知県内企業・学校・団体

①大見工業㈱　新人研修コーディネート

日　程:　4 月 15 日(火)～19 日(土)
場　所:　大船渡市三陸町綾里
協力者:　千葉幸男氏　他
内　容:　2013年に続き、地元漁師さんに受け入れを依頼

②NPO法人のびっこ安城 「のろう三鉄　みよう東北」

日　程:7 月 26 日(金)～28 日(日)
場　所:大船渡市内
内　容:安城市東日本大震災復興補助金事業 2012 年の開催に続く。
三陸鉄道乗車、大船渡津波伝承館訪問、盛町田茂山地公民館交流活動を実施。

③盛町七夕まつり　運営補助

日　程:8 月 6 日(水)～7 日(木)
場　所:大船渡市盛町内
内　容:2011 年からの継続支援
当日、本部にて運営補助
また、安城七夕まつりからも、40 名が参加予定

●NPO 法人愛知ネット気仙事務局

2014 年度（2014 年 7 月 27 日～2014 年 10 月 17 日）

■トヨタグループ関係

①トヨタグループ 16 社気仙地区ボランティア活動コーディネート

日　程:
~~第 1 クール　7 月 25 日(金)～7 月 28 日(月)~~
第 2 クール　7 月 31 日(木)～8 月 3 日(日)
東京クール　7 月 31 日(木)～8 月 4 日(月)
~~第 3 クール　10 月 24 日(金)～10 月 27 日(月)~~
~~第 4 クール　10 月 31 日(金)～11 月 3 日(月)~~

場　所:　気仙地区(大船渡市・陸前高田市・住田町)
外部協力者:　住田町・邑サポート・大船渡市・陸前高田市　他
内　容:2011 年からの継続的活動。

主な活動:
【第1クール】(後半)
・大船渡ポートサイドマラソン大会給水スタッフ
・住田町長宅懇親会
・お茶づくりモニター(気仙大工伝承館)

【第2クール】
・FM ねまらいん出演
・陸前高田　にじのライブラリーにおける環境整備作業
・学童クラブにおける工作教室
「うみねこキッズ」(大船渡)、「たけの ko 学童クラブ」(陸前高田)
・三陸大船渡夏まつり参加
路上警備、道中おどり参加
・住田町・世田米小学校 6 年生　親子行事参加

【東京クール】
・陸前高田市内における、草刈り作業
・三陸大船渡夏まつり参加
路上警備、道中おどり参加
・大船渡夏まつり海上ステージ撤去作業(海を愛する会)

②トヨタ自動車東日本新人研修
日　程:9 月 29 日(月)～30 日(火)
内　容:
【1 日目】9 月 29 日(月)　大船渡市内
・大船渡津波伝承館見学
・猪川町長洞仮設住宅
・環境整備活動
・住民のみなさんとの「お茶っこ」

【2 日目】9 月 30 日(火)　陸前高田市内
・気仙町における、遺留品捜索活動

■愛知県内企業・学校・団体

①愛知学院大学ボランティア活動コーディネート
日　程:7 月 30 日(水)～8 月 2 日(土)
場　所:気仙管内
内　容:様々な方々との「交流」を通じてコミュニケーション能力の向上を図ることを目的とする。

【1 日目】7 月 30 日(水)
住田町世田米商店街における、七夕撤収作業
陸前高田「語り部」
【2 日目】7 月 31 日(木)
住田町内(世田米、上有住、下有住)学童クラブにおける、子供たちとの交流活動
下有住地区における、「夕涼み会」運営補助
【3 日目】8 月 1 日(金)
住田町内仮設住宅(中上、火石、本町)における、お茶会
【4 日目】8 月 2 日(土)
陸前高田やるきタウンにおける、環境整備作業
三陸大船渡夏まつり道中踊り参加

②盛町七夕まつり　運営補助
日　程:8 月 6 日(水)～7 日(木)
場　所:大船渡市盛町内
内　容:2011 年からの継続支援
当日、本部にて運営補助
また、安城七夕まつり協賛会からの参加者のアテンド
宿泊施設手配(大船渡地区公民館、大船渡保育園)
道中踊り参加手配
桜花学園大学、大船渡保育園訪問アテンド

③愛知県高等学校文化連盟「東日本大震災被災者支援活動」
　コーディネート及びアテンド
日　程:8 月 9 日(土)～10 日(日)
場　所:大船渡市内
内　容:
　　大船渡市内バスからの車窓見学の案内
　　大船渡津波伝承館
　　3 カ所の仮設住宅に分かれての活動
　　・永沢応急仮設住宅
　　・山馬越応急仮設住宅
　　・大立仮設住宅
　　盛青年商工会門田晃明さんからの講話
　　ぼんずプロジェクト竹野美貴子さんからの講話

④安城学園吹奏楽部コンサート
日　程:8 月 17 日(日)
場　所:大船渡市民文化会館
内　容:吹奏楽部によるコンサート
　　広報活動の手配等

⑤安城学園高校合唱部ミニコンサート　コーディネート及びアテンド
日　程:8 月 19 日(火)
場　所:大船渡市内
内　容:特別養護老人ホーム「蔵ハウス」
　　おおふなと夢商店街
　　大船渡保育園

⑥愛フェス 2014「大船渡さんままつり」
日　程:9 月 13 日(土)～14 日(日)
場　所:モリコロパーク
内　容:大船渡のさんま(鎌田水産)3000 尾を無料で配布
大船渡市役所に協力を仰ぎ、職員 3 名を派遣
トヨタグループをはじめとするボランティアスタッフの協力のもと、実施に至った。

●NPO 法人愛知ネット気仙事務局

2014 年度（2014 年 10 月 18 日～2015 年 1 月 25 日）

■トヨタグループ関係

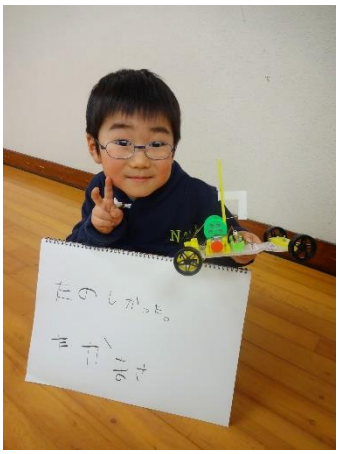
【トヨタグループ】
①トヨタグループ 16 社気仙地区ボランティア活動コーディネート
日　程:
　第 3 クール　10 月 24 日(金)～10 月 27 日(月)
　第 4 クール　10 月 31日(金)～11 月　3 日(月)
場　所:気仙地区(大船渡市・陸前高田市・住田町)
外部協力者:住田町・邑サポート・大船渡市・陸前高田市　他
内　容:2011 年からの継続的活動。
主な活動:
【第 3 クール】
大船渡産業まつり支援
住田町産業まつりブース出展、アクア(2 台)展示
住田町中上団地そば打ち交流会

【第 4 クール】
陸前高田市牡蠣の収穫体験
陸前高田ツールドさんりく運営補助
住田町中上団地そば刈り交流会

【トヨタ自動車】
①トヨタ自動車 SX 会　募金先のコーディネート
日　程:10 月 25 日(土)
内　容:被災地の子供たちにという趣旨で募金活動を行い、そのご浄財を活用してほしいという申し出。(金額 97,997 円)
大船渡市にある児童養護施設「大洋会」中学 3 年生 6 名に対し、自転車の寄贈をすることとし、目録の寄贈を行った。
高校合格が決まったら、自転車を購入。その後、写真や手紙等でお礼をさせていただく。
＊トヨタさんからの自転車を励みに、受験勉強を頑張ってほしいとの園長先生からの提案

②トヨタ技術会　なぜなにレクチャー　コーディネート

日　程:10 月 25 日(土)・10 月 26 日(日)
　　15 年 1 月 10 日(土)
場　所:10 月 25 日(土)　大船渡市「シーパル」
　　10 月 26 日(日)　住田町　庁舎交流ホール
　15 年 1 月 10 日(土)陸前高田市米崎地区コミュニティセンター
内　容:小学生を対象とした工作教室の開催。
　　大船渡市・住田町　ホバークラフト
　　陸前高田市　からくり自動車
愛知ネットは協力団体となり、トヨタ技術会事務局と 3 役所の調整をはかった。



③トヨタ自動車豊田章男社長裕子夫人来仙
　スケジュールコーディネート・アテンド
日　程:10 月 26 日(日)
内　容:トヨタグループが活動している気仙地区を訪問したいとの申し出があり、日程調整と当日の現地案内を務めた。(第 4 クール・なぜなにレクチャー開催に合わせて来訪)
主な訪問先:
　住田町産業まつり・なぜなにレクチャー見学およびグループボランティア社員の激励
　大船渡津波伝承館
　おおふなと夢商店街(2012 年にボランティア社員がウッドデッキの制作に携わった)
　陸前高田市語り部・一本松茶屋

④トヨタ自動車技専コース(前期)　ベルマーク寄贈先の
　コーディネート
日　程:10 月 31 日(金)
内　容:収集したベルマーク 26375.1 点について、寄贈先を 2012 年にトヨタ自動車ラグビー部が運動会を大船渡北小学校とした当日は、佐藤友美 GM から、児童の代表としてベルマーク委員長に寄贈された。

【豊田自動織機】
小学校訪問ミニコンサート
日　程:11 月 5 日(水)～11 月 6 日(木)
場　所:
　11 月 5 日(水)　陸前高田市　高田小学校・横田小学校
　11 月 6 日(木)　大船渡市　吉浜小学校・大船渡北小学校
内　容:豊田自動織機が愛知で展開していた小学生を対象とした訪問ミニコンサートを気仙地区内でも 2012 年から実施。気仙地区内の教育委員会、各学校との打合せを重ね、当日のアテンドを行った。また、2015 年度も実施予定。現在調整中。

【アイシングループ】
高田松原再生の支援のためのヒアリングコーディネート
日　程:11 月 9 日(日)～10 日(月)
場　所:高田松原を守る会、陸前高田市役所
内　容:高田松原再生について、アイシン精機をはじめとしたグループとして取り組むために、現地ヒアリングを実施。
訪問者:アイシン精機杉田氏、アイシン・エィ・ダブリュ

【アイシン・エィ・ダブリュ】
①アイシン・エィ・ダブリュ　ファミリーフェスタ 2014
　「大船渡さんままつり」
日　程:10 月 19 日(日)
内　容:社内イベントでの実施。今年は、大船渡のさんまに加え、ほたて焼きも加え、大盛況だった。
　協力団体の調整、さんま・備品手配、当日も焼き手として参加。
　<協力>盛青年商工会 5 名、吉浜元気組 3 名
　また、同会場にて、大船渡市立博物館、東海新報社の協力のもと、震災パネル展を実施した。

②寄付金寄贈　コーディネート
日　程:12 月 24 日(水)
内　容:ファミリーフェスタ「大船渡さんままつり」の売上金の寄贈先を、盛町七夕まつり実行委員会とし、贈呈式を行った。

【トヨタ自動車東日本】
桐友会懇親会　大船渡商工会議所女性会太鼓
日　程:11 月 12 日(水)
内　容:桐友会事務局からの申し出で、女性会太鼓を紹介。当日まで、事務局と商工会議所との仲介を行った。

■愛知県内企業・学校・団体

【安城学園】
①　愛知学泉大学岡崎キャンパス学園祭「大船渡さんままつり」
日　程:10 月 18 日(土)
内　容:学園祭で「大船渡さんままつり」の実施。昨年から 2 年目。今年は、大船渡のさんまに、ほたて焼きも加え、大盛況だった。
協力団体の調整、さんま・備品手配、当日も焼き手として参加。
〈協力〉盛青年商工会 3 名、吉浜元気組 1 名

②　愛知学泉大学豊田キャンパス学園祭「大船渡さんままつり」
日　程:11 月 1 日(土)
内　容:学園祭で「大船渡さんままつり」の実施。2012 年から 3 年目。今年は、大船渡のさんまに、ほたて焼きも加え、大盛況だった。
協力団体の調整、さんま・備品手配など行った。
〈協力〉盛青年商工会 4 名

③　安城学園高校吹奏楽部「東日本と愛知をつなぐコンサート」
日　程:12 月 27 日(土)
場　所:午前　陸前高田市立第一中学校
　　午後　大船渡市立盛小学校
内　容:2011 年冬から、夏と冬実施のコンサート。
　　会場手配、各種備品の手配はじめ、旅行社との調整を行った。当日、挨拶の機会を頂戴した。

④　安城学園高校野球部・サッカー部ボランティア活動現地受け入れ補助
日　程:12 月 28 日(日)
内　容:大船渡市漁協鎌田氏受け入れ。
　　碁石海岸におけるゴミ拾い。
　　昼食会場の手配を行った。

■その他

①　愛知県青年の家主催　野外活動指導者研修会「東日本大震災から学ぶ！避難所運営のあり方と重要性」講師との調整
日　程:11 月 1 日(土)
内　容:講師　鈴木晴記先生へ訪問。各種打ち合わせ調整を行った。

②　日本教育会愛知県支部「第 162 回講演会」講師との調整
日　程:11 月 15 日(土)
内　容:講演会におけるシンポジウムのパネリストとの現地打ち合わせ・調整を行った。
〈講師〉
　岩手県立水沢高等学校　校長　高橋和夫先生
　　(震災当時:岩手県立大槌高等学校校長)
　岩手県立高田高等学校　養護助教諭　古川真弓先生
　　(震災当時:岩手県立大槌高等学校勤務)

③　いわて復興塾「第 11 回講義」ゲストスピーカー
日　程:11 月 22 日(土)
場　所:岩手大学
内　容:岩手県達増拓也知事が塾長を務める塾。秘書からの申し出があり、第 11 回講義の講義1において、「私たちの岩手・三陸の創造　～ふるさとの未来を語る」をテーマとし、ゲストスピーカー4 名の一人として出席。

④　岩手県東日本大震災津波復興委員会総合企画専門委員会意見交換会
日　程:12 月 12 日(金)
場　所:大船渡地区合同庁舎分庁舎
内　容:県内有識者と岩手県復興局はじめ県職員が出席。「被災地における将来にわたって持続可能な地域社会の構築」をテーマとした意見交換会。復興局からの申し出で、現地から 4 名うちの一名として出席。

●　ＮＰＯ法人愛知ネット気仙事務局

2014 年度（2015 年 1 月 26 日～2015 年 4 月 18 日）

■　トヨタグループ関係

【豊田自動織機】

内　容：2015 年度も春と秋に、気仙管内小学校において、訪問ミニコンサートを予定されている。
そのために、2 月 12 日～17 日の間、開催を希望する気仙管内小学校 8 校を訪問し、日程調整をさせていただいた。

〈春〉6 月 2・3 日
陸前高田　広田小学校、矢作小学校、大船渡
赤崎・蛸の浦小学校、大船渡北小学校

〈秋〉10 月 27・28 日
大船渡　越喜来小学校、日頃市小学校、立根小学校、
吉浜小学校

【トヨタ自動車】

①2015 年度ボランティア活動のための現地ヒアリング

日　程：3 月 5 日（木）～6 日（金）

内　容：2011 年から気仙地区内でボランティア活動を継続していただいているが、2015 年度も実施の方向から、現地ニーズのヒアリングのためのコーディネート、当日のアテンドを行った。

来訪者：
・トヨタ自動車社会貢献G　大洞氏　他 2 名
・トヨタ自動車東日本社会貢献G　藤岡氏　他 2 名

訪問先：
住田町中上住宅、大船渡商工会議所、東海新報社、住田町、りくぜんたかたまるごと協議会、P@CT、大船渡体育協会

②トヨタビックホリデー　ボランティアプラザ（大船渡さんままつり、エコバック）売上金の寄贈先コーディネート

寄贈日：3 月 6 日（金）

寄贈先：大船渡市体育協会

経　緯：昨年、大船渡市内で毎年開催される「ポートサイドマラソン大会」で、給水などの運営協力をトヨタグループボランティアの皆さんが行った。その縁で、大船渡市体育協会を紹介させていただき、協会から希望があったテント 1 張を寄贈していただいた。
大船渡市体育協会は被災しており、用具が流出・破損し、今も備品を購入している状況にある。なお、商品は大船渡市盛町のスポーツ店ご購入いただいた。

③トヨタ会館クリスマスイベント売上の寄贈先のコーディネート
寄贈日:3 月 6 日(金)
寄贈先:陸前高田市立小友小学校
経　緯:昨年の 11 月のボランティアクールが、漁業体験として牡蠣の作業を小友地区で行っていただいたご縁から、小友小学校を寄付先として紹介。
当日は、東日本大震災に関する全校集会で、学校長の計らいもあり、集会の最後にトヨタ自動車様からの寄贈の場面を設けていただき、子供たちから歌のプレゼントがあった。

④トヨタ自動車技専コース(後期)ベルマーク寄贈先のコーディネート
寄贈日:3 月 6 日(金)
寄贈先:陸前高田市立米崎小学校
経　緯:ベルマーク寄贈の申し出を受け、前期は大船渡市の大船渡北小学校を、後期は陸前高田市の米崎小学校(ベルマーク収集)を選定した

⑤豊田章男社長来仙
日　程:3 月 26 日(木)
内　容:豊田社長が岩手県訪問にあたり、釜石より、三陸鉄道に乗車され、盛駅で下車。そこで、以前トヨタ自動車SX会の寄付金を自転車購入資金の一部としてお送りいただいた、児童養護施設「大洋学園」の中学 3 年生が、高校進学するにあたり購入した新しい自転車とともに、お礼をかねて社長お出迎え。以上、コーディネートさせていただいた。
その後、トヨタグループのボランティア活動の受入先である、住田町中上団地にご訪問いただき、住田町多田町長をはじめとし、団地のみなさんと交流を図られた。
なお、自転車購入にあたっては、「SX会の募金がこのような使い方をされているのは、とても良いことだ」ということで、豊田社長もポケットマネーから、同額を学園に寄付してくださった。

⑥トヨタ自動車Webサイトへの寄稿
2013 年度に続き、2014 年度のトヨタグループ様の東日本大震災被災地支援活動のページに、「被災地からの声」ということで、寄稿させていただいている。

【ＵＲＬ】
http://www.toyota.co.jp/jpn/sustainability/social_contribution/volunteer/disaster/v_reconstruction/history.html

⑦トヨタ自動車大洞様からの依頼
　　コミュニティー政策学会における、パネリストの推薦
日　程:3 月 29 日(日)
場　所:大船渡市民文化会館　リアスホール
内　容:トヨタ自動車の大洞様が所属されている、コミュニティー政策学会のシンポジウムを大船渡で開催するにあたり、パネリストとして「大船渡市内在住の水産加工業に携わり、自分のなりわい(稼ぎ)だけでなく、新しいまちづくりに積極的に関わっている人物を」というリクエストをいただき、地元水産関係者にも相談したうえで、三陸町吉浜地区の若手漁師であり、「吉浜元気組」の会長を務めている千葉豪様に依頼。
震災後の地域漁業の現状と問題点を発表し、好評を得た。

■愛知県内企業・学校・団体

①安城市　大見工業㈱・医療法人加藤歯科医院　新人研修
　コーディネート・アテンド
日　程:4 月 6 日(月)～10 日(金)
場　所:大船渡市三陸町綾里地区
内　容:4 月 7 日～9 日の 3 日間にわたって、地元漁師千葉幸男氏をはじめ、5軒の地元漁家さんの協力のもと、大見工業様・加藤歯科医院様、総勢 12 名の新人研修のコーディネート・アテンドを行った。
大見工業様は今年で 3 年連続の実施であり、今年は加藤歯科医院様も加わった。
<午前>早朝より、5 か所の漁家さんのもとワカメ作業
<午後>千葉氏のところで、タラ漁の仕掛作り作業
朝食はワカメ漁家さんが、昼食は千葉さんの奥様にご用意いただいており、地域をあげて、迎え入れてくれている。
最終日は、作業終了後、大船渡市議会議員の伊藤力也氏のご講演が開催された

※いずれのコーディネートも、当日のアテンドはもちろんのこと、事前打合せは、
　電話のみならず、訪問させていただき、行わせていただいている。

■社会教育

Social education

愛知県下唯一の県立青年の家である愛知県青年の家は、青少年のみなさんが、規則正しい集団宿泊生活をしながら、研修活動、野外教育活動、レクリエーション活動などを通して、協同・友愛・奉仕の精神を養い、よりよい社会人としての資質を身につけるために作られた社会教育施設です。

● 愛知県青年の家

【敷地図】

センター概 要

場　　所：愛知県岡崎市美合町並松 1-2

電　　話：0564-51-2123

ファクス：0564-51-2027

E－mail：yh-staff@npo-aichi.or.jp

URL：http://www.aichi-yh.jp

開館時間：8 時 30 分～17 時 30 分(宿泊客無し)

8 時 30 分～22 時(宿泊客有り)

休 館 日：毎週月曜日(祝日の場合は火曜日が休館日)

敷地面積：24,895 ㎡

建物延面積：5,232 ㎡

宿泊定員：180 人

構造・規模：

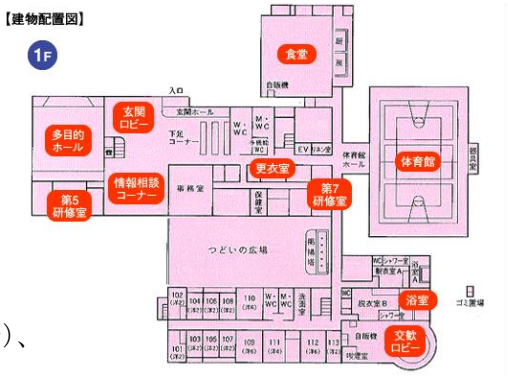
管理研修棟…RC 造 2 階建　2,446 ㎡

宿　泊　棟…RC 造 3 階建　2,015 ㎡

体　育　館…SRC 造平屋建　771 ㎡　アリーナ

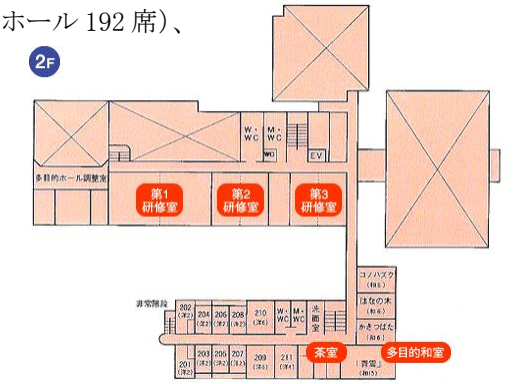
野外施設…テニスコート(2 面)、営火場、芝生広場、野外炊飯場、つどいの広場、駐車場(46 台)、自転車置場

【建物配置図】



主な施設：

管理研修棟…第 1 研修室(99 人)、第 2 研修室(63 人)、第 3 研修室(63 人)、第 4 研修室(多目的ホール 192 席)、第 5 研修室(36 人)、第 7 研修室(18 人)、玄関ロビー、情報相談コーナー、保健室、更衣室 2 室、食堂(116 人)

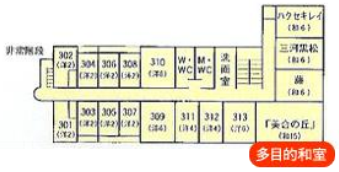


宿　泊　棟…宿泊室 45 室
(洋室 37 室)
2 人用(バス・トイレ付)6 室、2 人用 19 室、4 人用 4 室、6 人用 8 室
(和室 8 室)
6 人用 6 室、15 人用で研修室兼用 2 室、第 6 研修室(和風研修室)、交歓ロビー、浴室(2)、シャワー室(2)

体　育　館…バスケットボール(1 面)、バレーボール(1 面)、バトミントン(3 面)など

主な設備：

エレベーター、スロープ、多機能トイレ(身体障害者、オストメイト、乳幼児対応)、AED(自動体外式除細動器)、車椅子(2)



Ⅰ センターの役割と任務

1. 委託業務名・目的

（1）業　務　名 ： 愛知県青年の家指定管理業務

（2）事業の目的 ： 青年の家は、自然の中で青少年が研修や野外活動を行いながら、規則正しい集団宿泊生活を通じて、協同・友愛・奉仕の精神を養い、よりよい社会人となることを期待して設けられた施設であり、この設置の目的に沿った管理運営を行う。

（3）実 施 期 間 ： 平成 23 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日の 5 年間

2. 愛知県青年の家の業務内容

(1) 業務

① 青年の家の利用を許可すること
② 青年の家の利用の許可に条件を付けること
③ 青年の家の利用の中止を承認すること
④ 青年の家の利用に係る指示をすること
⑤ 青年の家の利用の許可を取り消し、又は利用の中止を命ずること
⑥ その他青年の家の施設を維持管理し、運営すること

(2) 運営業務

青年の家利用者への便宜供与、利用促進及び安全管理等「愛知県青年の家管理要領」に基づき運営を行う。

・業務項目

① 利用申し込み・受付・許可に関する業務 ② 館内案内、利用案内、接遇業務 ③ 青年の家利用者のニーズの把握とサービス向上に関する業務 ④ 利用促進に関する業務 ⑤ 青年の家の情報提供、広報、広告に関する業務 ⑥ 利用料金の収受業務 ⑦地元自治体、各種団体、地域住民、公共機関等との連絡調整業務 ⑧ 県民やボランティア等との協働事業の推進 ⑨ 迷子、拾得物及び遺失物の対応に関する業務 ⑩ 各施設、ゲートの開錠及び施錠の管理業務 ⑪ 緊急・救急対応に関する業務 ⑫ 警備に関する業務 ⑬ 館内巡視及び利用指導に関する業務 ⑭ 自主事業に関する業務

(3) 施設管理業務

業務の対象は、敷地、建築物、電気設備、機械設備、建築物付属備品、工作物等とする。業務の実施にあたり適用を受ける関係法令等を遵守すること。

・建築物、電気設備、機械設備、建築物付属備品、工作物管理業務

①点検業務 ② 保守業務 ③ 建築物等清掃業務 ④ 異常発見時の処置 ⑤ 境界の見回り

II　26 年度の目標

1. 26 年度宿泊開館日数 273 日として、宿泊利用率 49%を達成するには、宿泊者数 24,079 名となる。よって目標宿泊利用実績を 24,100 名とする。

2. ①25 年度愛知県青年の家「指定管理者管理運営に関するモニタリング調書」の県評価が 37 項目で、Aが 26、B が 8、Cが 3 項目の結果であった。よって、26 年度評価Cの 3 項目を改善し、A・B項目を維持して、評価を上げる。

②苦情・意見を未然に防いだり、少なくしたりする対策として、朝の職員会議でお客様確認表を職員全員で確認するとともに、利用者各団体に担当職員をそれぞれつけることでコミュニケーションをとり顧客満足度の向上に努め、迅速な対応を心がける。

③24 年度事業報告記載漏れを踏まえ、26 年度も基本協定に基づき月報を正確に作成し、報告をする。

④文書に関する規定等を策定し、適正に管理を行う。

3. 職員一人ひとりのよさを生かし、適材適所に配置し、その人を伸ばし、組織力を高める。
4. サービス向上のために、施設等の充実を図る。

III　目標と実績

1. 宿泊利用者数実績

	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	計
昨　　年	6,797 名	8,694 名	3,516 名	4,723 名	23,730 名
本年度目標	7,400 名	8,800 名	3,600 名	4,300 名	24,100 名
実　　績	7,647 名	8,403 名	3,915 名	4,139 名	24,104 名
目標との差異	247 名	▲397 名	315 名	▲161 名	4 名

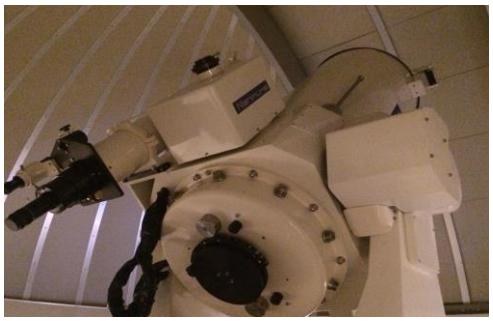
2. 実施したイベント

(1)週末活動支援事業

①運動会のための準備運動会
日　時:平成 26 年 4 月 26 日(土)
場　所:愛知県青年の家
参加者:68 名
講　師:伊藤勝治氏、指導補助・支援者 18 名
内　容:より動きやすい体をつくるには
:より速く走るには
:もしもの時には
:より健康な体をつくるには

②土星と月面を見よう

日　時:平成 26 年 7 月 5 日(土)～6 日(日)
場　所:愛知県青年の家・愛知教育大学
参加者:38 名
講　師:愛教大澤教授・外部スタッフ 6 名
内　容:観望会・天文ミニ講座・3D上映会
野外炊飯・レクリエーション



③防災サバイバルキャンプ

日　時:平成 26 年 11 月 2 日(日)～3 日(月)
場　所:愛知県青年の家
参加者:37 名
講　師:外部スタッフ 8 名
内　容:学防災・避難所設営・野外炊飯
キャンドルファイヤー

④なつかしの日本文化

日　時:平成 27年1月 18 日(日)
場　所:愛知県青年の家
参加者:21 名
講　師:職員 9 名
内　容:和凧作り、餅つき、凧揚げ、羽根つき、こま回し、
おはじき、お手玉、けん玉

⑤木星とオリオン大星雲を見よう

日　時:平成 27 年 2 月 13 日(金)～15 日(日)
場　所:愛知県青年の家・愛知教育大学
参加者:38 名
講　師:早蕨幼稚園藤井哲也園長
愛教大澤教授・学生 3 名
内　容:1 日目　木星・彗星・金星観望会
2 日目　うどん麺づくり・野外炊飯
オリオン座大星雲・木星・金星観望
3 日目　観測日記アルバム作り

(２)ユースワーカーインキュベーション事業(スキルアップ事業)

①「第 1 回教員採用試験対策講座」

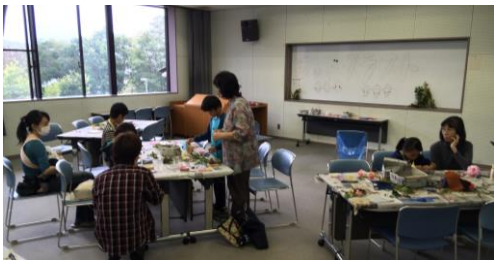
日　時:平成 26 年 5 月 11 日(日)
場　所:愛知県青年の家
参加者:22 名
講　師:石原克巳氏、柴田哲谷氏、杉浦久男氏　他 1 名
内　容:小論文及び個人面接

②「第 2 回教員採用試験対策講座」
日　時:平成 26 年 7 月 13 日(日)
場　所:愛知県青年の家
参加者:27 名
講　師:藤井孝弘氏、石原克巳氏、柴田哲谷氏　他 3 名
内　容:集団討論・集団面接・個人面接

③「第 3 回教員採用試験対策講座」
日　時:平成 27 年 3 月 6 日(金)～7 日(土)
場　所:愛知県青年の家
参加者:21 名
講　師:松碕嘉信氏　他 5 名
内　容:　講義　教師論・小論文の書き方
　　合格者との意見交換
講　義:面接の心得・集団面接・個人面接

(3)施設開放事業

①オープンデー
日　時:平成 26 年 10 月 26 日(日)
場　所:愛知県青年の家
参加者:93 名
　　:青年講座受講生 11 名
内　容:ワードラリー・シャボン玉コーナー・ウッドクラフト・仮想パーティー・野外炊飯



(4)指導者育成事業

①ボランティア育成事業
日　時:平成 26 年 10 月 11 日(土)～12 日(日)
場　所:愛知県青年の家
参加者:14 名 (+2 日目子ども 50 名)
講　師:2 名、外部スタッフ 3 名
内　容:スポーツ指導者育成講座
　　子どもが運動を好きになる指導法
　　遊びスポーツフェスティバル

②野外指導者育研修会(防災)
日　時:平成 26 年 11 月　1 日(土)～2 日(日)
場　所:愛知県青年の家
参加者:73 名
講　師:3 名、外部スタッフ 3 名
内　容:東日本大震災から学ぶ
　　～避難所運営のあり方と重要性～講演と実技
講　演:元大船渡市立綾里小長　鈴木　晴紀氏
　　元岩手県立大槌高校長　高橋　和夫氏
　　避難所における炊き出し体験・学ぼう災
　　避難所運営ゲーム　愛知ネット　南里　幸　氏

③シニア・ボランティア講座
日　時:平成 26 年 10 月 26 日(日)
場　所:愛知県青年の家
参加者:14 名
講　師:3 名、スタッフ 2 名
内　容:昔遊び伝承とスマホ講座

(5)青年の集い事業

①音楽活動で地域を盛り上げよう
日　時:平成 27 年 3 月 13 日(金)～14 日(土)
場　所:愛知県青年の家
参加者:15 名
　　:講師、スタッフ 3 名
内　容:活動発表会　団体間交流

(6)コーディネート事業

①愛知県高校生ボランティアスキルアップ交流会
主　催: 愛知県高等学校文化連盟
後　援: 愛知県青年の家
協　賛: 大見工業　安城電機
日　時: 平成 27 年 1 月 31 日(土)～2 月1日(日)
場　所: 愛知県青年の家
参加者: 28 名
講　師: 支援者 12 名他
内　容: スキルアップ 4 講座・活動報告交流会

②第 8 回愛知県青年の家杯空手道錬成大会
日　時:平成 27 年 2 月 1 日(日)
場　所:岡崎中央総合体育館
参加者:300 名
　　11 府県・男子 28 チーム・女子　9 チーム
　　監督・審判団・役員　60 名
内　容:リーグ戦・決勝トーナメント戦

Ⅳ 26年度成果と課題

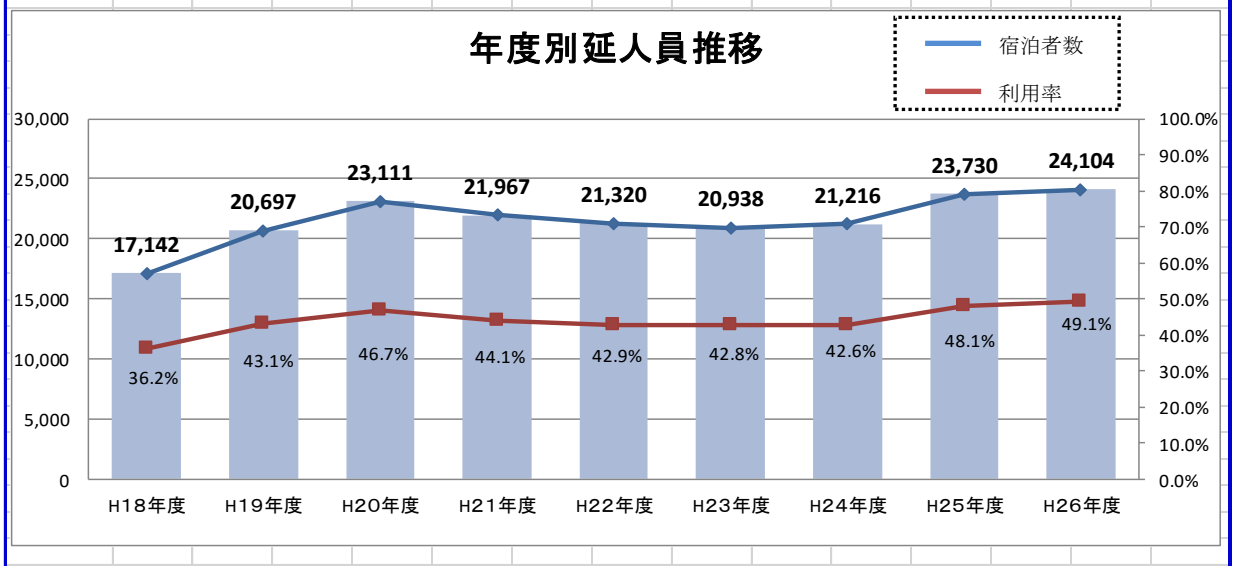
1. 目標宿泊利用者数達成、史上最高人数更新

26 年度の宿泊利用者数は 24,104 人で目標宿泊利用者数{算定基準〈宿泊人数 180 人×宿泊開所日数 273 日×宿泊利用率 49%＝目標宿泊利用者数 24,079 人〉}を上回った。

これは昨年達成した史上最高人数 23,730 人より 374 人多く、最高人数を更新した。

年度別月別宿泊者実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	利用率
H18年度	2,460	892	1,325	1,934	3,165	916	1,070	371	1,066	954	677	2,312	17,142	36.2%
H19年度	2,660	1,173	1,617	2,300	3,291	1,581	834	900	1,164	877	1,524	2,776	20,697	43.1%
H20年度	3,271	1,800	1,940	3,146	3,753	1,530	1,201	1,111	1,181	928	885	2,365	23,111	46.7%
H21年度	3,245	2,110	1,318	2,801	3,991	1,287	1,105	966	1,209	981	817	2,137	21,967	44.1%
H22年度	3,401	1,427	1,382	2,741	4,100	1,544	1,000	896	1,058	1,146	718	1,907	21,320	42.9%
H23年度	2,971	1,378	1,910	2,309	4,161	1,324	682	803	1,163	900	998	2,339	20,938	42.8%
H24年度	2,819	1,642	1,471	2,777	4,421	1,452	967	835	1,243	937	819	1,833	21,216	42.6%
H25年度	2,660	2,252	1,885	2,779	4,491	1,424	776	1,325	1,415	1,138	805	2,780	23,730	48.1%
H26年度	3,292	2,738	1,617	2,708	4,271	1,424	679	1,608	1,628	1,112	900	2,127	24,104	49.1%



2. 文書管理規定を作成、平成 27 年1月1日付で施行

愛知県青年の家指定管理者の特定非営利活動法人愛知ネットの文書管理規定を作成し、愛知県教育委員会と協議し、平成 27 年1月1日付で施行した。

3.「対応の全てにスタッフの方々のお心遣いを感じます。」利用者の評価 5 点満点中4. 8

苦情・意見を未然に防いだり、少なくしたりする対策として、朝の職員会議でお客様確認表を職員全員で確認をした。また、利用者各団体に担当職員をそれぞれ就け、親切・丁寧・迅速な対応を心がけ、コミュニケーションをとり顧客満足度の向上に努めた。

4. 基本協定に基づき月報を正確に作成、報告

職員一人ひとりのよさを生かし、適材適所に配置し、その人を伸ばし、組織力を高めた。

5. 愛知県青年の家指定管理者に応募、指定管理者受諾

平成 27 年 8 月に「平成 28 年度以降 5 年間、愛知県青年の家指定管理者の審査及び指定管理者候補者の選定」が実施される。指名され受諾することが最大の課題である。

■社会教育

Social education

豊橋市青少年センターは、豊橋市の子ども会連絡協議会ボーイスカウト・ガールスカウト青年団協議会などの活動拠点で、青少年健全育成の拠点施設であります。愛知県青年の家との連携を図りつつ、三河の青少年教育に貢献してまいります。

● 豊橋市青少年センター

センター概要

場　所:豊橋市牟呂町字東里 26 番地

電　話:(0532)46-8925

E－mail:info@toyohashi-yc.jp

U R L:http://toyohashi-yc.jp

開館時間:豊橋市青少年センター　午前 9 時～午後 10 時

:宿　泊　棟　入所　午前 9 時～午後 5 時

退所　午前 9 時 30 分

休 館 日:毎週月曜日

（月曜日が国民の祝日または休日のときはその次の平日）

年末年始:12 月 29 日～1 月 3 日

構造・規模〈建物延べ面積〉

・中央棟　:RC造 3 階建　1,982 ㎡

・研修棟　:RC造 4 階建　890 ㎡

・宿泊棟　:RC造 4 階建　935 ㎡

・屋外施設　:運動広場　3,844 ㎡

主な施設

・中央棟…・音楽室・図書談話室・喫茶室

・多目的広場(遊戯室・学習室)

・大研修室(100)人

・体　育　室

・ソフトバレーボール 3 面・バドミントン 3 面・卓球台7台

・運　動　広　場(ソフトボール1面ナイター照明有り)

・研修棟　・豊橋市子ども会連絡協議会事務局

・少年団体リーダーズクラブ事務局

・豊橋市少年愛護センター

・麦笛ひろば西

・とよはし若者サポートステーション

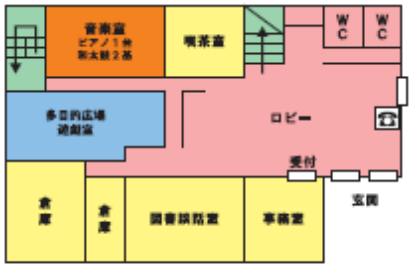
・豊橋市青年団協議会事務局

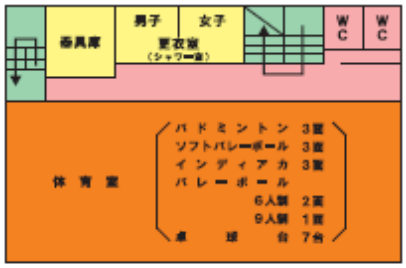
・展示室

・工作室

・ユースレクレクリーダー室

＜中央棟＞





＜研修棟＞

・第1研修室(48 人)・第 2 研修室(12 人)・第 3 研修室(36 人)

・宿泊棟・宿泊室 12 室　56 人

(4 人用和室8室・6 人用洋室4室)

・食堂 1・浴室 2・厨房 1・談話室 3・管理人室1

・若者サポートステーション・第1・第 2 研修室

＜宿泊棟＞

Ⅰ　センターの役割と任務

1. 委託業務名・目的

(1)業務名：豊橋市青少年センター指定管理業務

(2)事業の目的:

① 豊橋市青少年センターを、社会教育活動拠点と位置づけ、「豊橋市子ども会連絡協議会」「ボーイスカウト」「ガールスカウト」「健民少年団」「海洋少年団」「スポーツ少年団」「青年団協議会」や、青少年が集団で、研修活動、スポーツ活動、レクリエーション活動などができる、地域の青少年健全育成の拠点施設として機能する。

② 豊橋市青少年センターの併設施設である、「豊橋市子ども・若者総合相談窓口」「豊橋市少年愛護センター」「とよはし若者サポートステーション」「麦笛ひろば西」を支援する。

(3)実施期間：　平成 23 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

2. 豊橋市青少年センターの業務内容

(1)自主事業の実施、施設の広報に関する業務

① 自主事業の企画、実施に係る業務

・ 青少年のための研修会、講習会等の開催

・ 青少年のためのレクリエーション活動の実施

・ 青少年の団体活動の支援

② 情報提供、広報に関する業務

・「広報とよはし」や教育委員会への情報提供

・ 施設のパンフレット、広報誌「ヤングウエーブ」の作成・配布

・ 事業・行事等のポスターやチラシの配布並びにメディア利用の広報活動

・ ホームページの開設

・ 利用者交流情報誌「交流タイムズ」の作成・配布

(2)運営に係る業務

① 施設の使用承認等運営業務

② 施設使用料の徴収及び払込事務

(3)施設の維持管理業務

① 施設管理に関する業務

II　今年度の目標

1. 委託業務 4 年目、豊橋市教育委員会が行ってきた業務を継続的に堅実に受け継ぎ、全職員が協定書の理解、設置目的、先進的青少年センターの事例を学び、利用者の増加はもちろん、行政からの課題も解決しながらセンター運営を遂行する。
2. 利用者目標人数 51,000 名とし、青少年センター、研修棟、宿泊棟の日帰り及び宿泊利用者へのサービス向上に努める。
3. 青少年が学習や話し合いを進め、仲間づくりや各種の催し、趣味を育て、教養を高めるとともに青少年団体に自主的な活動の場を提供する。
4. 青少年の日常活動に即して、交友と研鑽の場を提供し、スポーツ、レクリエーション、青少年の研修、団体活動等の支援をする。
5. 青少年に対し、防災減災に関する知識を学び、意識を向上させる啓発事業を開発し実施していく。

III　実施したイベント

1. レクリエーション・インストラクター養成講座

日　時：平成 26 年 5 月 9 日～10 月 17 日（全 34 回）
　　毎週火・金曜日（除く 8 月）
時　間：午後 7 時 15 分～8 時 45 分
場　所：豊橋市青少年センター
参加者：延べ 223 名（講師・助手 61 名）
内　容：レクリエーション・インストラクターに必要な実技・理論等を様々な活動で身に付ける
講　師：日本レクリエーション協会公認レクリエーションコーデイネーター
その他：日本レクリエーション協会公認レクリエーション・インストラクター試験受験資格の対象となる

2. 青年講座

「前期」5 月～7 月　週 1 回　全 8 回 4 講座

（1）ソフトバレーボール
日　時:平成 26 年 5 月 13 日～7 月 1 日
　　毎週火曜日午後 7 時～9 時
場　所:青少年センター体育室
参加者:延べ 132 名

(2)やさしいジャズダンス
日　時:平成 26 年 5 月 9 日～7 月 3 日
　　毎週金曜日午後 7 時 30 分～9 時
場　所:青少年センター体育室
参加者:延べ 110 名

(3)ヨガ＆スモールボール

日　時:平成 26 年 5 月 14 日～7 月 2 日
　　毎週木曜日午後 7 時 30 分～9 時
場　所:青少年センター大研修室
参加者:延べ 52 名

(4)太極拳

日　時:平成 26 年 5 月 8 日～6 月 26 日
　　毎週木曜日午後 7 時～9 時
場　所:青少年センター大研修室
参加者:延べ 94 名

前期参加者総計 388 名

「後期」9 月～11 月　週 1 回 全 8 回 4 講座

(1)ソフトバレーボール

日　時:平成 26 年 9 月 2 日～11 月 11 日
　　毎週火曜日午後 7 時～9 時
場　所:青少年センター体育室
参加者:延べ 121 名

(2)やさしいジャズダンス

日　時:平成 26 年 9 月 12 日～11 月 14 日
　　毎週金曜日午後 7 時 30 分～9 時
場　所:青少年センター体育室
参加者:延べ 83 名

(3)ヨガ＆スモールボール

日　時:平成 26 年 9 月 3 日～10 月 22 日
　　毎週水曜日午後 7 時 30 分～9 時
場　所:青少年センター大研修室
参加者:延べ 47 名

(4)太極拳

日　時:平成 26 年 9 月 4 日～10 月 23 日
　　毎週木曜日午後 7 時～9 時
場　所:青少年センター大研修室
参加者:延べ 89 名

(5) HIP HOP ダンス

日 時:平成 26 年 9 月 4 日～10 月 23 日
毎週木曜日午後 7 時～9 時

場 所:青少年センター体育室

参加者:延べ 55 名

後期参加者総計 395 名

3. わくわく体験クラブ

(1)親子ポスター教室

日 時:平成 26 年 7 月 24 日(木)～25 日(金)
午前 10 時～午後 12 時 全 2 日

場 所:豊橋市青少年センター 大研修室

参加人数:1 日目 12 組 30 名 ・ 2 日目 12 組 30 名
計 60 名

(2)造形創作教室

日 時: 平成 26 年 8 月 2 日(土)～3 日(日) 午前 10 時～午後 3 時

場 所:豊橋市青少年センター 研修棟 第 1 研修室

参加人数: 8/2 2 組 4 名 8/3 2 組 4 名

(3)ちびっこ科学スクール「落ち葉でスピーカーを作ろう」

日 時:平成 26 年 10 月 26 日(日) 午前 10 時～正午

場 所:豊橋市青少年センター 展示室

講 師:野口 富雄 氏

参加人数:一般参加者 4 組 9 名・講師 1 名 計 10 名

(4)スポーツ鬼ごっこ体験会

日 時:平成 26 年 11 月 30 日(日) 午後 9 時～正午

場 所:豊橋市青少年センター 体育室

参加者:50 人

日 時:平成 27 年 2 月 15 日(日) 午後 9 時 30 分～正午

場 所:豊橋市青少年センター 体育室 参加者:40 人

(5)コミュニケーション力アップ講座＋スポーツ鬼ごっこ体験会

日 時:平成 27 年 3 月 28 日(土) 午前 10 時～午後 3 時

場 所:豊橋市青少年センター 研修棟 第 3 研修室と体育室

講 師:丸一 真也氏(心理カウンセラー)
中山 忠之氏(スポーツ鬼ごっこ 2 級指導員) 参加者:50 人

4. わくわく体験講座

(1)楽しく覚える津軽三味線

①日　時:平成 26 年 6 月 11 日(水)・25 日(水)
7 月 9 日(水)・23 日(水)・30 日(水)
午前 10 時～11 時 30 分　≪全 5 回≫
場　所:豊橋市青少年センター　音楽室
対　象:市内在住の一般社会人
参加人数:6 月 11 日(水)21 名　・7 月 9 日(水)19 名
25 日(水)20 名　・23 日(水)18 名　・30 日(水) 15 名
述べ　93 名

②日　時:平成 26 年 10 月 8 日(水)・22 日(水)
11 月 12 日(水)・26 日(水)　12 月 10 日(水)
午前 10 時～11 時 30 分　≪全 5 回≫
場　所:豊橋市青少年センター　音楽室
対　象:市内在住の一般社会人
参加人数:10 月 8 日(水)20 名　・22 日(水)14 名
11 月 12 日(水)15 名・26 日(水)　16 名
12 月 10 日(水)11 名　　述べ　66 名

(2)「防災講座とワークショップ」

概要・目的:

豊橋市青少年センターが、第二指定避難所に指定されており、避難所開設するにあたり慣れない環境の中で、安否確認・避難誘導・避難者の受け入れ態勢のシミュレーションを行う。センター内フロアでは、パネルや災害用資器材の展示を始め、AED 体験・救護方法や段ボール間仕切り組立て体験を行い、ハイゼックスで炊いたご飯を試食いただき、防災の備え大切さを学んでもらう。

日　時:平成 26 年 10 月 4 日(日)　午前 9 時 30 分～午後1時
場　所:豊橋市青少年センター
参加対象者:　汐田・牟呂校区の住民など
参加人数:80 名(スタッフ 15 名)

5. 四季の行事教室

(1) 七夕のつどい

日　時:平成 26 年 6 月 29 日〈日〉 午後 1 時～3 時
場　所:豊橋市青少年センター大研修室
対　象:市内在住の小学生とその家族
（豊橋レクリエーション・インストラクター養成講座受講生含む）
参加者:53 名

(2) お月見のつどい

日　時:平成 26 年 9 月 28 日（日） 午後 1 時～午後 3 時
場　所:豊橋市青少年センター　大研修室
対　象:市内在住の小学生とその家族
一般参加者:9 組　27 名
研修参加者: 5 名（豊橋レクリエーション・インストラクター養成講座受講生、中部福祉保育医療専門学校）
講　師: 20 名
計　52 名

(3) クリスマスのつどい

日　時:平成 26 年 12 月 7 日（日） 午後 1 時～午後 3 時
場　所:豊橋市青少年センター　大研修室
講　師:レディースレクわたぼうしのメンバー　17 名
参加人数:一般参加者　14 組 35 名
研修生参加者: 18 名（レクリエーション・インストラクター養成講座受講生、中部福祉専門学校、慈恵福祉保育専門学校、田原福祉専門学校）
計　53 名

(4)ひなまつりのつどい

日　時:平成 27 年 2 月 22 日（日） 午後 1 時～午後 3 時
場　所:豊橋市青少年センター　大研修室
講　師:レディースレクわたぼうしのメンバー　22 名
参加人数:一般参加者　9 組 22 名
研修生参加者: 15 名（中部福祉保育医療専門学校・田原福祉専門学校・愛知文教女子短大・豊橋レク講生）
計　59 名

6. ジュニアチャレンジ講座

(1)バドミントン

日　時:平成 26 年 7 月 20 日(日)・7 月 26 日(土)・8 月 9 日(土)
午前 10 時～午前 11 時 30 分
平成 26 年 7 月 27 日(日)・8 月 3 日(日)
午後 1 時 30 分～午後 3 時
場　所:豊橋市青少年センター　体育室

計:85 名

(2)卓　球

日　時:平成 26 年 12 月 23 日(火)・24 日(水)・25 日(木)・26 日(金)
午前 10 時～午前 11 時 30 分
場　所:豊橋市青少年センター　体育室
講師・助手(敬称略)述べ 12 名
参加人数:12 月 23 日 20 名・12 月 24 日 19 名
12 月 25 日 20 名・12 月 26 日 22 名

計 81 名

7. 青年フェスティバル

日　時:平成 26 年 8 月 30 日(土)　午後 5 時～午後 8 時 30 分
場　所:豊橋市青少年センター　運動広場
内　容:豊橋市青年団協議会主催のもと、青少年センター内の各団体や地元自治会との協働で多くの近隣住民を招き、盆踊りや出展を楽しんだ。
対　象:地域住民
参加者:500 名

8.「みんなで学防災」～どう動く・どう守る・自分の命～

第五回　豊橋市立二川南小学校　(防災デー)
日　時:平成 26 年 6 月 7 日(土)　午前 8 時 45 分～10 時 25 分
場　所:二川南小学校体育館及び多目的ホール
参加者:4 年生　90 名+保護者 35 名
6 年生　90 名+保護者 30 名(総計 245 名)

第六回　豊橋市立石巻小学校
日　時:平成 26 年 6 月 21 日(土)　午前 9 時～午後1時
場　所:石巻小学校体育館・図工室・被服室及びグランド
参加者:全学年 193 名+保護者 140 名(総計 333 名)

くろしおサマーキャンプ（防災キャンプ）

概　要・目　的

巨大地震が発生し、避難した先で窮屈、不自由が当たり前の環境を参加した小中学生がみんなで力を合わせ、大人の力を借りながら、課題を解決していくことをテーマに、1泊 2 日の防災キャンプを体験し災害時、自分の命は自分で守り、自らも誰かの役に立つ側になれるよう、このキャンプから学んでもらう。

日　時：平成 26 年 7 月 29 日(火　午前 9 時 30 分～
　　平成 26 年 7 月 30 日(水　正午まで　 1 泊 2 日
場　所：豊橋市野外教育センター（伊古部町）
主　催：豊橋市生涯学習課（野外教育センター・青少年センター）
内　容：くろしおサマーキャンプ中、防災体験学習を取り入れた防災キャンプを1泊 2 日で実施
1 日目：オリエンテーション・避難時昼食体験・防災マップ作り・避難所夕食体験・間仕切り組立体験・竹細工
2 日目：避難所朝食体験・応急処置救護法・AED 体験
　　参加人数：小学生　46 名　　中学生 3 名　　計 49 名

第七回　豊橋市立芦原小学校
日　時：平成 26 年 9 月 30 日（火）　午後 12 時～午後 2 時
場　所：豊橋市野外教育センター
参加者：5 年生 65 名

9. 広報活動

①ヤングウェーブ：毎月初旬　月 1 回発行　発行部数 3,150 部
②広報とよはし：月 2 回発行
③青少年センターホームページ：随時更新
④利用者団体間情報交換誌「交流タイムズ」：季刊発行
⑤Facebook：：11 月 21 日発信開始

Ⅳ 青少年センター並びに関連団体施設利用者数

（単位：人）

目標（年間）	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累積	合計	進捗率	※学防災
51,000	12,230	13,663	13,797	11,317	51,007	51,007	100.0%	※692

※学防災防災は出前講座のため利用者数には含まず

月	24年度	※宿泊	25年度	※宿泊	前年比	26年度	※宿泊	前年比
4	3,661	78	3,621	60	98.9%	3,648	42	100.7%
5	4,064	30	3,553	0	87.4%	4,132	108	116.3%
6	4,957	39	4,835	16	97.5%	4,239	61	87.7%
7	5,229	147	3,870	167	74.0%	3,873	75	100.1%
8	4,013	132	4,709	139	117.3%	3,903	128	82.9%
9	5,470	89	4,480	78	81.9%	5,416	268	120.9%
10	5,651	15	4,441	8	78.6%	4,679	0	105.4%
11	5,619	0	4,180	0	74.4%	4,567	0	109.3%
12	3,931	8	4,230	29	107.6%	4,503	48	106.5%
1	3,512	60	2,684	19	76.4%	3,672	0	136.8%
2	3,727	56	3,179	53	85.3%	3,614	31	113.7%
3	4,090	87	3,642	123	89.0%	3,951	49	108.5%
合計	53,924	741	47,424	692	87.9%	50,197	810	105.8%

参考資料

	若者サポートステーション			少年愛護センター			麦笛ひろば西		
月	25年度	26年度	前年比	25年度	26年度	前年比	25年度	26年度	前年比
4	1,085	619	57.1%	72	99	137.5%	45	21	46.7%
5	1,267	403	31.8%	92	128	139.1%	152	98	64.5%
6	1,156	567	49.0%	59	157	266.1%	110	172	156.4%
7	1,061	496	46.7%	80	147	183.8%	68	71	104.4%
8	901	387	43.0%	42	75	178.6%	0	0	ー
9	954	337	35.3%	44	99	225.0%	187	156	83.4%
10	1,360	603	44.3%	49	90	183.7%	162	42	25.9%
11	1,172	538	45.9%	60	78	130.0%	227	107	47.1%
12	951	512	53.8%	53	82	154.7%	203	184	90.6%
1	808	293	36.3%	42	68	161.9%	198	133	67.2%
2	1,009	356	35.3%	49	92	187.8%	149	139	93.3%
3	806	439	54.5%	92	128	139.1%	110	66	60.0%
合計	12,530	5,550	44.3%	734	1,243	169.3%	1,611	1,189	73.8%

V まとめ

【第1四半期】

・25 年度の実績を基に豊橋市生涯学習課と連携をとり、26 年度豊橋市青少年センター事業計画書を作成し、その事業計画に基づき第1四半期を堅実にスタートした。前年度との違いは、消費税アップ分が指定管理料に上乗せられた。

・ロビーレイアウト変更をし「明るいセンター」「情報が見やすいセンター」を心がけ、情報発信を積極的に行なうなど、利用者増につながる施策は、生涯学習課などから評価を得た。

【第2四半期】

・NPO 法人愛知ネット平成 25 年度モニタリング調査による、「財務関係書類」を生涯学習課に提出した。

・消防査察が有り、消防法令に基づく指導が 2 点あった、生涯学習課と協議し対処した。

・講座では、野外教育センターとの協働で 1 泊 2 日の「防災キャンプ」を実施し、職員、ボランティアの防災啓発にもつながった。

・利用者実績は、第 1 四半期・第 2 四半期で目標の 50%を達成し、順調に推移している。

【第 3 四半期】

・防災啓発事業として、「避難所体験講座」を開催した。

・外部監査があり

①備品リストの整備と運用の確認があった。

②平成 25 年度自主事業報告とその収支の確認があった。

③平成 25 年度自主事業報告書の提出と説明をした。

・ 平成 27 年度事業計画を提出した。

・ 学校教育課に平成 27 年度「学防災」 企画提案書を提出した。

・ 利用者実績は、 第 3 四半期で目標の 79.3%に達し、 順調に推移している。

【第4四半期】

・平成 27 年度事業計画に基づき、自主事業及び講座開催の講師依頼と調整を行った。

・出張講座形式防災啓発事業「みんなで学防災」企画書を 52 小学校 22 中学校校長会に提出し、平成 27 年度小学校 5 校中学校 1 校の申し込みを受け付けた。

・スポーツ課と協働で「スポーツ鬼ごっこ体験会」の展開を図り、出前授業として 52 小学校に提案し、平成 27 年度 14 校から申し込みを受け付けた。

・施設利用アンケート調査を行い回収しデータをまとめた。

・平成 27 年度指定管理費が確定し、協定書を取り交わした。

・平成 26 年度利用者目標 51,000 人に対し 51,007 人が利用した。

・平成 25 年利用者 48,116 人に対しては 2,891 人の利用者増であった。

・豊橋市青少年センターを拠点とする第 9 ブロック「総合型地域スポーツクラブ」立ち上げ準備委員会が発足され、平成 27 年 12 月 13 日設立総会に向けて始動した。

■NPO・市民団体支援

NPO SUPPORT

ボランティアや市民活動を支援するセンターの管理運営を中心とする事業を引き続き実施していきます。今後は地域内分権がより進むことが予測されるため、それぞれの行政区域の特性を活かす事業が求められています。
指定管理者による施設の運営とあわせて、ボランティア及び市民活動の促進を目的に、ＮＰＯとしての特性やノウハウを活かした事業をさらに展開していきたいと考えます。

● 刈谷市民ボランティア活動センター

センター概 要

センター外観

場　　所 ： 刈谷市東陽町１丁目 32 番地２
電　　話 ： 0566-62-8231
ファクス ： 0566-62-8232
E－MAIL ： kcv109box@katch.ne.jp
U R L ： http://www.katch.ne.jp/~kcv109box/
開館時間 ： 9 時～21 時
休 館 日 ： 毎週月曜日(祝日の場合は火曜日)、年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)
主な施設 ： 交流スペース、談話スペース、作業スペース、情報スペース、メールボックス、ロッカー、多目的トイレ、駐車場
使用料金 ： コピー機使用は実費負担、印刷機は無料。但し用紙は利用者が持参
※施設、ロッカー、その他機材使用は無料
談話スペース ： 登録団体が打ち合わせ、団体間の交流の場として利用。
※テーブルは 18 席が 4 島有り。76 席で利用することも可能
ロッカー ： 活動に必要な備品などを保管する場所として利用。(ロッカー数は、47 個)
メールボックス ： 各団体間の連絡、文書・チラシの配布や団体宛の郵便物、ファックスの一時保管場所利用。(メールボックスの数は、36 個)
作業スペース ： 印刷機、紙折機、製本機、丁合機、裁断機、紙そろえ機、ラミネーターを設置。
※貸出備品:プロジェクター、ノートパソコン、スタッフコート(10 着)、クリスマスツリー(2 セット)、サンタクロースの衣装、スポットライト、バルーンアート空気入れ(5 本)、ビンゴマシン、布ぞうり製作台(6 台)、小型プロジェクター、 レーザーポインター、ハンドベル、防災カルタ、非常持ち出しゲーム、紙芝居枠、グルーガン、名札、腕章など

Ⅰ センターの役割と任務

１. 委託業務名・目的

(１)業 務 名 ： 刈谷市民ボランティア活動センター管理運営委託

(２)事業の目的 ： 様々な分野で活躍する市民ボランティア活動団体を支援するとともに、活動に対する市民の意識啓発を図り、市民ボランティア活動を推進する

(３)実施期間 ： 平成 24 年 4 月 1 日(土)～平成 29 年 3 月 31 日(土)

2. 刈谷市民ボランティア活動センターの任務

(1)情報の収集・提供業務

①「かりや衣浦つながるネット」(ボランティア情報サイト)の管理運営、登録団体の入力作業、イベント情報・ボランティア募集などのコーディネート業務、サイト利用操作説明など

②刈谷市民ボランティア活動センターのHP作成及び維持管理

③メールマガジン及び情報誌(ぼらっち。)等の発行

(2)活動場所の提供業務

①談話室の予約受付、貸出し等利用申し込みの対応

②印刷機器等設備の利用に関する事務

(3)意識啓発・普及業務

①意識啓発活動の実施(業務全体を通じて)

②啓発チラシパンフレット等の作成・更新

(4)人材育成・交流業務

①人材育成のための研修会を企画・運営(スキルアップ講座等)

②市民ボランティア活動団体の交流機会を増加するネットワーク構築

(NPO・ボランティア活動に精通した講師をお呼びし、車座集会を開催)

(5)相談・連絡調整業務

①市民ボランティア活動に関する市民からの相談窓口としての機能(マッチング活動)

②NPO法人認証取得のための相談への対応

II 前年度反省と今年度の環境

1. 前年度の反省

(1)数値目標及びイベント計画など全て目標を達成することができた。

(2)刈谷城築城 480 年記念及びセンター開設 10 周年にふさわしい事業を実施する事ができた。

2. 今年度の環境

(1)刈谷市　　「元気な地域応援交付金制度」スタート

(2)愛知ネット　愛知ネット設立 15 周年

III 今年度の目標

1. 狙 い:　愛知ネットの強みをいかし、市民に頼りにされ愛知ネットでなくては困るというセンターをめざす。
2. 目 標:　前年実績の 5%以上のアップをメドに活動する。刈谷市との協定内容(車座集会とスキルアップ講座は 5 回、わがまちのつむぎ場を 1 回開催)以上の事業を実施する。

3. 重点施策:

(1)今年度の環境を織り込んだ事業展開をする。

(2)愛知ネットの強みを活かした事業展開をする。

(3)刈谷市共存・協働のまちづくりにふさわしいマッチング活動をする。

(地域のNPO・企業との連携を強化する。)

Ⅳ 目標と実績

	H25 年	H26 年			
	実　績	目　標	実　績	達成率	前年比
総来館者数	18,670 人	19,604 人	20,271 人	104%	109%
相談件数	1,015 件	1,066 件	1,065 件	100%	105%
マッチング件数	105 件	110 件	110 件	100%	105%
団体登録	417 団体	438 体	442 団体	101%	106%
個人登録者	157 人	165 人	177 人	107%	112%

Ⅴ 実施したイベント

1. 車座集会

(1)イベント名　第 58 回車座集会
日　時: 2014 年 4 月 19 日(土) 18:30～20:00
場　所: 刈谷市民ボランティア活動センター
参加者: 36 名
講　師: 加藤源重氏 (NPO 法人福祉工房あいち理事長)
担当者: スタッフ全員
内　容: 「三河のエジソンの挑戦」というテーマで、人生生涯現役、物づくりにかける人生という内容で実施した。

(2)イベント名　第 59 回車座集会
日　時: 2014 年 5 月 16 日(金) 13:00～16:45
場　所: 刈谷市民ボランティア活動センター
参加者: 30 名
講　師: 刈谷ふるさとガイドボランティアの会
東浦ふるさとガイド協会
担当者: スタッフ全員
内　容: 「刈谷と東浦をむすぶ於大ゆかりの歴史探訪」というテーマで、刈谷城と緒川城(東浦町)の解説をしてもらいながらツアーをおこなった。

(3)イベント名　第 60 回車座集会
日　時: 2014 年 8 月 23 日(土) 18:30～20:15
場　所: 刈谷市民ボランティア活動センター
参加者: 35 名(刈谷工業高校生 5 名参加含む)
講　師: 木村祐哉氏
(デンソーグループハートフルフレンド)
担当者: スタッフ全員
内　容: 「若手技術者に聞く未来のクルマ」というテーマで、環境を切り口に夢のあるクルマの話であった。

(4)イベント名　第 61 回車座集会

日　時: 2014 年 12 月 5 日(金) 10:00～11:45
場　所: 刈谷市民ボランティア活動センター
参加者: 44 名
講　師: 平野敬子氏
(刈谷生活協同組合理事、食生活アドバイザー)
担当者: スタッフ全員
内　容: 「毎日使う調味料から食生活を見直そう」というテーマであった。今回、初めてセンターに来た人が 22 名で 50%であった。ボランティア活動の啓発になればと、収集ボランティアのPRもした。

(5)イベント名　第 62 回車座集会

日　時: 2015 年 3 月 8 日(日) 17:00～18:45
場　所: 刈谷市民ボランティア活動センター
参加者: 43 名
講　師: 多田一彦氏
(特定非営利活動法人遠野まごころネット　理事長)
担当者 : スタッフ全員
内　容 : 「かりや 3.11 を忘れない」事業の一環で開催した。「大規模災害、そのときみんなでできること」というテーマで、東日本大震災の復興支援の話であった。また講話の後に活発な意見交換が行われ、風化の歯止めになった。

2. スキルアップ講座

(1)イベント名　第 64 回スキルアップ講座

日　時: 2014 年 5 月 31 日(土) 10:00～11:45
場　所: 刈谷市民ボランティア活動センター
参加者: 35 名
講　師: 丹羽　茂男氏 (NPO　as　one 代表)
担当者: スタッフ全員
内　容: ～必ず来る次の大震災に備える家の中の安全対策～というテーマで実施した。
東日本大震災でのボランティア体験談や愛知県が前日に発表した南海トラフ被害想定など、いろいろな事例を織り込み、家具転倒防止について語られた。参加者から、家具転倒防止の必要性がわかった、参加して良かったという声をいただいた。

(2)イベント名　第 65 回スキルアップ講座

日　時: 2014 年 7 月 29 日(火) 10:00～11:30
場　所: 刈谷市民ボランティア活動センター
参加者: 27 組の親子 50 人(子どもは小学校 3 年以下)
講　師: 山本俊雄氏(センター個人会員)
担当者: スタッフ全員
内　容: ～夏休みものづくり体験ウッドクラフト講座～というテーマで開催した。工作はペンシルスタンドとウッドカーを製作し、大変好評であった。

(3)イベント名　第 66 回スキルアップ講座
日　時：2014 年 8 月 30 日（土）13:30～15:30
場　所：刈谷市民ボランティア活動センター
参加者：24 人（親子連れなど）
講　師：石井善勝氏
　　ティッシュペーパークラフト結びの会
担当者：スタッフ全員
内　容：～ティッシュペーパークラフトに挑戦～というテーマで開催した。作品は、かわいいトンボと金魚であり、夏休み終わりの楽しいものづくり講座となった。

(4)イベント名　第 67回スキルアップ講座
日　時：2014 年 9 月 23 日（火）13:30～16:00
場　所：刈谷市民ボランティア活動センター
参加者：32 人
講　師：米山哲司氏（アイディア・ラボ［β］副代表）
担当者：スタッフ全員
内　容：～ひらめきトレーニング～というテーマでワークショップをおこない、アイデアを生み出すコツを教えてもらった。参加者全員がアイデアマンをめざして頭の活性化をした。

(5)イベント名　第 68 回スキルアップ講座
日　時：2014 年 10 月 5 日（日）13:30～16:00
場　所：刈谷市民ボランティア活動センター
参加者：30 人
講　師：米山哲司氏（アイディア・ラボ［β］副代表）
担当者：スタッフ全員
内　容：～新企画を考えてみよう！～というテーマでワークショップを開催した。参加者はアイデアを出し、企画力を身に付け、市民活動に役立てようと熱心に受講された。

(6)イベント名　第 69 回スキルアップ講座
日　時：2014 年 10 月 1 日（水）～31 日（金）9:00～21:00
場　所：刈谷市民ボランティア活動センター
参加者：81 組（人）
担当者：スタッフ全員
内　容：全国一斉ボランティアデーMake a Change Day の一環で、ボランティアマインドの啓発を目的に、地元で出来る海外支援というテーマで収集活動を開催した。収集品は支援団体が集めている書き損じハガキ・使用済みインクカートリッジ、ベルマーク、エコキャップなどであった。

3. わがまちのつむぎ場6

日　時: 2014 年 11 月 23 日(日) 13:30～16:00
場　所: 刈谷市民ボランティア活動センター
参加者: 165 名
担当者: スタッフ全員
内　容: 事業所・行政・NPO法人・市民活動団体の総勢 36 団体が出展し、コラボまつりを実施した。事例発表 2 件、1 分間PRスピーチ＆交流タイム、団体名ビンゴゲームと良いつむぎの場となった。

4. 特別イベント

(1)助成金講座

日　時: 2014 年 6 月 3 日(火) 19:00～20:30
場　所: 刈谷市民ボランティア活動センター
参加者: 15 名
講　師: 木村真樹氏
(公益財団法人あいちコミュニティ財団　理事長)
担当者: スタッフ全員
内　容: 東海労金の「東海ろうきん傍楽(はたらく)ファンド」とNDS株式会社の「NDS感動基金」について、助成金申請の仕方から助成事業完了後の報告までの留意点について説明があり、その後活発な質疑応答があった。

(2)あったかハートまつりブース出展

日　時: 2014 年 6 月 7 日(土) 10:30～15:30
場　所: 刈谷病院の会場
参加者: 約 200 人の子供や大人
担　当: スタッフ 4 人、ボランティア 6 人
内　容: 出張相談所として出展し、かりや夢ファンドのPR募金(4,631 円)とかつなりくんで盛りあげた。

(3)デンソーグループハートフルまつりブース出展

日　時: 2014 年 7 月 6 日(日) 10:00～15:30
場　所: (株)デンソー本社
参加者: 110 名の子どもや大人
担当者: スタッフ 6 人、ボランティア 3 人
内　容: 愛知ネットとしてブース出展し、災害救援と愛フェス及び各センターの活動紹介をおこなった。またゲーム感覚で、適性ボランティアの紹介をした。

(4)七夕飾り

日　時: 2014 年 7 月7日～8 月 7 日　終日
場　所: 刈谷市民ボランティア活動ロビー
参加者: 77 名の子どもたち
担当者: スタッフ 7 人
内　容: ボランティア活動のきっかけを持ってもらうために七夕飾りを開催した。
参加者は願いごとを書いた短冊を飾りつけた。市民がスイカのお供えもされた。子どもたちにも、ボランティア活動の啓発になった。

(5)2014 刈谷発　咲かそうひまわりの輪プロジェクト

日　時: 2014 年 2 月 21 日～10 月 27 日
場　所: 刈谷市民ボランティア活動センター他
参加者: 刈谷市内の団体・個人 21 組が展示に参加
担当者: スタッフ 7 人
内　容: 被災地(東日本)から頂いたひまわりの種を刈谷で咲かそう！そして震災を忘れないという趣旨で、刈谷市ボランティア連絡協議会と共催で実施した。種の配布は、4 月 12 日(土)～5 月 31(土)で 800 袋、約 400 人に配布し育ててもらった。写真展示は8月2日(土)～10 月 25 日(日)の間、センターロビーで行い 10 団体が参加された。

(6)古本の回収でオイスカの「子供の森」計画を支援

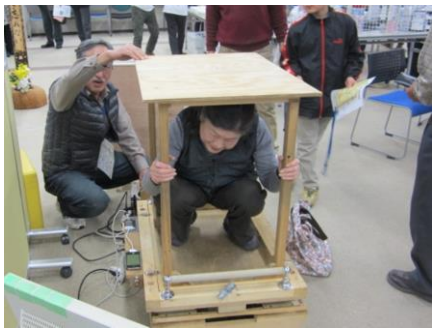
日　時: 2014 年 10 月 1 日～常時募集
場　所: 刈谷市民ボランティア活動センター
参加者: 刈谷市及び近隣市民
担当者: スタッフ 7 人
内　容: ㈱バリューブックスが、中古本の収益を、公益財団法人オイスカの「子供の森計画」に寄附するプロジェクトである。今年度の実績は、1,016 冊回収で収益は 12,566 円であった。

(7)ボランティア入門講座

日　時: 2015 年 1 月 31 日(土) 9:30～12:00
場　所: 刈谷市民ボランティア活動センター
講　師: 鈴木盈宏氏
(愛知県社会福祉協議会　ボランティア運営委員長)
参加者: 68 名
担当者: ボラ連役員、社協スタッフ、センタースタッフ全員
内　容: 刈谷市ボランティア連絡協議会の主催に対して、共催で開催した。講話のあとに、ボランティア活動の啓発のために、活動センターの紹介をおこなった。

(8)まなぼうさい

日　時:　2015 年 3 月 8 日(日)　14:00～18:45
場　所:　刈谷市民ボランティア活動センター
参加者:　152 名(内一般参加者 79 名)
担当者:　センタースタッフ 8 名
共　催:　刈谷市赤十字奉仕団、刈谷防災ボランティア刈谷市ボランティア連絡協議会、熊地区有志、3.11 を忘れない T&K、デンソーハートフルクラブ、NPO 法人まちづくりかりや
内　容:　「かりや 3.11 を忘れない」事業の一環で、すいとんの試食、AED 体験、新聞座布団＆スリッパ作り、非常持ち出しゲーム、防災ビンゴ、こなまずによる地震体験など楽しみながら防災の体験をしてもらった。



5. 表彰制度に登録団体・者を推薦

成長した団体や個人登録者のサポートとして、行政等の表彰に推薦するのも重要なサービス業務と考えている。今年度の実績は、以下のようで、受賞者からは大変喜ばれた。

(1)ニッセイ財団　生き生きシニア顕彰受賞

平成 26 年度の日本生命財団の生き生きシニア活動顕彰に、「刈谷ふるさとガイドボランティアの会」を申請し、7 月 18 日(金)、愛知県自治センターで贈呈式があった。

(2)愛知県ボランティア活動功労者表彰受賞

平成 26 年度は 40 団体が表彰された。刈谷市からは、刈谷ふるさとガイドボランティアの会(弊センター推薦)と手話サークル華陽の会(刈谷市社会福祉協議会推薦)の 2 団体が表彰された。表彰式は 9 月 19 日に愛知県庁で行われ、県知事から表彰状と記念品が授与された。受賞された。団体からは、これからの活動の励みになると、大変よろこばれた。

(3)内閣府の社会参加活動事例に推薦

内閣府が、高齢者がいきいきと社会貢献活動をしている団体を事例紹介する、「社会参加事例紹介事業」に、「刈谷ふるさとガイドボランティアの会」を推薦したところ、選ばれ、11 月 11 日に刈谷市(川口副市長)から伝達された。

全国では 96 団体の応募があり、55 団体(愛知県では 1 団体)の中に入った。

Ⅵ まとめ

1. 数値目標については、5%アップの目標に対して、特別イベントの追加などにより全ての項目を達成することができた。
2. イベント事業については、車座集会 5 回(目標:5 回)、スキルアップ講座 6 回(目標:5 回) わがまちのつむぎ場 1 回(目標:1 回)、特別イベントとして 8 回(目標:0 回)と目標回数以上を実施してきた。
3. 表彰の推薦については、ニッセイ財団の生き生きシニア顕彰、愛知県ボランティア活動功労者表彰、内閣府の社会参加活動事例賞を推薦し、全てが受賞され、受賞団体からは大変喜ばれた。
4. 収集ボランティアについては、今年度から、中古本回収(オイスカの子どもの森計画支援)を追加してきた。

■NPO・市民団体支援

NPO SUPPORT

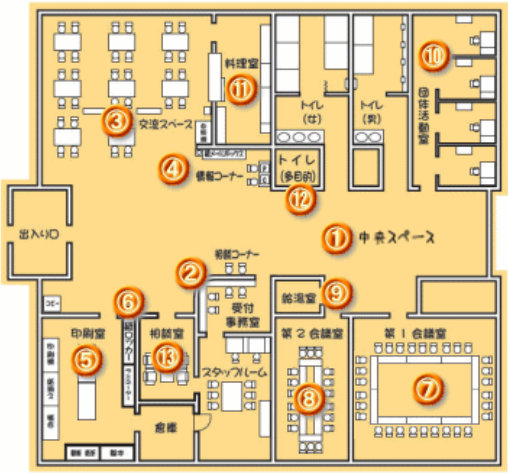
指定管理者による施設の運営とあわせて、ボランティア及び市民活動の促進を目的に、ＮＰＯとしての特性やノウハウを活かした事業をさらに展開していきたいと考えます。

● 大府市民活動センター【コラビア】

センター概 要

場　　所 ： 大府市森岡町４丁目８番地
電　　話 ： 0562-44-8500
ファクス ： 0562-44-8511
E－MAIL ： collabia@ma.medias.ne.jp
U　R　L ： http://www.medias.co.jp/~collabia/
開館時間 ： 9 時～22 時
休　館　日 ： 毎週月曜日、お盆(8 月 13 日～15 日)
　　年末年始(12 月 28 日～1 月 4 日)
主な施設 ： 1. 中央ロビースペース
　　2. 受付・相談窓口(事務室)
　　3. 交流スペース
　　4. 情報コーナー
　　5. 印刷室(作業室)
　　6. 貸ロッカー(20 区分)
　　7. 第 1(大)会議室
　　8. 第 2(小)会議室
　　9. 給湯室(会議室脇)
　　10. 団体活動室(4区画)
　　11. 料理室(ワンデーシェフ用)
　　12. 多目的トイレ
　　13. 相談室

センター外観



1. 中央ロビースペース:エントランスから見渡すことのできる、広々としたスペースです。絵画や写真などの作品を展示したり、ちょっとしたおしゃべりや談話スペースとしても利用できます。
2. 受付・相談窓口:コラビア・スタッフ2名が常駐します。
3. 交流スペース:だれでも自由に利用できるスペースです。昼間は「こらび庵」がオープンします。
4. 情報コーナー:中央ロビーを挟んで、受付・相談窓口の向かい側にある情報コーナーです。インターネット接続できるパソコンが 1 台あって、予約なしでご利用できます。
5. 印刷室(作業室):印刷室には、印刷機、紙そろえ機、裁断機、帳合機、紙折り機、製本機、およびA1サイカラープリンター(長尺印刷化)などがそろっています。印刷機は3色刷の最新鋭機です。
6. 貸ロッカー:各団体さんの持ち物(用紙、筆記用具など)を保管することができます。20区分あります。
7. 第1(大)会議室:机が10脚、イスが30脚、ホワイトボードを備えています。会議室にもインターネットへの接続口があり、どこからでもインターネットに接続できる環境が整っています。
8. 第2(小)会議室:机が6脚、イスが18脚、ホワイトボードを備えています。
9. 給湯室(会議室脇):会議室をご利用の際に必要な給湯室です。
10. 団体活動室(インキュベート・オフィス):活動を始めたばかりの団体さんに事務所の機能を提供します。パーテーションで区切られたスペースが4区画あり、机、イスとキャビネットに、インターネットの接続口と電話の接続

口があります。4区画あります。

11. 料理室:ワンデーシェフのための専用料理室です。コンロが2か所、シンクが2か所あり、いろいろな食器が30人分揃っています。数人が一度に料理することができます。

12. 多目的トイレ:電動車イスでも十分に回転できるスペースを確保した、バリアフリーデザインのトイレです。

13. 相談室:市民活動、ボランティア活動に関する相談業務に利用します。通常は貸し出しをしておりません。

料 金 設 定:

使用料区分	単位	金額	利用料区分	単位	金額
第1(大)会議室	1時間	100円	白黒コピー	1枚	10円
第2(小)会議室	1時間	50円	カラーコピー(A3等)	1枚	※
団体活動室1区画	1か月	10, 280円	インクジェットプリンター	1枚	※
※団体発足後、3年以内まで		5, 140円	印刷機(マスター代)	1製版	50円
ロッカー1区分	1か月	200円	印刷機(インキ代)	1枚・色	1円

※使用料は大府市に直接納付します。利用料は指定管理者が受け取ります。

※ご利用できる設備および利用料金の詳細については、スタッフまでお問い合わせください。

Ⅰ.センターの役割と任務

1. 委託業務名・目的

(1)業 務 名 : 大府市民活動センター指定管理業務

(2)事業の目的 : 大府市協働のまちづくり推進条例に基づき、市民活動の健全な発展を図る

※市民活動とは、市民等が自主的に参加して自発的に行う地域社会に貢献する活動をいう。

(3)実 施 期 間 : 平成 24 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日 までの 5 年間

2. 大府市民活動センターの業務内容

(1)市民活動に関する相談及び援助に関すること。

(2)市民活動に関する情報の収集及び提供に関すること。

①施設内における展示等による情報提供の企画・運営

②センターホームページの維持・更新

③情報誌の企画及び発行(隔月 1 回程度)

④メールマガジンの企画及び発信(月 1 回程度)

⑤各種資料・図書等の収集及び整理並びに掲示、配架

(3)市民及び市民団体等の相互交流事業の企画・運営

(4)センターまつり事業(コラビアまつり)の実施

(5)大府市主催事業(講座、セミナー、講演会等)の申込受付関連業務の実施

(6)ワンデイシェフ方式による喫茶・飲食の提供

(7)施設の利用許可等に関すること。

①センターの利用登録及び施設（印刷室・会議室・ロッカー・メールボックス）の貸出し。
②使用料の収受（日々集計、市への報告、市指定口座への入金業務）に関すること。
③施設及び設備の維持管理に関する業務の適正な維持管理にあたっては、常に良好な状態を保つように努めること。
1)管理運営業務の対象となる施設の維持管理
2)機械設備等の保守管理
（冷暖房機器保守管理、自動ドア保守管理、セキュリティシステム、建物・設備保守管理）
④施設の清掃に関すること。
快適な環境を保つために、施設の清掃及び鍵の管理の日常の維持管理を行うこと。
⑤夜間・休業日における警備を行うこと。
随時施設内外を巡回し安全の確保を図ること。閉館時については、機械警備を行うこと。
⑥駐車場の管理（利用者への案内・整理等の実施）に関すること。
⑦センターの利用実績及び業務実施状況報告書の作成
⑧その他
1)緊急時対策・防災対策・防犯対策について、マニュアルを作成し職員の指導を行うこと。
2)衛生管理については、法令を遵守した対応マニュアルを作成し、職員の指導を行うこと。
3)個人情報保護については、大府市個人情報保護条例を遵守するとともに、職員に徹底を図ること。
4)大府市環境方針に従うこと。
5)その他、センター及び設備の管理に必要と認められる業務。

Ⅱ．事業実施計画

１．狙　い

市民活動団体からの相談に対応し、団体相互の連携・協働に寄与し、信頼される。

２．目　標

（1）相談件数　　203件以上　（H25年度相談件数193件）
（2）マッチング件数　　16件以上　（H24年度マッチング件数16件）
（3）NPO法人新規認証団体数　1団体以上（H25年度1件）
参考：来館者数　　24,700人以上　（H25年度来館者数の5％アップ）

３．重点施策

（1）相談件数、マッチング件数の目標を意識した日常業務を行う
（2）団体の活動が充実・活性化するために、企業、行政、他団体との連携・協働を促す
（3）団体の活動を充実・活性化するために、ファンドレイジングへの理解を深め、継続的に活動を展開できる資金の調達を促す。

Ⅲ.各四半期の目標と実績

■大府市民活動センターコラビアの稼働実績

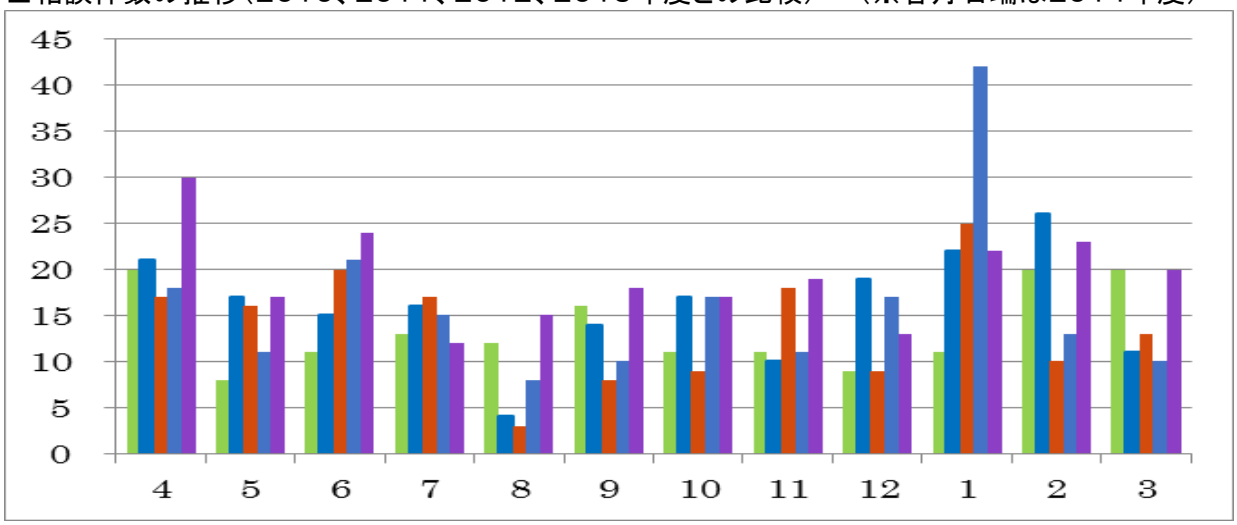
	目　標	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
相談件数	203 件	71 件	45 件	49 件	65 件	230 件
マッチング件数	16 件	6 件	6 件	3 件	6 件	21 件
新規認証団体数	1 団体	1 団体	0 団体	0 団体	0 団体	※1 団体
団体登録	—	10/285 団体	3/288 団体	6/294 団体	8/302 団体	302 団体
WEB会員	—	69 人	68 人	67 人	67 人	67 人

※NPO 法人リハビリテーションビレッヂ

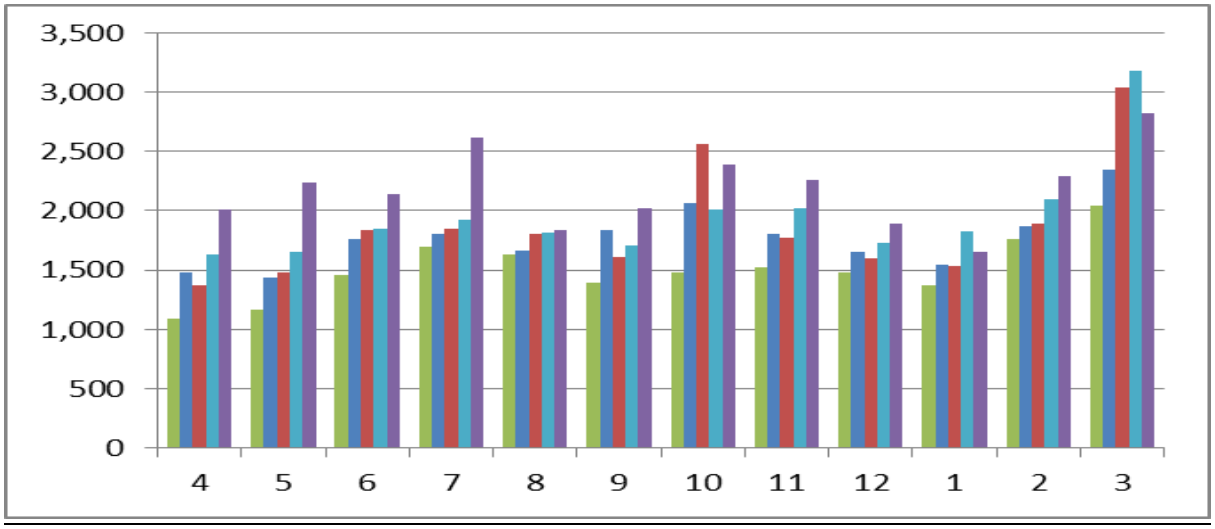
■相談組数　　■来館者数

月度	１０年度	１１年度	１２年度	１３年度	１４年度	１０年度	１１年度	１２年度	１３年度	１４年度
4	20	21	17	18	30	1, 091	1, 483	1, 376	1, 629	2, 013
5	8	17	16	11	17	1, 172	1, 433	1, 481	1, 658	2, 239
6	11	15	20	21	24	1, 460	1, 764	1, 839	1, 852	2, 142
7	13	16	17	15	12	1, 697	1, 808	1, 845	1, 928	2, 612
8	12	4	3	8	15	1, 627	1, 667	1 , 808	1, 821	1, 837
9	16	14	8	10	18	1, 395	1, 842	1, 606	1, 710	2, 021
10	11	17	9	17	17	1, 482	2, 060	2, 564	2, 013	2, 394
11	11	10	18	11	19	1, 529	1, 808	1, 775	2, 019	2, 261
12	9	19	9	17	13	1, 482	1, 658	1, 604	1, 724	1, 890
1	11	22	25	42	22	1, 369	1, 548	1, 534	1, 828	1, 655
2	20	26	10	13	23	1, 758	1, 865	1, 895	2, 098	2, 289
3	20	11	13	10	20	2, 046	2, 351	3, 036	3, 183	2, 885
合計	162	192	165	193	230	18, 108	21, 287	22, 363	23, 463	26, 247

■相談件数の推移（2010、2011、2012、2013年度との比較）　（※各月右端は2014年度）



■来館者数の推移（2010、2011、2012、2013年度との比較）　（※各月右端は2014年度）



■実施したイベント

(1) スキルアップ講座 （7講座開催）

1.「助成金申請！」
～大府市の協働企画提案事業を活用しよう～

日時：4 月 19 日（土）10:00～12:00
参加者：6 名
講師：深谷 剛央さん（大府市役所 市民協働部
協働促進課 協働広聴係）

2014 年度の助成金シリーズとして、大府市の協働企画提案事業について学びました。

前半は制度の概要を講師の方から説明していただき、後半は実際に記入して発表というプログラムです。少人数での講座でしたので、参加者の方は個別具体的なアドバイスをみっちり得ることができました。

2.「絵本で子育て孫育て」　～心を育む読み聞かせ～

日時：7 月 1 日（火）10:00～12:00
参加者：17 名
講師：小山内　裕美子さん（絵本サークルぽっかぽか）

絵本の読み聞かせ方や、絵本を選ぶうえで抑えておきたいポイントを学びました。

よい絵本とはどんなものか。主食の絵本、おやつの絵本のお話し。家庭や集団での読み聞かせ方で抑えておきたいポイントの違いなど。さらに絵本に関するお話しだけでなく、子どもの心をいかにして育てるのかという、子育てに関するお話しもして頂きました。

3. プレゼン成功のコツ

日時：8 月 30 日（土）10:00～12:00
参加者：15 名
講師：坂元邦晴さん（NPO 法人アジア車いす交流センター）

昨年に引続き、WAFCA の坂元さんを講師にお招きして、プレゼンに関する講座を開催しました。

講座内容は内容面・スキル面という構成になっています。資料作成の際にどのような工夫をしたら相手に伝わりやすくなるか、プレゼン発表の際に気を付けたい目線や表情など、気を付けたいポイントは何かという具体的な内容でした。具体的な方法論を明示していただけるので講座の学習効果が高く、また講座内容はプレゼンという場面のみならず、普段の会話にも応用できるものだと感じました。

４．市民活動のためのフェイスブック活用

日時：12 月 13 日（土）10:00～12:00
講師：舟橋正浩さん（株式会社ソーシャルキャピタルインテグレーション代表取締役）
参加者：8 名

初めに、ソーシャルメディアが市民活動にとってなぜ必要なのか、地域社会の中での「つながり」がどのような価値をもっているのか、今の時代のつながりとは何か。といった内容で、ソーシャルメディアの本質とそれを活用することのメリットをお話し頂きました。

続いて、フェイスブックの機能の紹介をしながら、参加者の方と一緒にフェイスブックを操作していくという流れで実習をして頂きました。

会場内には操作補助としてコラビアスタッフも待機していたのですが、参加者の方同士で教え合ったりする場面もあり、よい学びの場になりました。

５．市民活動のための動画作成（基礎編）

日時：1 月 11 日（日）11：00～12：00
講師：加藤嘉章さん（知多メディアスネットワーク）
参加者：30 名

市民活動のための動画作成 2 部構成になっていて、今回は第 1 回目の（基礎編）です。

加藤さんには、動画で自団体の活動を PR するメリット・デメリットや、実際に PR 動画を作成するまでの流れ（工程作業）を分かりやすくお話しいただきました。参加された団体さんも動画作成について”重く”考えていた方がほとんどでしたが、講座を聞いてその思いは和らいだとおっしゃる方もみえました。

６． 市民活動のための動画作成（実技編）

日時：2 月 1 日（日）10：00～12：00
講師：加藤嘉章さん（知多メディアスネットワーク）
参加者：30 名

市民活動のための動画作成は２部構成になっていて、今回は第 2 回目の（実技編）です。
内容：撮影時でのポイント・撮影時の黄金比・人物の配置・目線・撮影場所・パン＆ズーム
などを分かりやすくお話しいただきました。

作成した動画は、3 月 1 日に開催されるコラビアまつりでモニターを設置し、来場者の方々に見ていただきます。

７．「助成金申請！」
～大府市の協働企画提案事業を活用しよう～

日時：3 月 22 日（日）18：30～20：30
講師：深谷　剛央さん（大府市役所 市民協働部
協働促進課　協働広聴係）
参加者：8 名

市民活動団体が活動を継続していくにはどうしても活動資金が必要になります。交付金について 興味はあるが、いざ申請となるとどのように書けばよいのかわからないといった悩みをお持ちの団体さん向けに、協働企画提案事業の概要と申請書の書き方の具 体的な説明をして頂きました。

アンケートでは、「申請に向けて勇気がでた」等のうれしいコメントを頂きました。これを機に、団体さんが助成金獲得に一歩ふみだし、その活動がより充実なものになることを目指しています。

（２）車座集会　（５回開催）

１． 親子で育む絆づくり　～愛情の土台を育もう～

日時：5 月 30 日（金）10：00～12：00
参加者：11 名
講師：大橋房代さん（子育てネットワーカー・
親子遊びコーディネーター）

講師の方のいろいろな体験のお話から始まり、幼児期の子どもとの関わり方の大切さを伝えてくだいました。ワークショップ形式も取り入れながらの講座でした。

子どもとの向き合い方、自己肯定感の大切さのお話を参加者の皆さんは真剣に聞き入っていました。

２．「毎日使う調味料から食生活を見直そう」
日時：8 月 29 日（金）10：00～12：00
参加者：9 名
講師：平野敬子さん（食生活・食育アドバイザー）
自宅で普段使われている醤油を持参しての参加です。まずは、裏に貼ってある食品ラベルのお話から始まりました。作り手がどういう目的で作っているのか、裏のラベルで知ることができるそうです。持参した醤油の味比べをしました。参加者のみなさんは、平野さんのお話を最後まで真剣に聞き入っていました。

３．進んでますか、あなたの町の減災活動
名古屋市港区防災センター見学とお話し
日時：9 月 5 日(金)　11：00～16：30
参加者：29 人
大府市各自治区、おおぶ防災ボランティア、大府市協働促進課、生活安全課、社会福祉協議会の皆様と大府市大型バスで名古屋市港区防災センターへ出かけました。あいち防災リーダー会東海防災･安心まちづくり隊隊長早川　澄男様を招いて「自分の命は、自分で守ること」･「災害は、繰り返し起きる」･「家具の固定」のお話を聞いた後、グループに分かれて身近な物でできる防災グッズ　ゴミ袋カッパ･新聞紙スリッパ、座布団など楽しく実技ができました。今後の地域での活動に役立てて頂けると思います。

４．「知多娘。」が結ぶ若者と地域
～萌えキャラを活かしたキャリア支援と地域連携～
日時：11 月 28 日（金）18：30～20：30
講師：大久保智規さん（NPO 法人エンド・ゴール代表）
参加者：17 名
第一部は、「知多娘」誕生のきっかけやなどをお話しいただきました。若者の就職支援をするセンターになかなか人が来ないので宣伝のために誕生したのが「知多娘」。それをきっかけに多くの若者が足を運んで来てくれたそうです。ホームページにスタッフの顔写真を掲載するなど、一歩踏み出すきっかけを作る環境作りに力を入れてきた結果、キャラクターの知名度もあがり、相談者が増えたというお話でした。
第二部は車座の時間。参加者の皆さんの自己紹介から始まり、商工会議所や市役所関係者、市民活動団体の方、ひきこもりの子どもを持つ親の会、また「知多娘」ファンの方や自己紹介で元ひきこもりだと話す方など、様々な方にお集まり頂き活発な意見交換をして頂きました。

５．「ママ友と踏み出した私の一歩」
日時：1 月 29 日（木）10：00～13：00
講師：高田　美佐さん【ジュニア野菜ソムリエ】
参加者：9 名
　こらび庵ワンデイシェフとして活躍している高田さんを講師に招いてコラビア初のランチ付車座集会を開催いたしました。
　高田さんの「ママ友と踏み出した私の一歩」出会いは、持ち寄り料理から食の楽しさを知った事、そこからどんどん新たな挑戦をしていく高田さんのお話を楽しそう聞いておられました。また車座では活発な意見交換ができました。
　ランチタイムは、大豆から豚汁、豆腐ハンバーグ、木ノ山の農家さんの畑で採れた人参、木ノ山芋などを使った豪華ランチ。デザートを食べながら地産池消の良さの話も出ていました。
　好きな事から様々な人との出会い発見などが始まる。高田さんの話を聞きながらあらためて一歩踏み出す元気を皆さん頂けたと思いました。

（3）コラビアイベント

１．コラビア来館者１０万人達成！！
　2014 年 5 月 20 日午前 10 時過ぎに、記念すべきコラビア来館者 10 万人目の方が来館されました。
コラビアが開館されたのは 2009 年 4 月 1 日。それから 5 年と 2 か月弱が経った今日、来館者が 10 万人を突破しました。
　10 万人目は、楽素暮（らすく）の土屋さんです。
大府市役所市民協働部の木學部長さんから花束と記念品（非常食詰め合わせ）をお渡しして頂きました。
99,999 人目はきっずあにばーさりー参加者の吉井さん、100,001 人目はきっずあにばーさりーの宮田さんおめでとうございます。

２．石ヶ瀬小学校３年生来館（公共施設見学）
日時：2014 年 5 月 29 日（水）10：00～11：00
　今年も石ケ瀬小学校 3 年生、元気な児童の皆さん 34 名が施設見学に来館されました。
　『「コラビア」に来たことある人～？』の質問には約半分くらいの手が上がりました。みんな来館ありがとう。
　コラビアについて館内をぐるっと回りながら説明をしました。初めて知ったこと、気付いたことなどを熱心にメモしながら、こちらの説明にもしっかりと耳を傾けてくれました。

３．エンジョイ！こらび庵 2014
「親子でチヂミを焼いて食べよう」
日時：2014 年 7 月 19 日（土）10：00～11：30
参加者：11 組
企画者：キャロット
　親子で楽しく、用意された粉や具を混ぜ合わせ、コツを教わりながら焼きました。鉄板の上でひっくり返すのが結構難しい！がんばって挑戦していましたよ^^出来上がったチヂミはみんなで仲良く食べました。レシピもいただいて、またご自宅でトライしてください。

４．エンジョイ！こらび庵 2014
「韓国料理を食べよう」
日時：2014 年 7 月 19 日（土）11：30～13：00
参加者：38 名
企画者：キャロット
　こらび庵でランチを提供してくださっているキャロットさん、今日は「韓国料理を食べよう」と題して、いつものランチよりもさらに お得なランチを提供してくださいました。メニューは、韓国風のり巻、わかめスープ、チヂミ、胡瓜の漬物、そして〆にコーヒーまでサービスされていました。

５．エンジョイ！こらび庵 2014　「手作りパフェ教室」
日時：2014 年 7 月 20 日（日）10：00～12：30
参加者：52 名
企画者：食人
　特に女の子に大人気！涼しげスポンジパフェ。
　受付開始から予約がいっぱいでした。
　安心安全の手作りパフェ、スポンジや苺ジャムみんな手作り食材にこだわったオリジナルパフェ。
　夏休み最初の日曜日、親子での参加者もとても多かったです。

６．エンジョイ！こらび庵 2014「フルーツようかんを作ろう」
日時：2014 年 7 月 20 日（日）13：30～15：30
参加者：26 名
企画者：鈴喜
　日本料理が得意な鈴木さん、材料にもこだわり、果汁がたっぷりの国（美浜）のグレープフルーツを使った見た目も味さわやかなフルーツようかん作りでした。
　レシピが一組に一枚渡されて、鈴木さんがお手本を見せてから参加者の方が実践しました。
　グレープフルーツの皮を器にしたぷるんぷるんとしたようかん。大人にも子どもにも好評でした。

７．エンジョイ！こらび庵 2014　　絵の具遊び「魚は何色？」
日時：2014 年 7 月 22 日（火）10：30～12：00
参加者：8 組 22 名
企画者：わくわく５ＡＲＴ
　今日は、0 歳から 1 歳 3 か月くらいまでの比較的小さい子向けに開催されました。最初は、名前を呼んで好きな食べ物などを聞きながらリズムに合わせて一人ひとり紹介していただきました。後半は、子どもさんが一人ひとり絵の具で自由に遊ぶ様子を見て親御さんも子供と一緒に楽しんでいただき、思い出に残る魚の絵を描くことができました。

８．エンジョイ！こらび庵 2014
「プチスイーツ！この食材は？」
日時：2014 年 7 月 22 日（火）13：00～15：00
参加者：34 名
企画者：紫陽花
　今日の午後は、交流スペースがカフェになりました。
　紫陽花さんのプチスイーツは、いつもとちょっぴり違います。ゴボウ、人参、ピーマン、とうふ、枝豆、プチトマト。とてもスイーツの材料には思えませんが、どれも美味しいスイーツに大変身！お友達同士、グループで参加されたお客様もみえました。

９．エンジョイ！こらび庵 2014
「お子様ランチを作って食べよう！」
日時：2014 年 7 月 23 日（水）10：30～13：30
参加者：20 名
企画者：フェリーチェ
午前中からハンバーグのいい匂いが、交流スペースに薫りました。ハンバーグ、エビフライ、子どもの大好きな物ばかり。何と！デザートは、フルーツたっぷりシュークリームすごく豪華なお子様ランチです。一人一人自分でトッピング色鮮やかなプレートが出来上がりました。

１０．エンジョイ！こらび庵 2014
「削って描こう！オモシロお絵かき」
日時：2014 年 7 月 23 日（水）10：00～12：00
参加者：19 名
企画者：あそびのいっぽ
真っ黒な紙を削ると、下からカラフルな色が出てくる不思議な紙でお絵かき！
　みんな、想像力をはたらかせ、虹色の魚や鮮やかなお花子ども達とても楽しそうでした。
　夏休みのいい思い出になるとおもいます。

１１．エンジョイ！こらび庵 2014　絵の具遊び「魚は何色？」

日時：2014 年 7 月 24 日（木）10：00～12：00
参加者：29 名
企画者：わくわく５ＡＲＴ

今日は第二弾です。１歳４ヶ月から２歳の親子を対象としたイベントです。リズムに合わせて子どもの紹介からスタート。親子で真剣にそして楽しそうにチャレンジしていたお顔はイキイキしていました。手や足にも絵の具を塗り、ぺたぺたとスタンプをして完成です。子どもと向き合いながら作成したお魚は、楽しさが伝わってくる作品に仕上がっていました。

１２．エンジョイ！こらび庵 2014
「お好みヤキヤキで楽しく交流」

日時：2014 年 7 月 24 日（木）11：30～14：00
参加者：23 名
企画者：いちごレストラン（愛光園）

愛光園の利用者さんたちのグループで、楽しくランチを提供しました。お好み焼きにスープ、おにぎりにデザートの焼きドーナツのランチプレートでした。おにぎりを渡す係、ソースをかける係、マヨネーズをかける係、お茶をつぐ係、とみんなで手分けしておもてなししました。とても楽しいランチ企画でした。

１３．エンジョイ！こらび庵 2014
「手作りおしぼりを作ろう」

日時：2014 年 7 月 25 日（金）10：00～12：00
参加者：12 名
企画者：梅ちゃん亭

15 ㎝四方の生地に簡単な刺繍（ししゅう）をしてオリジナルのおしぼり作りにチャレンジしました。

最初に主催者が用意した 15 ㎝四方の生地に鉛筆で下絵を書き、その線に沿ってカラフルな刺繍糸（ししゅういと）で刺繍（ししゅう）をします。

第一の関門は、針に糸を通すのに大人も子供も四苦八苦。ようやく準備できたところで鉛筆で書いた線に沿って針でひと針ひと針、刺繍をします。子もたちは、おぼつかない手つきででしたが、先生の指導のもと、一生懸命縫いました。約 2 時間、奮闘の末、全員が世界でただ一つのオリジナルのマイおしぼりを完成させました。

１４．エンジョイ！こらび庵 2014
「採りたて野菜ランチプレート」

日時：2014 年 7 月 25 日（金）11：30～13：30
参加者：35 名
企画者：ぱっちわーく＆ナチュラル WITH OBU エニスポファミリー体験クラブ

この企画は、こらび庵でワンディシェフをされているシェフさんと、「OBU エニスポファミリー体験クラブ」とのコラボ企画でした。

こども達が育て収穫した野菜をたっぷり使ったランチを、シェフさんがおいしくアイデア料理にしてくれました。受付係、レジ係と、みんなで分担してお客様をおもてなし。とっても頑張っていました。お野菜たっぷりのランチも好評でした^^

１５．エンジョイ！こらび庵 2014
「流しそうめん食べ放題」

日時：2014 年 7 月 26 日（土）11：00～14：00
参加者：小学生 3 年生以上　70 名
企画者：大府めん’S クラブ

毎年恒例の流しそうめんです。30 分の時間制限で 6 回開催しました♪勾配があるため、小さなお子様でも自分で流れてくるそうめんをすくっていました。スイカやプチトマトも流れてきた時は、お箸を上手に使ってとっていましたよ。

手作りのおつゆは本当に美味しかったです。

１６．エンジョイ！こらび庵 2014
「大府の特産・ぶどうを味わおう！」

日時：2014 年 7 月 27 日（日）11：00～13：00
参加者：26 名
企画者：大府市役所農政課

野菜ソムリエの方から、大府の巨峰の歴史を学び、大府産(5 種類)のぶどうの食べ比べをしました。まずは自分の舌で甘さを確認し、次に糖時計を使い甘さの実証をしました。

参加者の中には、小学生もいましたが、みんな真剣に聞き入っていました。野菜ソムリエの皆さんが作ったランチ付きの講座でした♪

１７．エンジョイ！こらび庵 2014
「雑穀パンケーキを焼こう」
日時：2014 年 7 月 27 日（日）11：00～13：00
参加者：12 名
企画者：NPO 法人　SMILY DREAM

今、流行のパンケーキの中に色々な雑穀をトッピング！
クロ米、アマランサス、もちキビ、もちアワ、押し麦
栄養士、フードコーディネーターの先生が雑穀の良さを一つ一つお話しして、自分だけのオリジナルパンケーキを作りました。
１枚は、スイーツ系　フルーツをのせ甘いメープルシロップやあずき、チョコレートで飾りつけ１枚は、サラダ系　キュウリ、レタス、トマトなどをのせ、ドレッシングで頂きました。
美味しくて、楽しくて、とても充実した講座でした。

１８．エンジョイ！こらび庵 2014
「ざるそば(手打ち)食べ放題」
日時：2014 年 7 月 29 日（火）11：30～13：30
参加者：41 名
企画者：大府めん’S クラブ

毎年恒例になっためん’S クラブさんの手打ちざるそば食べ放題企画です。打ち立てのそばの美味しさは格別です。大人の方からお子様まで、とても満足していただけたようです。アンケートからもたくさんの「おいしかった！」「またきたい！」という感想が寄せられました。
添えられたかき揚げもおそばの合間に楽しみ、最後は蕎麦湯までいただきました。親子で楽しまれた方もたくさんいらっしゃり、夏休みの思い出の１ページなったのではないでしょうか。

１９．エンジョイ！こらび庵 2014「水耕栽培ってなあに？」
日時：2014 年 7 月 30 日（水）10：30～12：30
参加者：14 名
企画者：さわやか愛知

プランター等の普及で家庭菜園もブームになってきていますが、さらに進んで野菜作りの本命が水耕栽培・・・
ペットボトルを加工して水＆肥料の入れ物と水耕栽培用野菜（セレス／ルッコラ／バジル／クレソン）の 4 種類の内、各自希望する 2 種類をセットして出来あがり。
楽しかった！思ったより簡単にできた。早く育てて野菜を食べるぞ！今から野菜を食べるという夢を見つつ、早く育つといいね！野菜の摂取料 350ｇ／日がクリア出来ると良いね！

２０．エンジョイ！こらび庵 2014
「リボン DE キラキラゼリー作り」
日時：2014 年 7 月 30 日（水）10：00～11：30
参加者：21 名
企画者：リボン
　いつもワンデイシェフとして活躍いただいている「リボン」さんが、今日はかわいいゼリー作りの先生です。いろんな果物を容器につめて、ゼリー液を流し込んで冷やし固めました。
　冷えて固まるのを待っている間には、プラパン作りで楽しく過ごしました。かわいい 3 層のゼリーをおいしくいただき、みなさんニコニコ楽しい時間になりました。

２１．エンジョイ！こらび庵 2014
「親子食育クッキング」
日時：2014 年 7 月 30 日（水）13：30～15：00
参加者：16 組
企画者：TAMS
「７大アレルゲンカット」のランチをこらび庵で提供してくださっているワンディシェフの「TAMS」さんの企画です。ゲストに野菜ソムリエさんと歯科技工士さんをお招きして、野菜の話、歯の健康の話などをした後、お野菜を使った「デコレーションカップごはん」をみんなで作っていただきました。型抜きでお野菜を 星や蝶の形に抜いて飾り付けます。自分だけの素敵なカップごはんができました。

２２．エンジョイ！こらび庵 2014
「廃食用油で石鹸を作ってみよう！」
日時：2014 年 7 月 31 日（木）10：00～11：30
参加者：16 組
企画者：大府市生活排水クリーン推進員
　クイズ形式を取り入れながら、家庭から流れる水がどのように川に影響するのかを学びました。ペットボトルに苛性ソーダと油を混ぜ合せ、シャカシャカと振ると、一ヶ月後には固形せっけんが出来あがるそうです。

２３．エンジョイ！こらび庵 2014
「和菓子を作ってみよう！」
日時：2014 年 7 月 31 日（木）9：30～13：00
参加者：40 名
企画者：食人
　三種類の和菓子を子供達が挑戦しました。
　あんこの中に今、旬のブドウを入れ可愛く寒天をトッピング親子での参加者も多く、「楽しい時間を過ごせました。」「思ったより簡単にできる。」などのお声を頂きました。

２４．エンジョイ！こらび庵 2014「大抽選会開催」

7/19～7/31 開催致しましたエンジョイ！こらび庵 2014
本日９月１７日センター長が厳正なる抽選をいたしました。
アンケートに回答頂いた４４５枚のうち、こらび庵ランチ券１０名様・こらび庵コーヒー券２０名様、当選された方おめでとうございます。
発表は発送をもって代えさせて頂きます。

２５．救急救命訓練を実施　　～避難訓練とＡＥＤ

日時：2014 年９月９日（火）13:00～14:30
参加者：３０名
今までは休館日にスタッフだけで行ってきましたが、今回は初めての試みとして開館日に消防訓練を行い、事前に参加申し込みをしていただいた参加者の方や当日会議室・団体活動室利用団体さんにもご協力いただきました。
大府市消防署から職員の方にきていただき、避難訓練にはコラビアスタッフ８名と一般参加者９名の１７名、ＡＥＤ・救命救急講習には１１名が参加しました。
避難訓練は直下型震度５の地震が発生し、こらび庵から小火災が発生するという想定で行い、実際に非常ベルを鳴らし、スタッフの誘導で正面駐車場に避難しました。ＡＥＤ・救命救急講習は全員一通り体験して頂きました。

２６.『MAKE A CHANGE DAY』エコキャップアート

日時：2014 年 10 月 19 日（日）12：00～14：00
参加者数：50 名
毎年参加している『MAKE A CHANGE DAY』。
16 個キャップ×72 マスのパネルにキャップをはめ込ます。

①カードを引く。
②カードに描かれた色のキャプを選んで箱に入れる（１６個）。
③ホワイトボード見て、自分のカードに書かれた番号の場所を探す。
④カードに描かれた色に合わせて、1 つのピースに 1 個のキャップをはめる。

一人 16 個キャップをはめていくのですが、完成までの絵になるか分かりません。

72 マスのパネル全てにキャップがは込まれ、現れたは「オハシモ」という文字と「ナマズン」でした。

２７．森岡公民館　ふれあい祭り

コラビア来館者数
日時：10 月 18 日（10：00～15：00）　約 350 人
10 月 19 日（10：00～14：00）約 150 人 2 日間開催

コラビアに隣接している森岡公民館の「ふれあい祭り」開催に際し、共催という形で毎年協力開催しています。今年は、お天気にも恵まれ秋空の下、コラビア駐車場を石ヶ瀬児童老人福祉センターと森岡長生会老人クラブが実施した竹馬、コマ回しなどの会場に利用して頂き多くの子供達が集まりました。

コラビアでは、館内交流スペースで休憩スペースとしてカフェ（コーヒー＆手作りケーキ）を、会議室では子どもさん向けに防災クイズ、防災かるた、非常持ち出しゲームなど実施し、スタッフと一緒に楽しむことができました。

２８.コラビア団体交流会開催

日時：11 月 22 日（土）10:00～12:00
参加者：40 名（26 団体）

交流会では、５～６名でテーブルに分かれていただき、各テーブルでワークショップを行いました。

①自団体の１分間自己紹介
②活動していくうえで得た経験・成功例のアウトプット
③今後の活動方針や目標の設定

という三項目をワークシートに記入いただき、それをテーブルで発表して頂き、具体的な意見交換等を図って頂きました。

自団体のことを短時間で簡潔に伝えることは、活動を継続していくうえで必要となる場面もあり、そこで活用していただけたらと思います。

２９．第６回コラビアまつり開催

日時：3 月 1 日（日）10：00～15：00
来場者：500 名
　　コラビアまつり参加団体：31 団体
　　ボランティア：80 名

今年で６回目のコラビアまつりでしたが、これまで一時的に雨が降ったことはあったものの、こんな雨の中での開催は初めてでした。外のブースは雨が降ったことで雨に濡れたり風がふいて寒い中ほんとうに大変てしたが、みなさん協力的にまつりを盛り上げてくださいました。

久野市長をはじめ市役所の職員の方、織機・ﾃﾞﾝｿｰ・愛三工業の社会貢献室の方々など多くの市民の皆さんが駆け付けて頂きました。中学生・高校生・企業のボランティアさん本当にありがとうございました！

館内は人で混み合っていて、会議室の中はなかなか歩くスペースもないくらい。雨のためステージを交流スペースに持ってきたため、館内の休憩所が少なく人が密集していました。大府市のマスコットキャラクターのおぶちゃんも歩くのが大変そうでした。

３０．「第３回心ひとつに３．１１を忘れない」
　　～つながる　学ぶ　想いつづける～

日時：3 月 8 日(日)10:30～16:00（開場 10：15）
来場者数：350 名
主催者名：３．１１を忘れない大府実行委員会

前日は新池で東北大震災４周年追悼式典を行いました。当日は晴天に恵まれ、午前中は被災地訪問者５人のリレーリポートを聞いた後、全員で「花は咲く」を大合唱しました。歌い終えたあと涙ぐむ方もみえました。午後は遠野まごころネットの理事長多田さんから遠野市の現状をお話いただきました。

東北の食では、せんべい汁・ひっつみ汁・メカブ丼・陸前高田のおやきなどを提供しました。お持ち帰りができる物産市も大盛況で、ワークショップは、大人も子どもも楽しんで頂きました。駐車場では防災グッツなどの展示やロケットストーブを使いお米の炊き出しなどを婦人会の方々に行なって頂きました。

イベントの収益は一般社団法人 AICHIKARA(愛チカラ)へ寄付されました。

Ⅳ．まとめ

●第１四半期

昨年度まではコラビアの存在を市民のみなさまに知っていただくことを目的にイベントや車座集会を実施してきましたが、本年度は、登録団体さんや市民から頼れる市民活動センターを目指し、スタッフの更なるスキルアップを図り、市役所の各部局や企業・商工会議所などとも一層の連携を密にして、相談件数やマッチング件数を第一に考え市民活動支援に関する内容の充実を図っていきます。

第1四半期の来館者数は、昨年度と比較して約 24%アップで推移しているが、新規コラビア利用団体の増加(登録団体の増加)や、こらび庵を利用される個人の方々が少しずつ増えてきているためだと考えていま

す。相談件数の増加も（40％アップ）登録団体さんから多岐にわたった内容となっており、一歩ずつ信頼も向上してきていると考えています。これまで以上にスタッフの力量を高め、相談やマッチングに力を入れ、市民活動団体への支援と活性化に努めていきます。

●第2四半期

6 年目にして、ようやく来館者 10 万人が達成できました。大府市の市民協働部の木學部長にも同席して頂き、来場者に記念品をお渡ししました。昨年度まではコラビアの存在を市民のみなさまに知っていただくことを目的にイベントや車座集会を実施してきましたが、本年度は、登録団体さんや市民から頼れる市民活動センターを目指し、スタッフの更なるスキルアップのため、今年度から大府市に出前講座をお願いし、スタッフ研修会として開催して力量アップに努めています。

第 2 四半期の来館者数は、昨年度と比較して約 20％アップで推移していますが、新規コラビア利用団体の増加（登録団体の増加）や、こらび庵を利用される個人の方々が少しずつ増えてきているためだと考えています。相談件数の増加も（40％アップ）登録団体さんから多岐にわたった内容となっており、一歩ずつ信頼も向上してきていると考えています。これまで以上に相談やマッチングに力を入れ、市民活動団体への支援と活性化に努めていきます。

●第3四半期

今年は、こらび庵周年事業として例年夏休みの終わりに開催している「エンジョイ！こらび庵 2014」を夏休みの最初に変更して開催し、多くの市民の方々に参加して頂きました。

5 月には、来館者 10 万人を達成し（5 年 2 ヶ月）、順調に来館者も伸びてきましたがまだまだPRが足りません。今までもコラビアの存在や役割を市民のみなさまに知っていただくことを目的にいろいろなイベントや車座集会を実施してきましが、ご存じない方もたくさんみえます。12 月には、知多メディアス（地元ケーブルテレビ）の番組にも取り上げて頂き PR することができましたが、（2015 年1/1～1/11:13 時～、19 時～放送）今後も色々なメディアを利用してコラビアをさらに PR していきたいと考えています。

第 3 四半期の来館者数、団体登録数も昨年度と比較して約 20％アップで推移しています。
相談件数の増加も（40％アップ）登録団体さんから多岐にわたった内容となっており、一歩ずつ信頼も向上してきていると考えています。これまで以上に相談やマッチングに力を入れ、市民活動団体さんへの支援と活性化に努めてまいります。

●第4四半期

6 年目にして初めて雨の中での「コラビアまつり」開催でした。前日の準備、当日の運営、翌日の片づけとセンタースタッフにとって初めての経験でしたが、参加団体さん、ボランティアスタッフ、コラビアスタッフが協力して無事開催することができました。ボランティアスタッフとして今年から新たに地元高校生のボランティアさんも加わり大変助かりました。当日雨の中、久野市長さん、市民協働部の皆さんをはじめ市役所の職員の方々、織機、デンソー、愛三工業の社会貢献部の方にもご来場いただきました。

また 3 月には、ビストロおぶちゃんとこらび庵のコラボ企画も初めて実施することができました。次年度以降も内容を吟味して継続して開催していきたいと考えています。

まだまだ、コラビアを知らない市民の方もたくさん見えます。広く市民の皆さんに知っていただき、利用してもらえるように一歩ずつ努力して参ります。

■NPO・市民団体支援

NPO SUPPORT

指定管理者による施設の運営とあわせて、ボランティア及び市民活動の促進を目的に、NPOとしての特性やノウハウを活かした事業をさらに展開していきたいと考えます。

● 豊橋市民センター、オレンジプラザ

センター概 要

場　　所 ： 豊橋市松葉町二丁目 63 番地

電　　話 ： 0532-56-5141

ファクス ： 0532-56-5161

E－MAIL ： npo-info@tees.jp

U　R　L ： http://www.tees.ne.jp/~npo-info/

開館時間 ： 9 時～21 時

休　館　日 ： 毎週月曜日、年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)

主な 施 設 ：1F 事務室・談話室・障害者用トイレ・公衆電話

2F オレンジプラザ

・印刷機、紙折り機、裁断機、ロッカー等

・談話ルーム、会議室、情報コーナー

3F ミーティングルーム 4 室(内相談室 2 室)

4F 小会議室(24 人)、中会議室(63 人)

5F 大会議室(90 人)

6F 多目的ホール(99 人)

プロジェクター、スクリーン、テレビ、ビデオ、DVDプレーヤー

豊橋市民センター
カリオンビル

Ⅰ センターの役割と任務

1. 委託業務名・目的

(1)業　務　名 ：豊橋市民センター、オレンジプラザの管理運営委託

(2)事業の目的 ：「豊橋市民センター」

市政と市民の「かけはし」となるべく、市街地の活性化を目的に利用者数および利用率の促進を図る。

「オレンジプラザ」

様々な分野で活躍する市民ボランティア活動団体を支援するとともに、活動に対する市民の意識啓発を図り、市民ボランティア活動を推進する

(3)実 施 期 間 ：平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日(指定管理＝平成 29 年 3 月 31 日迄)

2. 豊橋市民センター、オレンジプラザの任務

「豊橋市民センター」

(1)会議室の予約、利用許可、清掃業務

①予約管理システムの運用、利用許可証の発行・集金、使用後の清掃

(2)施設の維持管理

①施設や備品に関する点検・保全・在庫管理

②施設の施錠、非常時の対応

「オレンジプラザ」

(1)情報の収集・提供業務

①「どすごいネット」(東三河ボランティア情報サイト)の管理運営、登録団体の入力作業、サイト利用操作方法の説明など

②豊橋市民センター、オレンジプラザのHP、ブログ作成及び維持管理

③メールマガジン及び情報誌(アーリーレポート)等の発行

(2)活動場所の提供業務

①談話室の予約受付、貸出し等利用申し込みの対応

②印刷機器等設備の利用に関する事務

(3)意識啓発・普及業務

①意識啓発活動の実施(業務全体を通じて)

②啓発チラシパンフレット等の作成・更新

(4)人材育成・交流業務

①人材育成のための研修会を企画・運営(スキルアップ講座等)

②市民ボランティア活動団体の交流機会を増加するネットワーク構築
(NPO活動・ボランティア活動に精通した講師をお呼びし、車座集会を開催)

(5)相談・連絡調整業務

①市民ボランティア活動に関する市民からの相談窓口としての機能(マッチング活動)

②NPO法人認証取得のための相談への対応

II 目標と実績

区分	項目	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		昨年比
		H26	H25	H26	H25	H26	H25	H26	H25	
市民センター	利用率	50.4%	61.8%	52.4	65.5	58.7	48.3	55.8	58	92.5%
	利用者数	20,737	18,053	20,725	20,347	24,867	13,181	22,456	21,078	121.5%
オレンジ・プラザ	利用者数	632	937	619	1551	1616	785	851	458	99.8%
	相談件数	31	24	22	26	22	19	41	43	120.0%
	マッチング件数	6	7	9	4	6	6	4	1	138.9%
	団体登録	6	4	10	9	7	3	5	5	133.3%
	個人登録者	0	0	0	0	0	0	0	0	−

【第1四半期】

市民センター・・・今年度より定員 10 人の会議室を2部屋増やしたことにより、貸し会議室総数が 6 部屋から 8 部屋になりました。しばらくの間、利用率については、減少することになります。第1四半期は、4 月より新規団体の利用に合わせ、利用部屋数の総数も増加し、利用者数は前年比 15%増の伸びとなっており、4 月～6 月の 3 ケ月合計で 2 万人を超えました。今後も、昨年度を上回る予約が入っており、好調を維持する見込みです。

市民活動プラザ（オレンジプラザ）・・・利用者数は、会員の増加により、より広い会議室（有料会議室）に移行した団体や活動を休止した団体もあり、前年度に比べ減少してます。しかし、相談件数は増加しており新たなイベント開催やPRを進めることで次の四半期に向けての利用増加を期待します。

【第2四半期】

市民センター・・・会議室を 2 部屋増やした影響により、利用率については、第1四半期に引き続き減少しています。しかし、利用者数については、前年比 8%増の伸びとなっており、7～9 月の 3 ケ月合計で 2 万人を超えました。今後も、維持できるよう丁寧に接客等していきます。

市民活動プラザ（オレンジプラザ）・・・利用者数は、第 1 四半期同様、前年度に比べ減少しています。これは大きな問題と捉え、PR と共に積極的に活動団体と関わっていき回復していきます。

なお団体登録数・相談件数・マッチング件数は増加しており、今後 10～12 月に新たなイベント開催を予定しているため、次の四半期に向けて利用者が増加することを期待してます。

また、毎年 9 月に開催していた市民活動見本市、「オレンジ・フェスタ」は、今年は 11 月 8 日を予定しています。これに向けて実行委員会を立ち上げ、団体さんと共に進めていきます。

【第3四半期】

市民センター・・・会議室の増加に伴い利用率については前年割れをしていましたが、徐々に浸透・回復しており、第 3 四半期は前年を上回りました。利用者数については、10～12 月の 3 ケ月合計で 2.5 万人を超えました。一度利用された方が引き続き利用していただけるよう心がけ、気持ちの良い対応をしていきます。

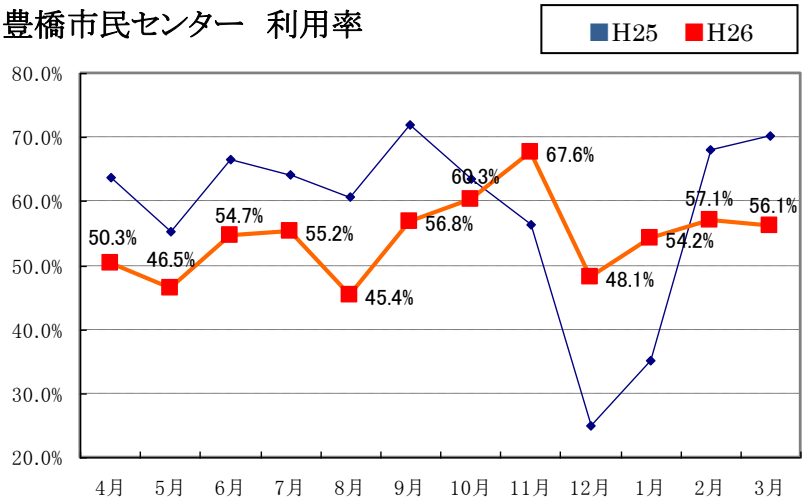
市民活動プラザ（オレンジプラザ）・・・減少傾向にあった利用者数を挽回すべく、車座集会・スキルアップ講座を昨年の 2 倍開催回数を増やしたこと、および 11 月 8 日に開催したオレンジ・フェスタは、従来のカリオンビルに加えて松葉公園も使用し、多彩なイベントを実施したことで、昨年度に比べ 400 人増の集客となりました。参加された市民、活動団体さんがこれからも継続して来館してくださるよう案内したり、声掛け等していきます。

【第4四半期】

市民センター・・・今年度に入り利用率について前年割れをしましたが、PR 等の努力により徐々に浸透・回復し、第 4 四半期の利用部屋数については、H25 年度 775 件→H26 年度 991 件と前年を上回ることができました。利用者数については、前年比 6.5%増の大きな伸びとなっています。1～3 月の 3 ケ月合計で 2 万人を超え、年間利用者数は過去最高の約 8.9 万人となりました。次年度については、新規団体をはじめ前年度を上回る予約が入っており、好調を継続する見込みです。

市民活動プラザ（オレンジプラザ）・・・前年度に比べ減少していた利用者数を挽回すべく、オレンジプラザの PR に加え、車座集会・スキルアップ講座を昨年の2倍に開催回数を増やしたことにより、着実に増加し、前半の減少を挽回しました。また、約 400 ある登録団体全ての団体と連絡を取り合い、活動場所の訂正、休止等の精査を実施しました。今後も団体とのコミュニケーションをとり、より活用されるプラザに成長していくよう努力していきます。

豊橋市民センター　利用率



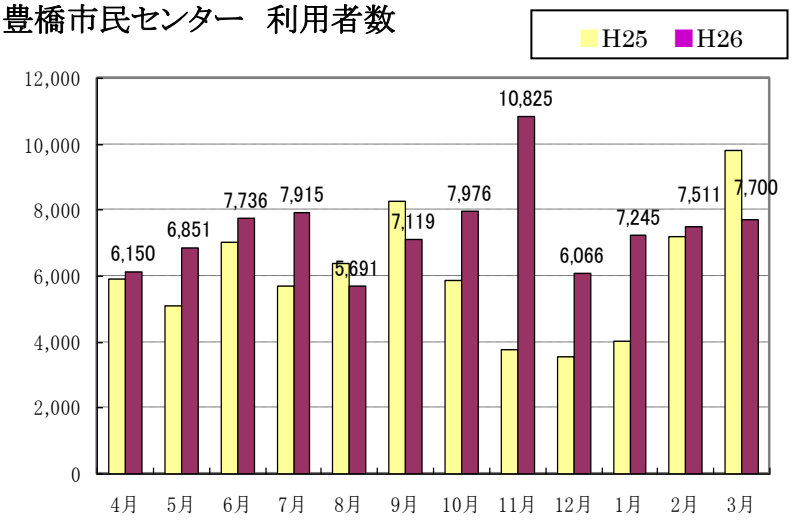
H 26：　54.3%　(-7.5%)

H 25：　58.7%

8 部屋×3 コマ(午前・午後・夜間)×利用数に対して、利用された部屋の割合

※本年度 4 月より、定員 10 人の会議室が 2 つ増え、1日の利用部屋数が 6 部屋×3 コマ＝18 部屋⇒8 部屋×3 コマ＝24 部屋に増加した。その影響で、利用率は減少しているが、利用部屋数は H25 3,242 件→H26 4,017 件と 24%増加した。

豊橋市民センター　利用者数



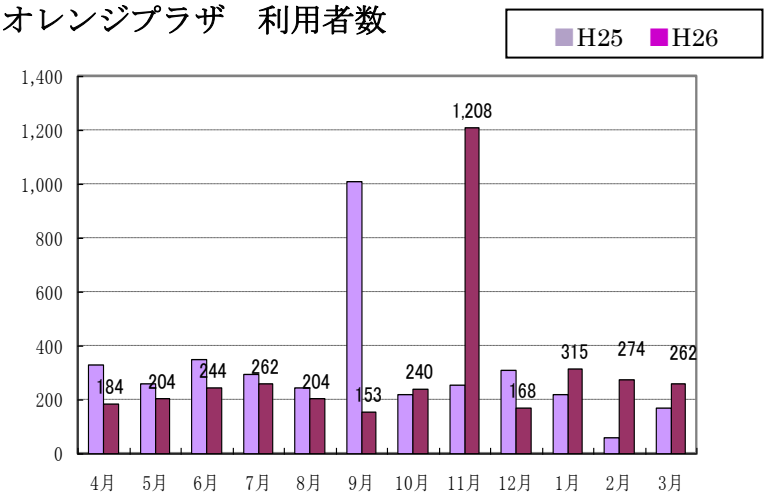
H26：　88,785 人　(+22.2%)

H25：　72,659 人

利用延べ人数。
1団体 10 名が会議室を全日使用した場合は 30 名として計算

※利用者数は 4～3 月合計で前年に比べ、＋22.2%の伸びであった。次年度は、新規団体の 4 月からの継続利用も確定し、また 4 月以降の予約状況をみても、増加傾向が続く。

オレンジプラザ　利用者数



H26:　3,718 人 (-0.2%)

H25:　3,725 人

登録された市民活動団体が市民活動目的で 2 階スペースを利用した数(原則無料)

※利用者数は、前半は前年度より減少した。要因としては、三河のぼろう会が手狭になり、大きな有料会議室に移ったこと、東北応援団の開催回数減少がある。しかし、10 月以降、オレンジプラザの PR に加え、車座集会・スキルアップ講座回数を前年度比倍増の企画を実施したことにより、利用者数も増加し、後半は盛り返した。次年度につながる活動により、今後利用者増が期待出来る。

Ⅲ　実施したイベント

1．特別イベント

(1)スキルアップ講座　ファンドレイジング講座

日　時:2014 年 4 月 26 日(土) 15:00～17:00

場　所:　中会議室

参加者:市民活動団体ほか　44 名

テーマ:ファンドレイジングとは？

概　要:ファンドレイジングについての基礎的な話から実際の成功例まで幅広くかつわかりやすい説明があった。また、ワークショッで、参加者それぞれが自分たちに出来ることについて話し合い、ファンドレイジングにいて学ぶとともに学びを活かす充実した時間となった。

講師の(株)ファンドレックス代表取締役の鵜尾雅隆氏のお話を熱心に聞き入っている参加者

(2)オレンジプラザ交流会

日　時:2014 年 6 月 14 日(土)9:30～12:00

場　所:　多目的ホール

参加者:20 団体 43 名、スタッフ 10 名

概　　要:市民活動団体が情報収集・情報交換する「場」と「機会」を作ることを目的とした会。今年で 4 年目となる。

＜主な内容＞

第一部　豊橋市民協働推進補助金の事業報告会

第二部　講演会

・講師　NPO 法人 CANPAN センター
　　常務理事　山田泰久氏

・テーマ「社会を変える助成金活用法」

終了後 2F で参加団体の交流会を行なった。

市民協働推進補助金の事業報告会

山田泰久氏の講演会の様子。皆さん熱心に聞き入っていました。

(3)スキルアップ講座　パソコン講座

日　時:2014 年 6 月 20 日(金) 13:30～15:30

場　所:　小会議室

参加者:市民活動団体　8 団体 9 名

テーマ:Word 基礎講座　　表作成編

概　要:日頃団体活動のチラシや広報誌などの作成に携わっている方を対象に、Word の技(均等割り付け、インデント、クリップアートなど)によって、多くの情報をすっきりと見せる方法を学んた。参加者の方は、課題のチラシをきれいに完成させ、大満足であった。

パソコン講座の様子。いろいろな Word の技を学びました

(4) 車座集会　布ぞうり講座

日　時:2014 年 8 月 22 日(金) 14:00～16:00

場　所:　オレンジプラザ　2 階会議室

参加者:市民活動団体　11名

テーマ:地域「居場所」づくり＆布ぞうりづくり

概　要:登録団体「手しごと屋豊橋」を講師に迎えて、日頃の活動の話や居場所づくりの話をしていただき、その後、講師の指導で布ぞうりづくりを行なった。終了後、参加者の方の交流が深まり、互いに団体訪問をするなど、大いに盛り上がった。

地域「居場所」づくりの講座、熱心に聴いている参加者

(5) スキルアップ講座　モリコロ基金に挑戦！

日　時:2014 年 10 月 11 日(土) 13:30～15:30

場　所:　オレンジプラザ　2 階会議室

参加者:市民活動団体ほか　12 団体 18 名

テーマ:「書いてみようよ申請書」

概　要:資金調達の解決方法の一つである助成金について、「NPO 法人ボランタリーネーバーズ」の中尾さゆりさんを講師に迎え、モリコロ基金を題材に、助成金申請のコツを学んだ。名古屋など市外からの参加者が半数を占め、大変有意義な講座であった。

助成金申請のコツを学ぶ参加者。質問も相次ぎました。

(6) 車座集会　子育て支援講座

日　時:2014 年 10 月 26 日(日) 10:00～11:30

場　所:　中会議室

参加者:市民活動団体ほか　12名

テーマ:「子どもたちの安心のため、今出来ること」

概　要:NPO法人こどもセンター「パオ」の事務局長の高橋直紹さんに、今の子どもの現状、活動内容をお聴きした。参加者のみなさんから積極的な意見や感想があり、団体同士の交流もあり、有意義な時間を過ごした。

講師の話に真剣に耳を傾ける参加者

(7) スキルアップ講座　バルーンアート製作講座

日　時:2014 年 11 月 2 日(日) 14:00～15:30

場　所:　オレンジプラザ　2 階会議室

参加者:市民活動団体ほか　9 名

テーマ:「作ってみようバルーンアート」

概　要:刈谷市の「バルーンアート隊よしま～ず」の神谷芳麿さんをお招きして、市民活動団体を対象にバルーンアート製作講座を行なった。

参加者からは自分の団体のイベントで実践したい、イベントの飾り付けで活用したいとの声が聞かれ、大変好評だった。

(8)オレンジ・フェスタ

日　時:2014 年 11 月 8 日(土) 10:00～16:00

場　所:　市民センターカリオンビル全館＆松葉公園

参加者:出展団体及び参加者　　来場者 1000 名

概　要:市民活動団体見本市として、豊橋市で活動する市民活動団体の活動内容を一般市民にPRすることと、市民活動団体同士が交流を図り、横のつながりをつくることでネットワークを構築することを目的としたイベント。今年は、会場をカリオンビルに加え松葉公園にも拡大し、出展団体の増加とともに、新規にステージイベント・スポーツイベント・フリーマーケット・エフエム豊橋の実況生放送・餅投げなどを行なった。当日は爽やかな天候に恵まれ、多くの人に参加していただいて、充実した1日だった。

※年に一度の市民センター祭りでたくさんの団体と市民がふれあい盛り上がった。

(9)車座集会　　在宅療養基礎講座

日　時:2014 年 11 月 8 日(土) 10:00～11:30

場　所:　中会議室

参加者:市民活動団体ほか　10名

テーマ:「在宅療養の基礎講座」

概　要:地域包括支援センター「ふくろう」の管理者長屋由紀子さんに「在宅医療」について①介護保険のこと②活用出来る在宅サービス③在宅療養生活を上手に過ごすためなど詳しくお話ししていただいた。みなさん身近なことなので、真剣に聴いていた。

(10)スキルアップ講座　プレゼン成功のコツ

日　時:2014 年 11 月 29 日(土) 13:30～15:30

場　所:　中会議室

参加者:市民活動団体ほか　20 名

テーマ:「共感者を倍増するプレゼン成功のコツ」

概　要:認定NPO法人アジア車いす交流センター事務局長の坂元邦晴さんをお迎えして、共感者を倍増する！『プレゼン成功のコツ』第 2 弾を開催した。多くの人の共感を呼ぶPRのコツをコンテンツ(資料の内容)およびスキル(話す技術)両面から学んだ。参加者からは坂元さんからのプレゼンのいろいろなテクニックに、大いに役立った・楽しくて興味深かった・具体的に教えていただいて勉強になった・今後使いこなしていきたいなどの声が聞かれ、非常に有意義な講座であった。

(11)車座集会　　助成金講座

日　時:2015 年 1 月 18 日(土) 10:00～11:30

場　所:　オレンジプラザ　2 階会議室

参加者:市民活動団体ほか　11 名

テーマ:「知ってトクする！補助金活用術」

概　要:「先輩から学ぶ補助金の申請のコツと活用方法」とのテーマに沿って、経験者ならではの申請書の具体的な書き方や事業内容のアピール方法について、苦労話等を交えつつ役に立つお話をしていただいた。また、補助金を活用しつつ、他団体・人々との繋がりの中での事業拡大についても語っていただいた。参加者からは、非常に参考になったとのお声を数多くいただいた。

(12)スキルアップ講座　パソコン講座

日　時:2015 年 1 月 30 日(金) 13:30～15:30

場　所:　小会議室

参加者:市民活動団体ほか　13 名

テーマ:「タブレット基礎講座」

概　要:「NPO　パソコープ豊橋」の村松葉子さんを講師に迎え、タブレットとは何？から始まり、スマホとタブレットの違い・市民活動に役立つ情報発信方法などについてご指導いただいた。タブレットの基本操作から写真を撮っての団体のチラシ・ブログにアップする方法など、団体のスキルアップに大変役立つ方法を学び、自分のタブレットを持参された方もいて、皆さん真剣に聴いていた。

(13)カリオン春の文化祭(音楽祭&作品展)

日　時:2015 年 3 月 8 日(日) ～14 日(土)

場　所:　多目的ホール・大会議室

参加者:利用団体および一般市民　531 人

概　要:今回は、新春合同作品展に音楽会を加えた催しとした。作品展は 15 団体、音楽祭は6団体が参加し、音楽祭ではめずらしい楽器の音色が響き、また作品展では書・俳句・絵画などの多彩な作品が並び、500 人を超える入場者で大いに盛り上がった。

出展団体ならびにご来館いただいた皆様にお礼申し上げます。

(14)防災講座

日　時:2015 年 3 月 22 日(日) 10:00～11:30

場　所:　中会議室

参加者:市民活動団体ほか　13 名

テーマ:「災害時に役立つ！応急処置と非常食試食会」

概　要:登録団体「東三河きゅうきゅうくらぶ」を講師に迎え前半は応急救護の講習、後半は非常食の試食会を行なった。参加者からは「楽しくAEDを身につけることが出来ました」「今回の内容を忘れないように継続させたい」と好評を得ることが出来た。

Ⅳ　まとめ

平成 26 年度は、豊橋市民センターについては、会議室を 2 つ増やしたこと及び会議室利用の PR により、利用部屋数・利用者数が大幅に増加し、過去最高の利用料売上になりました。この売上の伸びにより、安定した運営に大きく貢献出来ました。

今後も引き続き、利用率の拡大及び利用者数の増加に向けて努力を積み重ねていきたいと考えています。

一方、オレンジプラザの利用者数も有料会議室への移行などで減少していましたが、数値目標を達成すべく、新規イベントの企画・オレンジプラザの PR など利用促進に心掛けてまいりました。また、相談件数・マッチング件数および団体登録数も着実に増加しております。

今後とも、利用の定着化およびより利用しやすい施設に改善を図っていきたいと考えます。

次年度、施設管理の数値目標は下記の通りである。
今後とも継続した利用促進に心掛けてまいります。

＜豊橋市民センター＞　・利用率の向上(目標:年間　55.0%)
　　・利用者の向上(目標:年間 90,000 人)

＜オレンジプラザ＞　・利用者の向上(目標:年間 4,500 人)

■NPO・市民団体支援

NPO SUPPORT

ボランティア及び市民活動の促進を目的に、ＮＰＯとしての特性やノウハウを活かした事業をさらに展開していきたいと考えます。

● 碧南市市民活動センター【サポプラ】

センター概 要

場　　所 ： 碧南市山神町 8 丁目 35 番地
へきなん福祉センターあいくる内

電　　話 ： 0566-42-6561

ファクス ： 0566-42-6571

E－MAIL:　info@hekinan-plaza.jp

ホームページ:http://hekinan-plaza.jp

開 館 時 間 :火～土曜日 9 時～21 時
日曜日・休日 9 時～17 時

休　館　日 :毎週月曜日、年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)

主な施設　： ミーティングコーナー、おしゃべりコーナー、情報コーナー、印刷室

Ⅰ センターの役割と任務

1. 委託業務名・目的

(1)業　務　名 :碧南市市民活動センター指定管理業務

(2)事業の目的 :利用者をはじめとした市民ニーズの把握及びこれを十分に反映した運営・支援を実現し、市民に必要な情報提供等を行うことで、市民活動センターが市民活動、ボランティア活動、町内会活動等(以下「市民活動等」という。)を支援することを目的とする。

(3)実 施 期 間 :平成 26 年4月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日 (受託期間:平成 31 年 3 月 31 日まで)

2. 碧南市市民活動センターの主要事業

(1)市民活動等に関する情報の収集及び提供並びに相談

(2)市民活動等及び活動資金に関する助言

(3)市民活動等に関する研修会及び講座の実施

(4)市民活動等に関する活動場所及び設備の提供

(5)市民活動等を担う人材の育成

(6)市民活動等を行う市民相互の連携及び交流の促進

(7)災害時のボランティアセンター設置時における社会福祉協議会との連携および運営支援

(8)(1)から(7)に掲げるもののほか、市民活動等の推進に必要と認める支援等

II 目標・重点施策と実績

1. ねらい・目標・重点施策

ねらい ： 市民活動団体・個人からの相談に対応し、相互の連携・協働に寄与し、市民から信頼される。

目 標 ：

(1)相談件数　310件以上

(2)マッチング件数　125件以上

(3)利用者数　特に定めない

※市民活動センター初年度に付き、来館・利用者の動向が把握できないので、本年度に限り利用者数に関する目標値は設定しない。

重点施策 ：

(1)相談件数、マッチング件数の目標を意識した日常業務を行う

(2)団体の活動を充実・活性化するために、企業、行政、自治会、他団体との連携・協働を促す

(3)団体の活動を充実・活性化するために、ファンドレイジングへの理解を深め、継続的に活動を展開できる資金の調達を促す

2. 実績

項目	利用者合計	相談件数	マッチング件数	MET利用件数	印刷室利用件数	登録団体数
合計	6,777	477	140	294	135	159
目標達成率	－	154%	112%	－	－	－
対前年比	138%	167%	121%	58%	108%	+40
年間 目標値		310	125	－	－	－
昨年度 実績値	4,896	285	116	511	125	119

※利用者合計欄では、4月オープンデイ：360名、6月あいくるまつり：3,000名、10月ハロウィーン：856名、3月3.11を忘れない@へきなん：490名を差し引いて表示しております。これらを加味すると利用者合計は11,483名となります。

Ⅲ　実施したイベント

1．車座集会

(1)新しい市民活動センターって何ができるの？！

日　時:2014 年 4 月 12 日(土)10:00～11:30
場　所:市民活動センター　ミーティングコーナー
講　師:碧南市地域協働課　坂本氏、菅沼氏
参加者:28 名
概　要:講師である碧南市地域協働課の坂本さんからは新センターについてのお話を、同課の菅沼さんからは市民公益活動活性化補助金についてのお話を、そして最後は、参加者のみなさんお一人お一人から、日頃の活動内容と助成金の使い道について発表していただきました。

(2)豊かな海を取り戻そう

日　時:2014 年 7 月 4 日(金)18:30～20:00
場　所:市民活動センター　ミーティングコーナー
講　師:一般社団法人　海っ子の森　山下達巳氏
参加者:17 名
概　要:今、海で起きている「磯焼け」についての話をお聞きしました。「磯焼け」を放置すると、普段何気なく食べている海の生き物が、食べられなくなってしまうということでした。こういった問題は市民活動レベルからスタートして、手を取り合って、広いネットワークを作り、皆が協力して活動しなければ解決しないと感じました。

(3)ローゼルを使って行列のできる社員食堂を創る

日　時:2014 年 7 月 16 日(水)18:30～20:00
場　所:市民活動センター　ミーティングコーナー
講　師:自然に学び・ローゼルを育てる会　高井邦彦氏
参加者:15 名
概　要:高井さんには「ローゼルを使った料理を、社員食堂で出してほしい！」という強い思いがあります。障害を持った方の就労支援になるとの考えからです。「ローゼルを育てて、福祉に花を咲かせたい」という言葉がとても印象的でした。
　講座の最後には、実際にローゼルを使った料理を試食しました。ローゼルはほどよい酸味がり、美味しくいただくことができ大好評でした。

(4)まちの復興支援する

日　時:2014 年 9 月 6 日(土)18:30～20:00
場　所:市民活動センター　ミーティングコーナー
講　師:生活協同組合コープあいち執行役員牛田清博氏
参加者:17 名
概　要:「プロから学ぶ、南海トラフ地震に備えるコツ」をサブタイトルに掲げ、東日本大震災で被災した現地に、2011 年 3 月 18 日の深夜から入った牛田さんから具体的なお話を伺いました。
　現地でのお話や、近い将来に発生する確率が高いと言われる「南海トラフ巨大地震」に備えた食品備蓄術、家庭内備蓄の食品を利用したレシピの試食。皆さんの会話も弾んでいました。

(5) 自分らしく生きるための活動勉強会

日　時:2014 年 11 月 19 日(水)19:00～20:30
場　所:市民活動センター　ミーティングコーナー
講　師:まごころライフサービス(株)　上田光代氏
参加者:16 名
概　要:「婚活」ならよく聞く言葉。「終活」はやや馴染みが薄く、響きも何やら重苦しそう。しかし自己紹介で、自分のこれまでの人生を順番に話し始めると一変。これからの人生における夢について話し始めるに至ってはお互いに質問したりで、大盛り上がりの最高潮。次の世代への準備ではなく、自分の人生を楽しく終わらせるために必要な『終活』にしましょうね・・・という講師の言葉をかみしめることができました。

(6) 南海トラフ巨大地震　～碧南市の備え～

日　時:2015 年 3 月 7 日(土)13:00～14:30
場　所:あいくる会議室1
講　師:碧南市防災安全課杉浦氏、都市計画課金田氏
参加者:13 名
概　要:碧南市の職員の方から被災地支援の体験の話と碧南市での備えについての話を直接聞くことができました。参加した方からは、町内会での問題点や施設を運営する側からの問題点などの質問がでました。やってくるだろう津波に対して、どこまで逃げれば、とりあえず安全なのかを示してほしいという意見が挙がりました。

(7) 助成金を活用しよう

日　時:2015 年 3 月 21 日(土)10:00～11:30
場　所:あいくる会議室1
講　師:碧南市地域協働課　菅沼氏、坂本氏
参加者:16 名
概　要:市民公益活動活性化補助金の制度について説明のあと、集まったみなさんから具体的な質問がありました。講師を務めた地域協働課から丁寧な回答がありました。今年度補助金を受けた 2 団体の代表の方から、体験をお聞きしました。そして、補助金に興味・関心のある参加者の皆さんからは、自己紹介を兼ねて団体名や活動内容と補助金対象事業とについて、簡単な紹介がありました。

2. スキルアップ講座

(1)みなともを活用しよう

日　時:2014 年 5 月 16、18 日
場　所:市民活動センター　ミーティングコーナー
講　師:大野裕史、松原優子
参加者: 10 名
概　要:市民活動センタースタッフが講師をし、16 日に 7 名、18 日に 3 名の方が受講されました。内容は、団体活動の広報・宣伝を自分でしてみよう！というものでした。受講された方はご自身の市民活動を皆さんに PR するために、熱心に耳を傾けていました。
　最終的には皆さんがご自身で活動報告をアップできるようになりました。

(2)社会を変える助成金の活用

日　時:2014 年 6 月 14 日(土)17:00～19:00
場　所:市民活動センター　ミーティングコーナー
講　師:NPO 法人　CANPAN　山田泰久氏
参加者: 25 名
概　要:助成金は、獲得したら終わりではない。獲得してからが大事なんだ。という山田さんの熱い声が市民活動センター内に響きました。質問タイムでは、受講者の方が素朴な質問をぶつけ、そして山田さんは的確に応えます。受講者、講師にとって、とても有意義な時間になりました。

(3)光る生物謎だらけ

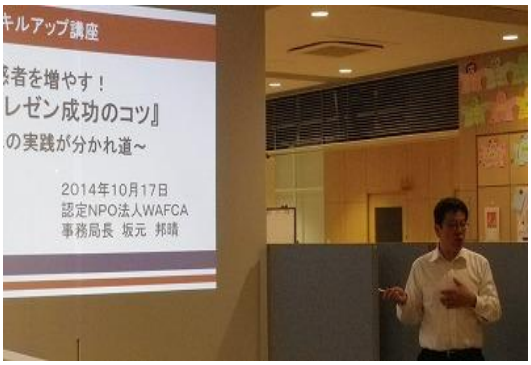
日　時:2014 年 8 月 24 日(日)14:00～16:00
場　所:市民活動センター　ミーティングコーナー
講　師:名古屋大学大学院　生命農学研究科
　　大場裕一助教授
参加者: 14 名
概　要:みなさんご存知のホタルの他にも、世界には様々な光る生物がいることを教えていただきました。ホタルのエネルギー効率は、人間が作り出した白熱電球、蛍光灯、LED(白)よりもいい！ウミホタルは、豚レバーを餌にして捕まえる！・・・などなど、目からウロコの話や裏話がたくさん飛び出しました。
　大場先生は「役立つかどうかより、まずは科学を楽しもう」とおっしゃっていました。

(4)モリコロ基金に挑戦　書いてみようよ申請書

日　時:2014 年 9 月 27 日(日)18:30～20:00
場　所:市民活動センター　ミーティングコーナー
講　師:NPO法人ボランタリーネイバーズ　中尾さゆり氏
参加者: 9 名
概　要:「助成金」と聞くと、身構えてしまいます。講師の中尾さんから「まずは書けるところから書いてみる」「最初から完璧に書こうとしない」など、私たちの心をほぐしてくださるようなお話をいただきました。そして「対象者を具体的にする」「助成金をもらって活動し、数年後どうなるのかが大切」「一人で書くと煮詰まるので、他の人とおしゃべりしながら考える」など、申請書を書くコツをお教えいただきました。

(5)共感者を増やすプレゼン成功のコツ(スキル編)

日　時:2014 年 10 月 17 日(金)18:30～20:00
場　所:市民活動センター　ミーティングコーナー
講　師:NPO法人WAFCA　坂元邦晴氏
参加者: 28 名
概　要:昨年度のコンテンツ編につづく第 2 弾、スキル編も大盛況。前半は前回の復習のコンテンツ、後半はスキルについて学びました。
　まさに「コツ」のオンパレード。見て、聞いて、体験して、そして頭に残る、すばらしい講座でした。聞いている皆さんから、早速実践してみようという言葉が飛び交っていました。



(6)人に見てもらえるビデオの撮り方

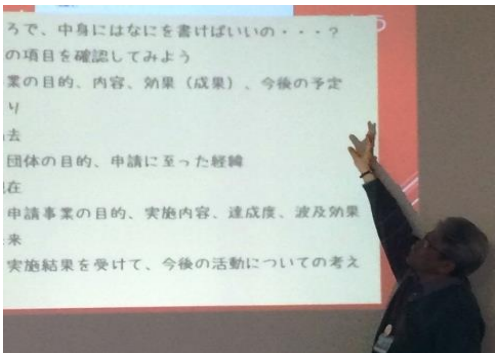
日　時:2014 年 11 月 9 日(日)14:00～15:30
場　所:市民活動センター　おしゃべりコーナー
講　師:ビデオ勉強会　山口政勝氏
参加者:2 名
概　要:ビデオの撮影って、簡単なようでなかなか難しいのかなぁ。楽しい時間を撮影したつもりでも、延々と同じ場面ばかりが続いていて、後から見るときに、その楽しさが伝わってこないってことがよくあるよね。あとから見るときのことを考えながら、目の前の出来事を撮影するコツを、しっかりと考えながら伝授していただきました。

(7)がんばらない子育て～親子で楽しく遊ぼう！

日　時:2014 年 12 月 9 日(火)10:30～11:30
場　所:あいくる　まちかどホール
講　師:豊川市子育てネットワーカー　志村貴子氏
参加者:1～3 歳の親子 23 組 48 名
概　要:日常生活にあるものでこんなにも親子で楽しく遊べることや、親子が触れ合う楽しさ、こうすると集中力がつくよ･･･などなど、遊びの中からたくさん学びました。子どももお母さんたちも楽しそうでみんなとっても笑顔でした。このスキルアップ講座は、こころっくしんかわさんとの協働企画として開催しました。

(8)ひとあじ違う！伝わる報告書の書き方

日　時:2015 年 2 月 27 日(金)18:30～20:00
場　所:あいくる　会議室 1･2
講　師:碧南市市民活動センターセンター長　大野裕史
参加者:20 名
概　要:文を書く、文章を書く、文書を書く、その違いのお話から入り、「わかりやすい文章を書く」という話を聞きました。わかりやすいから伝わりやすいんだと、みなさんご納得されたようです。報告書のフォーマットに、参加者のみなさん自身が、わかりやすい文章を記入してみました。「わかりやすい文章を書く」ことは意外と難しいんですね。報告書を書けばそれで終わりではありません。今回学んだ「コツ」を活かして報告書を書けば、次の事業につながっていくかもしれません。



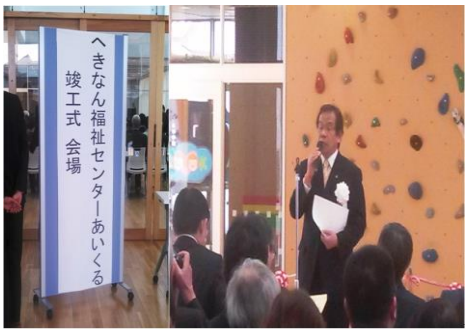
(9)3．11を忘れない！　キャンドルづくり

日　時:2015 年 3 月 7 日(土)10:00～11:30
場　所:碧南市市民活動センター　おしゃべりコーナー
講　師:へきなん市民環境会議　竹原幸子氏、
　　ハートフルあおみ　水野啓章氏
参加者:13 名
概　要:「3．11を忘れない@へきなん」実行委員会の皆さんのアイデアで、キャンドルナイトで使うロウソクを自分で作ろう、という講座を開講しました。もちろん、講師は実行委員の方々が担当しました。
　講座では、大人も子供も楽しんで、カラフルなロウソクを作りました。使い古しのロウソクとクレヨンから、あんなにきれいなロウソクができ、素晴らしいキャンドルナイトができるなんて。参加した皆さん、大喜びでした。

3．その他イベント

(1)へきなん福祉センターあいくる竣工式

日　時:2014 年 3 月 28 日(金)
場　所:へきなん福祉センターあいくる
概　要:3 月 28 日、禰宜田市長をはじめ多くの方がご出席され、へきなん福祉センター【あいくる】の竣工式が執り行われました。参加された皆さんが館内を見学されて、碧南市市民活動センターもお披露目をさせていただきました。



(2)碧南市市民活動センター　OpenDay

日　時:2014 年 4 月 1～3 日
場　所:碧南市市民活動センター　交流スペース
参加者:370 名
概　要:4 月 1 日から 3 日までの 3 日間、オープンデーで 370 名のみなさんがご来場されました！スタッフ総出で、館内を案内したり、おしるこをふるまったりと、楽しいコミュニケーションをとらせていただきました！
気を引き締めると同時に、「また来ようかな！」「市民活動って楽しそうだな」と思っていただけるセンターにしてまいります！

(3)あいくるまつり開催委員会

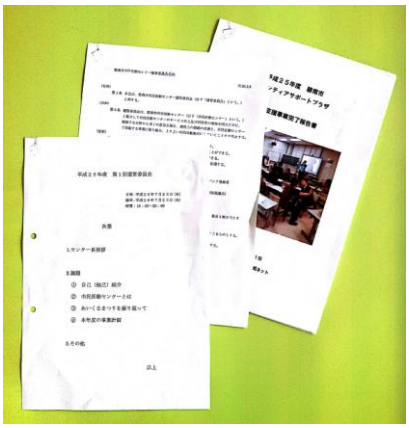
日　時:2014 年 5 月 15 日(木)18:00～20:00
場　所:へきなん福祉センターあいくる　会議室
参加者:31 団体
概　要:4 月からスタートしたあいくるで、6 月 22 日にあいくるまつりを開催することが決定しました。急きょ集まっていただいた31団体の皆さんで、どこで何をするかなどを決め、ブースのレイアウト案やパフォーマンス、ミニ講座、こころっくしんかわのタイムスケジュールを効率よく、次々と決めていきました。みなさん、真剣な議論をし、準備不足を補っています。

(4)第1回あいくるまつり

日　時:2014 年 6 月 22 日(日)10:00～16:00
場　所:へきなん福祉センターあいくる
参加者:41 団体　　ボランティア 16 名
来場者:3, 000 名
概　要:午前中、雨は降っていましたが、屋外駐車場のテント村では大きな掛け声が雨を吹き飛ばしそうでした。午後には太陽も顔を出してくれました。みんなの元気が伝わったようです。屋内では、あちこちから掛け声が飛び交い、ブースは人だかりが途絶えません。
　お越しいただいた市民の皆さん、準備を進めてきた団体の皆さん、感謝、感謝です。

(5)第1回碧南市市民活動センター運営委員会開催

日　時:2014 年 7 月 23 日(水)18:00～20:00
場　所:市民活動センター　ミーティングコーナー
参加者:運営委員 10 名
概　要:第1回目の今回は、委員の方々の自己紹介と運営委員会の会則のご説明、本年度の事業計画のご承認をいただきました。また、あいくるまつりで投票していただいた結果をうけ、委員の皆様からご承認をいただき、市民活動センターの愛称として「サポプラ」を正式に決定いたしました。
　今後、委員の方々とともに、碧南市市民活動センター【サポプラ】を、市民の皆さんに信頼されるセンターにしていきたいと思います。



(6)ワンコインコンサート「フォークのタベ in サポプラ」

日　時:2014 年 10 月 25 日(土)19:00～20:30
場　所:へきなん福祉センターあいくる　まちかどホール
参加者:60 名＋運営ボランティア 4 名
公　演:座・団かい～ズ
概　要:満員御礼の 60 名。「神田川」、「旅人よ」、「夢一夜」など、フォークの名曲が満載のコンサートでした。途中の休憩で、シフォンケーキ(クリーム、フルーツ付)が配布され、名曲＋ケーキで大満足、あっという間の1時間半でした。
　今回のワンコインコンサートは、音楽を通して市民の皆さんの幸せを願う団体と食を通して市民の皆さんの幸せを願う人とのコラボレーション・イベント。今後も、こんなコラボイベントを企画・開催していってほしいとの、うれしいご要望をいただきました。

(7)ハロウィーンウォークに参加

日　時:2014 年 10 月 26 日(日)10:00～16:00
場　所:市民活動センター　ミーティングコーナー
参加者:856 名
概　要:新川銀座発展会さんが主催するハロウィーンウォークに参加。市民活動センターは、合言葉を言ってキャンディーをもらう子供たちでごった返しました。配布したキャンディーは、ボランティアさんに準備していただきました。2 時間で、品切れとなってしまうほどの盛況ぶりでした。魔女とじゃんけんして勝った子には、ボランティアさんが作ってくれた、小物をプレゼントしました。

(8)あったかハウス勉強会
「子供の養育支援・面会交流支援」
日　時:2014 年 11 月 30 日(日)14:00～16:00
場　所:市民活動センター　ミーティングコーナー
講　師:NPO法人あったかハウス理事長　澤井俊穂氏
参加者:11 名
概　要:NPO法人あったかハウスが主催する、「子どもの養育支援、面会交流支援、新たな親子のカタチ、子育てとは」をテーマにした勉強会が、サポプラ全面協力して開催されました。離婚してしまった両親から愛されるために必要な、養育や面会交流をどのように支援していったらよいのか。参加した方々といっしょに勉強しました。

(9)サポプラ交流会　～つなが輪(りん)～
日　時:2015 年 1 月 25 日(日)14:00～16:00
場　所:へきなん福祉センターあいくる　会議室
参加者:24 名
概　要:つなが輪（りん）をテーマにこれまでと違った仲良しワークショップを行いました。第一部では、4～5 人のグループに分かれ、過去、現在、未来の団体活動を自己紹介として 1 分間スピーチにまとめました。みなさん要領がよくわからずあたふたしました。第二部では、自団体できること、他団体にしてほしいことを書き出しました。そのあと、車座になって、書き出したことを一人ずつ発表しました。今度は、みんな要領よく進めることができました。
　終わったあと、もう少しフリータイムが欲しかったという、とても嬉しいコメントをいただきました。来年もまた、こんなふうに交流会を開きたいと思います。

(10)3．11を忘れない@へきなん
日　時:2015 年 3 月 7 日(土)10:00～19:00
場　所:碧南市市民活動センター
　　へきなん福祉センターあいくる　まちかどホール
参加者:521 名
概　要:3 月 7 日（土）朝 10 時から夜 7 時まで、「３．１１を忘れない@へきなん」を開催しました。このイベントでは、以下の講座、サブイベントを開催しました。
・スキルアップ講座：作ってみようキャンドル
・車座集会：南海トラフ地震～碧南市の備え～
・東北地方物産市とキャンドル販売
・炊き出し体験：とん汁の配布
・液状化装置実験、こなまず君の体験
・飾ってみようキャンドル
・ゴスペルミニコンサート
・東日本大震災の写真展示（3 月度 1 か月間開催）
それぞれの参加者は、以下の通りでした。
・スキルアップ講座：13 名
・車座集会：18 名
・東北物産：171 名
・炊き出し体験：160 名
・こなまず君体験：32 名
・ゴスペルミニコンサート：110 名
・ボランティア、実行委員：17 名

・合計：521 名

また、新川銀座発展会さんとあおみＪセンターさんのご協力をいただき、塩竈市への寄付金が 73,271 円集まり、全額を寄付させていただきました。

３．１１を忘れない@へきなんにご参加いただいた皆様に、感謝とお礼を申し上げます。

■メルマガ・サポプラ通信の発行

1. メルマガ発行（毎月発行）

- 2015 年 3 月号　発信数：273 通
- 2015 年 2 月号　発信数：273 通
- 2015 年1月号　発信数：269 通
- 2014 年 12 月号　発信数：267 通
- 2014 年 11 月号　発信数：265 通
- 2014 年 10 月号　発信数：262 通
- 2014 年 9 月号　発信数：262 通
- 2014 年 8 月号　発信数：260 通
- 2014 年 7 月号　発信数：258 通
- 2014 年 6 月号　発信数：252 通
- 2014 年 6 月臨時増刊号　発信数：250 通
- 2014 年 5 月号　発信数：244 通
- 2014 年 4 月号　発信数：240 通

碧南市市民活動センター ――――――

――――――――メールマガジン　2015年3月号

碧南市のボランティア・市民活動の最新情報をお送りします！

※　興味のある方、お知り合いの方への転載・転送大歓迎！

☆☆～三寒四温とまだまだ油断できませんが
日ごとに 春を感じる季節となりました～☆☆

このメルマガは登録団体をはじめ、各関係者やボランティアの皆さんに、碧南市市民活動センターの≪最新情報≫をお届けします。毎月15日をめどに発信しています。

<メルマガ配信者数273
※バックナンバーを設置しましたので、過去の記事はこちらへどうぞ！
http://hekinan-plaza.jp/mail_mag.htm

つなぎ　つながる　みんなの手

みんなで手をつなげば、ボランティア活動・市民活動がひろがる・・・。

そんな思いで、「つなぎ　つながる　みんなの手」をテーマにしています。

☆ご来館の皆さんに描いて頂いた作品を、サポプラに掲示しています。

も　く　じ
|■ センターからのお知らせ
|■ 講座・集会のご案内
|■ 助成金情報
|■ センター概要

2. サポプラ通信発行（隔月発行）

- 2015 年 2 月　第 68 号
- 2014 年 12 月　第 67 号
- 2014 年 10 月　第 66 号
- 2014 年 8 月　第 65 号
- 2014 年 6 月　第 64 号
- 2014 年 4 月　第 63 号

Ⅳ まとめ

【第1四半期】

2014年4月1日にスタートした碧南市市民活動センターも、ようやく日々の業務が落ち着いてきた。4月は、とにかく業務を定常化させることを模索していた。5 月は、備品の用意、設備の準備、来館者の使い勝手の聞き取りと館内レイアウトの修正・変更、仕事の流れ、業務の手順を整備していた。6 月は、あいくるまつりの準備とあいくるまつりの開催で終始した。あっという間の 3 か月間だった。

6 月 22 日に開催したあいくるまつりでは、最終来場者が 3,000 人となり、あいくるMet（あいくる入居4団体の定例ミーティング）で、とりあえず設定した目標を大きく上回った。参加した団体は 41 団体、企画数は 63 に上った。昨年のサポプラ祭の倍以上の規模となった。来館者や参加した団体さんからは、「よかったね。」、「来年もやりたいね。」という励ましの言葉をいただいた。

あいくるまつりの来場者数を除いた利用者数は 1,900 人となる。目標達成率も 37％と、四半期としての 25％を大きく上回った。相談、マッチング件数においても、47％、27％と、順調に伸ばしている。

【第2四半期】

新しいサポプラがスタートして半期が経過した。利用者数は、あいくるまつりの参加者を含め 6,629 名と、昨年度実績の 135％となっている。相談件数は 254 件と昨年度実績の 89％、マッチングの件数も 68 件と昨年度実績の 59％を記録している。半期が経過した時点での結果としては、順調に推移していると言える。ところが、ミーティングコーナー利用件数は、179 件と、昨年度実績の 35％にしか満たない。つまり、ミーティングコーナーは昨年実績に比較して7割程度しか利用されていないことになる。

あいくるまつりを終えた後、市民の皆さんや活動団体のみなさんに、新しく始まった【サポプラ】の周知を図るために、車座集会、スキルアップ講座を含めたイベントを、規定の回数以上に開催し、サポプラに足を運んでいただくことをめざすように修正した。9 月末現在で、車座集会を 4 回、スキルアップ講座を 4 回、その他イベントを 3 回（あいくるまつりを含む）開催した。

【第3四半期】

第 3 四半期を終え、利用者数と相談件数はすでに目標を超えて伸びている。相談件数も、78％の目標達成率を示している。これは、目標に対して 100％の進捗状況である。しかしながら、ミーティング件数は伸び悩んでいる。目標値を設定してはいないが、昨年度実績の 63％程度しか進捗してない。【サポプラ】の周知を図るためにイベントを多くする試みや、こころっくしんかわさんと協働してスキルアップ講座を開催したり、ワンコインコンサートと銘打って、座・団かい～ズさんのフォークコンサートを開催したり、NPO法人あったかハウスさんに協力してイベントを開催したりしたが、市民団体・ボランティア団体の活用活性化に関しては、第 3 四半期を終えた時点で成果が出ているとは言えない。

市民活動センターの使い勝手については、ご意見箱を設置して、利用者様のご意見を直接集めた。その結果、ミーティングコーナーの使い勝手が悪いというご意見を多く頂戴した。そのご意見の多くは、子供が走り回ったり、声を張り上げたりすることに対するものだった。また、ミーティングする場所が暗いというご意見もあった。これらの課題に対しては、その都度対応してきた。対応に少し時間が必要な課題については、今後第4四半期および来期以降での取り組みを、碧南市地域協働課や社会福祉協議会と連携しながら検討・対応していきたいと考えている。

【第4四半期】

新しくなった碧南市市民活動センターとしての初年度を、無事に終了することができた。相談件数（477 件/154%）、マッチング件数（140 件/112%）ともに目標値をクリアすることができた。利用者件数も、昨年度実績を大きく上回ることができた（6,777 名/138%）。印刷室利用件数も昨年度実績を上回ることができ（135 件/108%）、登録団体数も 40 団体増えた。

しかしながら、第 2 四半期から課題となっているミーティングコーナーの利用件数は、294 件/58%と、昨年度実績の 511 件には及ばなかった。この問題の要因や対応については、第 2 四半期、第 3 四半期のまとめの部分でも述べたとおり、当面の対応と長い目で見た場合の対応に分けて考えていかなければならない。当面の対応としては、市民の皆さんに「あいくる」、「サポプラ」を認知していただけるように車座集会やスキルアップ講座のほかに、いくつかのイベントを、今後も開催していきたいと考えている。長い目で見た場合の対応については、ご利用者様のご意見を継続的に集め、市役所地域協働課とともに「碧南市市民活動センターの使い勝手を向上させる対策」を議論していきたいと考えている。

- 愛フェス２０１４

概要

日　時：平成26年9月13日（土）11時～18時
　　平成26年9月14日（日）11時～18時
場　所：愛・地球博記念公園・
　　地球市民交流センター（長久手市）
ＵＲＬ：http://ifes.jp/
内　容：NPOブース、ファンドレイジング投票
　　：うまいもん広場（フード）
　　：大船渡さんままつり
　　：メインステージ（東海テレビ）
　　：サテライトステージ（学生部会）
　　：東海テレビブース
　　：産直市
　　：Make a CHANGE Day表彰式
　　：愛フェスWalk

Ⅰ　愛フェス２０１４の業務内容

１．業務名・目的

（1）業 務 名　：　愛フェス2014
（2）事業の目的　：「楽しむことが、誰かのためになる」をコンセプトに、来場者がイベントを楽しみながら寄付投票を行う、大規模ファンドレイジング（資金調達）イベントとして実施する。

２．業務内容

（1）愛フェス2014の実施

①会場全般の管理（エリアレイアウト／記録／撮影／申請／ステージ／ブース／会場設営／イベント進行／ゴミ回収）
②参加者管理全般（企画／参加者管理／保険管理／著作権管理／リハーサル）
③NPOブース管理全般（2日間プログラム／参加NPO管理）
④広報に関するメディアプレスリリース、チラシ制作、WEB管理、報告書作成
⑤当日緊急時の救急対応
⑥ボランティアマネジメント

（2）愛フェスWalkの実施

①ウォークコース、期間の設定
②参加者管理全般（企画／参加者管理／保険管理／入金管理／ウォーカー交流会運営）

（3）愛フェスのPRおよびファンドレイジングの啓発活動

①地域イベントでのブース出展
②ファンドレイジング（資金調達）の講座実施
③情報誌、メルマガ、テレビCMを通じた愛フェス2014告知
④愛フェスPRツール、ファンドレイジング啓蒙ツールの制作

Ⅱ　目標と活動実績

1. 狙い：市民活動支援を主たる目的としながら、愛知ネットのミッションである災害救援促進をイベントでPRすることで、広く市民活動の大切さを知ってもらい、多くの方々にファンドレイジングの必要性を伝える。そして、出展するNPO団体が自らファンドレイジング（資金調達）手法を学び、実践することで、自団体の運営の基となる活動資金の獲得を目指す。

2. 目標：来場者30,000人を動員する。

3. 数値実績

■来場者数　9月13日（土）　15,346人
　　9月14日（日）　16,073人
■ファンドレイジング投票数　9,891 枚
■ファンドレイジング総額　1,932,767円
■愛フェスWalk参加者数　189名
■愛フェスNPOブース　48ブース49団体
■ボランティア参加数　272名

Ⅲ　まとめ・今後の課題

愛フェスは今年で6回目の開催を迎えた。

今回は、昨年に引き続イベント運営では、東海テレビ放送の協力をいただき、メインステージの充実を図ると同時に、学生が中心となって運営するサテライトステージを設置し、会場をさらに盛り上げた。

フード関係では、協賛企業の飲料販売・全国の有名飲食店が集まる”うまいもん広場”等、集客につながるコンテンツの充実をはかった。また、コープあいちとの連携により産直市での野菜等の販売を行った。東北支援の一環としては、大船渡さんままつりや岩手県の名産品の販売も昨年に引き続き行った。

NPOブースには49団体が出展し、ファンドレイジングを展開した。開催前には団体をPRする手法やノウハウを研修で習得し、愛フェスのイベント会場で研修の成果を実践した。さらには、研修でNPO同士がグループになり、スランプラリーなどの企画を実施することで、協力してNPOブース全体を盛り上げることが出来た。また、学生によるNPOコンシェルジュがNPOツアーを行い、来場者に団体の魅力やファンドレイジングの仕組みを分かりやすく説明する工夫をした。

愛フェスWalkでは、今年初の試みとして、42.195kmのチャレンジコースを設けた。また、ゴール地点をNPOブース奥に設置することにより、Walkと愛フェスが同時に開催されている認識を高めることができた。

こうした数々の企画により、たくさんの市民が集まり、フードブース・ステージ出演・愛フェスWalkの企画内で来場者や他の出展者と交流することができた。その結果、昨年以上の来場者数となり、社会貢献イベントとして大きく印象付けることができたと考える。

次年度の愛フェス2015は、「全国都市緑化あいちフェア」との同時開催が決定しており、来場者数増および幅広い世代の来場が予想される。愛フェスを知らない来場者や企業・自治体が参加しやすい企画を立案し、イベント参加者の枠を広げていくことが次年度の課題である。

特定非営利活動法人　愛知ネットのあゆみ

１９９９年
4月　　NPO愛知ネット設立

２０００年
1月　　特定非営利活動法人として、愛知県より認証を受ける
4月　　北海道有珠山にて災害救援活動、ｲﾝﾀｰﾈｯﾄでの情報発信実施
9月　　東海豪雨災害で災害救援活動、ｲﾝﾀｰﾈｯﾄでの情報発信実施

２００１年
4月　　安城市・知立市・刈谷市IT講習会（一般・障がい・外国人対応開始）
6月　　安城市・愛知県総合防災訓練（矢作川河川敷）参加
9月　　愛知県・新城市総合防災訓練　参加

２００２年
2月　　静岡県災害ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｾﾝﾀｰ立ち上げ訓練　参加
4月　　市民防災ﾌｫｰﾗﾑ2002（碧海５市地域対象）開催
　日本財団助成事業　外国人のための情報支援ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ開始
5月　　第１回「親子ふれあいﾈｯﾄﾜｰｸ」ｷｬﾝﾌﾟ開催
6月　　愛知県・一宮市総合防災訓練参加
7月　　大垣荒崎地区水害災害救援活動、ﾈｯﾄでの情報発信実施
9月　　蒲郡市・愛知県・名古屋市総合防災訓練　参加
11月　安城市東栄町今本町防災訓練『北部小学校避難所体験』開催

２００３年
3月　　あんじょう国際交流祭　「Anjo International Festival」開催
4月　　市民防災ﾌｫｰﾗﾑ2003開催・日本財団助成事業外国籍住民防災講座開始
7月　　九州豪雨・宮城県北部地震に伴う情報発信実施
8月　　愛知県多文化共生ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ「医療通訳ｽﾀｯﾌ要請講座」開始
　愛知県・刈谷市総合防災訓練・名古屋市総合防災訓練参加
9月　　十勝沖地震に伴う情報発信実施
10月　刈谷市民ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動支援ｾﾝﾀｰ（刈谷市受託）ｵｰﾌﾟﾝ

２００４年
1月　　「安否確認システム」を発表
4月　　「いっつもトーク」を発表
6月　　経済産業省 市民活動活性化モデル事業（市民ﾍﾞﾝﾁｬｰ事業）「災害に強い多文化共生ｺﾐｭﾆﾃｨ《安心・安全・安城》ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ」開始
7月　　新潟豪雨災害（新潟県三条市・中之島町・見附市）救援活動
8月　　「安城地域ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ」（安城市末広町）ｵｰﾌﾟﾝ
　愛知県・豊橋市総合防災訓練（豊橋市三河港）参加
9月　　香川県高松市高潮災害救援活動
11月　あいち中越支援ﾈｯﾄﾜｰｸを組織、中越地震関連支援を開始

２００５年
1月　　安城市「安城市民活動ｾﾝﾀｰ」受託　ｵｰﾌﾟﾝ
3月　　経済産業省市民活動活性化ﾓﾃﾞﾙ事業支援、電話通訳ｾﾝﾀｰ構築
4月　　「愛・地球博」警備部署外国人通訳ｾﾝﾀｰ運営業務開始
8月　　安城市・愛知県総合防災訓練（安城市内5箇所）参加
9月　　内閣府「防災功労者防災担当大臣表彰」受賞
11月　内閣府「地域情報ｼｽﾃﾑによる安全、安心ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ」開始
　防災科研「災害情報ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ養成に関する調査事業」

12月　行政通訳養成講座 開講

２００６年
1月　　愛知県青年の家（岡崎市美合町）愛知県より受託
4月　　刈谷市いっつもﾄｰｸ（行政通訳）ｻｰﾋﾞｽ開始
7月　　経済産業省「若者と中小企業のﾈｯﾄﾜｰｸ構築事業」開始
8月　　愛知県「あいち防災ｶﾚｯｼﾞ地域講座」
12月　安城市自主防災支援事業

２００７年
3月　　愛知県自主防災組織ﾘｰﾀﾞｰ研修
4月　　安城市安全安心ﾒｰﾙ配信
6月　　経済産業省「平成19年度若者と中小企業とのﾈｯﾄﾜｰｸ構築事業」
　株式会社ﾃﾞﾝｿｰ「できるｴｺDECOｽｸｰﾙの企画・運営」
7月　　愛知県河川情報伝達実証実験
9月　　株式会社ﾃﾞﾝｿｰ「ﾘﾕｰｽﾊﾟｿｺﾝ寄贈ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ団体交流会」

２００８年
2月　　愛知県知事認定「平成19年度ｺﾐｭﾆﾃｨﾋﾞｼﾞﾈｽ優良ﾓﾃﾞﾙ事業者」
3月　　愛知県自主防災組織ﾘｰﾀﾞｰ研修　開催
6月　　経済産業省「平成20年度若者と中小企業のﾈｯﾄﾜｰｸ構築事業」
　岩手・宮城内陸地震救援活動
8月　　岡崎市８月末豪雨災害救援活動
9月　　独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)「平成20年度災害NPOとのWINDS実験業務」
　独立行政法人防災科学技術研究所「島田市・安城市における災害ﾘｽｸｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝに関する実証実験支援業務」
11月　厚労省「地域連携型障害者災害救援ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝの策定に関する調査研究
　愛・地球博ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｾﾝﾀｰ「災害ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ体験におけるﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ運営業務」

２００９年
2月　　安城市職員NPO研修
3月　　三重県みえ防災ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ研修
4月　　大府市民活動ｾﾝﾀｰ・豊橋市民ｾﾝﾀｰ市民活動ﾌﾟﾗｻﾞ受託ｵｰﾌﾟﾝ
5月　　独立行政法人宇宙航空研究開発機構「平成21年度災害NPOとのWINDS実験業務」委託
8月　　独立行政法人防災科学技術研究所　愛知県における自主防災活動高度化ﾓﾃﾞﾙ事業支援業務
8月　　トヨタ自動車「災害ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ体験ｲﾍﾞﾝﾄ研修」協力
9月　　「愛フェス２００９」開催

２０１０年
3月　　独立行政法人宇宙航空開発機構「平成22年度災害NPOとのWINDS
　実験業務」
　大府市緊急雇用事業受託
5月　　「豊田市災害ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ養成講座」
7月　　防災・緊急情報ｼｽﾃﾑ開発事業
9月　　「愛フェス２０１０」開催
10月　愛知県における実証実験支援業務

２０１１年
3月　　東日本大震災 救援活動開始、大府市緊急雇用事業開始
4月　「豊橋市青少年センター」（豊橋市牟呂町）ｵｰﾌﾟﾝ
6月　「愛知県被災者支援センター」（東大手庁舎・愛知県より委託)ｵｰﾌﾟﾝ
10月　「愛フェス２０１１」開催

２０１２年
4月　　東日本大震災 救援活動継続
　碧南市ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｻﾎﾟｰﾄﾌﾟﾗｻﾞ運営支援事業受託
　大府市「防災ｺﾐｭﾆﾃｨ支援事業」緊急雇用事業
　愛知県被災者支援センター業務継続
7月　JAXA「平成24年度災害NPOとのWINDS災害通信実験業務」

9月　　「愛フェス２０１２」開催
11月　団体名称を「特定非営利活動法人愛知ネット」に変更

２０１３年
通年　愛知県内外避難所運営・防災リーダー研修開催
2月　　東日本復興フォーラム開催
3月　　とよた防災フェスタ
4月　　東日本大震災 救援活動継続
　愛知県被災者支援センター業務継続
7月　JAXA「平成25年度災害NPOとのWINDS災害通信実験業務」

9月　　「愛フェス２０１３」開催
11月　岩手県盛町盛青年商工会会長表彰受賞
　岩手県住田町表彰受賞

２０１４年
３月　　とよた防災フェスタ
４月　　東日本大震災救援活動継続
　愛知県被災者支援センター業務継続
６月　　愛知ネット設立１５周年記念事業「フレンドシップ防災デー」開催
　JAXA「平成26年度災害NPOとのWINDS災害通信実験業務」

９月　　「愛フェス２０１４」開催